

郡山市ふれあい科学館年報

—— 平成24年度版 ——



宇宙劇場リニューアルオープン



星出宇宙飛行士ミッション報告会



ミニアクアリウムテーブルカット



サイエンススタジオ



金環日食観望会

目 次

はじめに

Ⅰ 施設のあらまし

- 1 設置目的・・・・・・・・・・ 1
- 2 運営方針・・・・・・・・・・ 2
- 3 施設概要・・・・・・・・・・ 3
- 4 組織概要・・・・・・・・・・ 4
- 5 沿 革・・・・・・・・・・ 5

Ⅱ 平成24年度事業活動実績

- 1 宇宙劇場リニューアルオープン記念事業 19
- 2 市民鑑賞型事業
 - (1) 宇宙劇場番組投映・・・・・・・・ 19
 - (2) 音楽コンサート・・・・・・・・ 25
 - (3) 鑑賞型企画展・・・・・・・・ 27
- 3 市民参加型事業
 - (1) 科学普及・・・・・・・・ 28
 - (2) 講演会等・・・・・・・・ 37
 - (3) 作品募集・・・・・・・・ 44
 - (4) 参加型企画展・・・・・・・・ 47
 - (5) クラブ活動・・・・・・・・ 50
- 4 その他の事業・・・・・・・・ 54
- 5 ボランティア関係事業・・・・・・・・ 62

Ⅲ 平成24年度広報・サービス活動

- 1 広報PR活動
 - (1) 広報戦略活動・・・・・・・・ 68
 - (2) 広報紙及び雑誌・看板等・・・・ 68
- 2 営業活動・・・・・・・・ 69

Ⅳ 郡山市ふれあい科学館

平成25年度事業活動計画

- 1 市民鑑賞型事業・・・・・・・・ 70
- 2 市民参加型事業・・・・・・・・ 73
- 3 その他の事業・・・・・・・・ 79
- 4 ボランティア関係事業・・・・・・・・ 82

Ⅴ 予算・決算

- 1 平成24年度決算・・・・・・・・ 83
- 2 平成25年度予算・・・・・・・・ 84

Ⅵ 施設利用状況

- 1 月別入館者状況・・・・・・・・ 85
- 2 施設別入館者状況・・・・・・・・ 86
- 3 宇宙劇場区分別入館者状況・・・・ 90
- 4 展示ゾーン区分別入館者状況・・・・ 91

Ⅶ その他

- 1 条例・規則・・・・・・・・ 96
- 2 利用案内・・・・・・・・ 103
- 3 スペースパーク
ボランティアの会会則・・・・・・・・ 104

はじめに

昨年度に開館10周年を超えた当館において、平成24年度は新たな旅立ちの年となりました。こどもたちの理科離れ、科学技術離れへ歯止めをかけるとともに、市民全体の生涯学習への意欲づけをめざし、併せて市街地の活性化を図るという当初の設置目的の原点に立ち返り、当科学館のますますの発展のために職員一同、気持ちを新たに鋭意努力を重ねていますが、今年度当館における特に大きな出来事は三つありました。

一つ目は設立後、かなり老朽化の進んできた宇宙劇場の映像機器のリニューアルがなったこと。二つ目はISS(国際宇宙ステーション)のロボットアームを操作した初めての日本人宇宙飛行士となった星出彰彦さんの講演会が実現できたこと。そして三つ目は郡山駅前における金環日食の観望会の実施でした。

開館から10年を経過し、老朽化の進んだ宇宙劇場の映像機器の改修工事の実施は当館の抱える喫緊の課題の一つでしたが、昨年度の1月からおよそ三か月ほどかけて改修がなされ、今年度早々の4月28日にリニューアルオープンを果たすことができました。改修の結果、スクリーン全体にフルハイビジョンの約8倍もの高解像度の美しい映像が映し出されるようになるとともに、一緒に行ったプラネタリウムの投影機のオーバーホールにより、従来よりさらに精緻な星空を投影することができるようになって、多くの市民の方々にその見事なまでの映像美を堪能していただくことができました。また、今年度初めての試みとして行った「アラスカからのオーロラ生中継」も大変な好評を博し、県内外から多くのお客様におい出ただいて楽しんでもらうことができました。

次にJAXAとの共催事業として開催した「星出宇宙飛行士ミッション報告会」は市民文化センターに800人もの参加者を得て行うことができました。この講演会は全国でも五か所でしか開催されないものでしたが、本市での講演会がそのうちの一つに選ばれ、多くの市民の皆様にも本物の宇宙飛行士との触れ合いを楽しんでもらうことができました。会の中では会場から講師への率直な質問や意見の交換もあって大いに盛り上がり、聴衆の宇宙への興味関心を大いに引き立てるものとなりました。

金環日食の観望会は、日本では25年ぶりとなる珍しい天体ショーで、郡山駅前に早朝の6時30分からおよそ1,000人もの多くの市民の方々が集まり、皆熱心に観測を行いました。あいにくの曇り空でしたが、ほんの一瞬だけ厚い雲の隙間から光輝く金環が顔を見せ、集まった市民の皆さんから大きな歓声が上がりました。短い時間の観望会ではあったものの、集まった多くの方々に宇宙へのロマンを感じていただくことができたと思います。

東日本大震災にともなう東京電力福島第一原子力発電所の事故の影響により、県外や会津地方からの団体利用は依然として思わしくないものの、活発な営業活動の成果もあって県北地方を中心とした県内の団体利用に回復の兆しが見えています。年度ごとの各種イベントの開催により、入館者数はその都度大幅に変動するとは言うものの、サイエンスショーを毎日上演するなど既存の施設に頼らない地道な努力の積み重ねの結果、今年度においても年間14万人を超える入館者数を維持できたのは喜ばしい限りです。

今後とも少しでも多くの入館者が増えるようさらに創意工夫を重ねるとともに、市民参加型の事業のさらなる充実発展により地域社会へ大きく貢献できるよう努力を継続していきたいと思っております。

郡山市ふれあい科学館
館長 伊 東 利 幸

I 施設のあらし

1 設置目的

郡山市ふれあい科学館スペースパークは、宇宙の時代といわれている21世紀において、人類が羽ばたこうとしている広大な宇宙やそれを支える様々な科学などに触れ、子どもから大人までの幅広い年代の皆さんに、宇宙や科学に対しての夢や希望を育むとともに、多くの皆さんがこの場集い、様々なふれあいを通じて、市民文化が向上することを目指しており、具体的には、以下の目的で設置した施設となっています。

(1) 理科離れ、科学技術離れへの対応

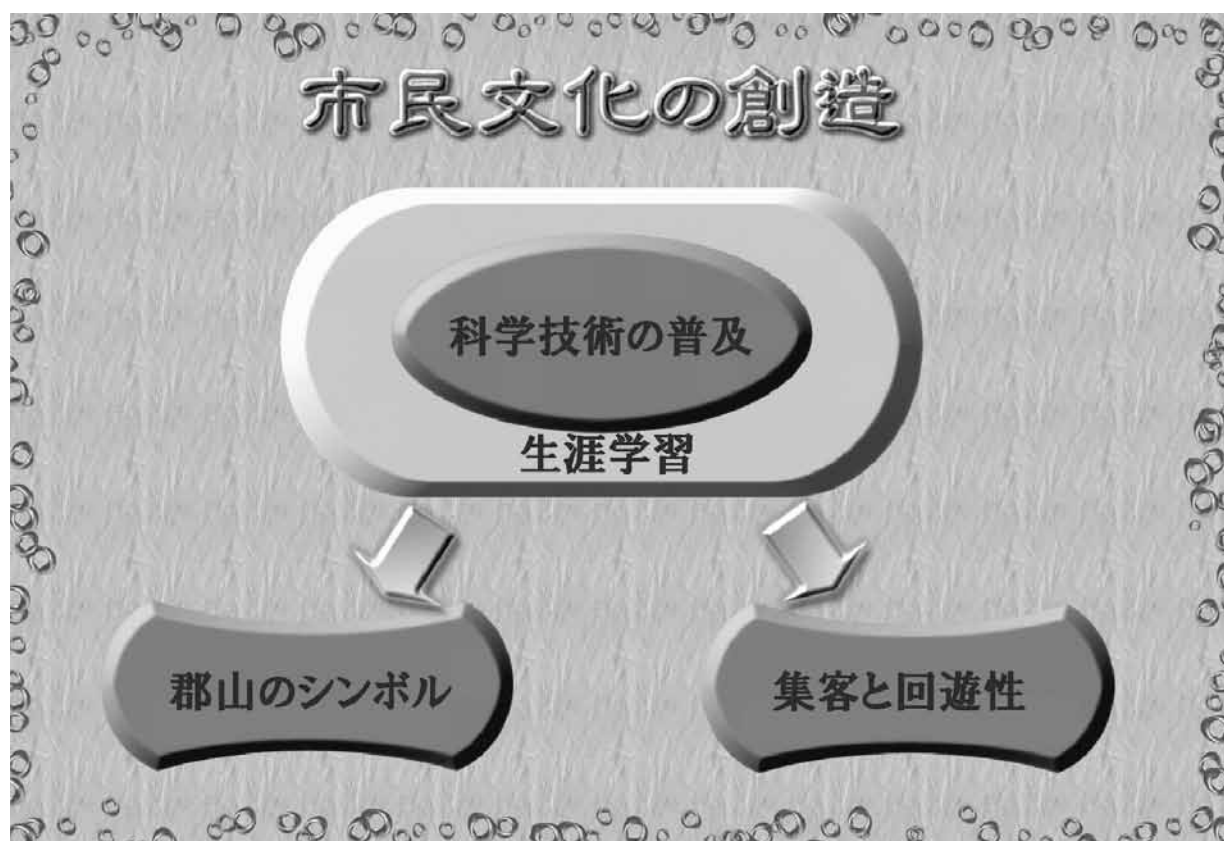
近年の子どもたちの理科離れや科学技術離れに歯止めをかける県内初の本格的な理工系科学館を建設し、楽しみながら学べるような施設とする。

(2) 市民の生涯学習意欲への対応

科学技術の普及を通じ、多世代の市民が利用できる生涯学習施設として活用する。

(3) 都心部の回遊性と集客

21世紀の郡山を象徴する高層ビル“ビッグアイ”のシンボル施設として設置し、回遊性と集客力を向上することにより、市街地の活性化を図る。



2 運営方針

基本コンセプト

宇宙の中のわたしたち

わたしたちの存在する宇宙とわたしたちの関わり

基本テーマ

地球人から宇宙人へ

地球人も宇宙に存在する宇宙人の一人であることをさまざまな宇宙的体験で認識し、宇宙の視点から地球人であることを再認識

上記のコンセプトやテーマのほか、施設設置の目的等を達成し、常に成長する科学館“グローイング・ミュージアム”を実現するため、以下のポイントを重視した施設運営を図っています。

ポイント1 科学する心を喚起する科学館

科学に関する一通りの知識を理解させる情報発信を重視した「完結型の科学館」から、能動的・主体的な活動を促し、無関心層にもアピールできる参加者の視点を重視した「科学する心を喚起する科学館」へと成長することを目指しています。

ポイント2 コミュニケーション重視の科学館

体験性やインタラクティブ性を重視し、機械的に情報を発信する「展示情報重視の科学館」から、人と人とのコミュニケーションを通じた知的体験により情報を発信する「コミュニケーション重視の科学館」へと成長することを目指しています。

ポイント3 ボランティア参加型科学館

科学館が一方的に運営体制や案内、安全管理等を行う「サービス型の科学館」から、経験や知識の有効活用、市民交流の活性化等の視点を取り入れた「ボランティア参加型の科学館」となることを目指しています。

また、来館者や地域と科学館が有機的に結びつき、レベルを向上することができるよう、以下の視点を重視した事業展開を行っています。



◎無関心層◎

展望ロビーの一般利用者のほか、郡山駅や商業施設の利用者など、特に宇宙や科学に興味のない無関心層に対しては、遊び感覚で宇宙や科学を楽しむことができ、興味を喚起させる事業展開を図ります。

◎関心層◎

子ども連れの家族や小中学校等の団体など、宇宙や科学というテーマに興味をもって来館する関心層に対しては、テーマ性のある番組や参加体験型の展示のほか、講演会やサイエンスショー・ワークショップなどを通じて、関心の度合いを高める事業展開を図ります。

◎探求層◎

宇宙や科学に興味があり、自らその先にあるものを追求する探求層に対しては、目的に応じてデータ化された情報の提供や専門機関等からの情報支援等により、様々な知的欲求を満足できる事業展開を図ります。

3 施設概要



所在地：福島県郡山市駅前二丁目11番1号
(ビッグアイ20～24階)

構 造：地下1階、地上24階、鉄骨造
※ビル全体の構造(地上高133m)

面 積：4,337.37㎡(内専用部分3,459㎡)

宇宙劇場 — 23・24F —

劇場、ホワイエ

○規模

直径23m(傾斜型)、座席数238席

○機器

スーパーヘリオス、全天ビデオシステムほか

○展示品

アースタッチング

展望ロビー — 22F —

メインエントランス、カフェ・ショップほか

○展示品

Nゲージ鉄道ジオラマ(運転シミュレーター)、
シンボルオブジェ「プライマル」、
マップオンプラネットほか

展示ゾーン — 21F —

○展示品

－プロローグ－

プロローグ「惑星」、
コペルニクスの考えた宇宙、
ハーシェルの考えた宇宙、
ハッブルの考えた宇宙ほか

－スペースフロンティア－

国際宇宙ステーション「きぼう」、
宇宙探検シミュレーション、
ムーンジャンプ、トリプルスピンほか

－クエスト・オブ・ザ・ユニバース－

すばる望遠鏡模型&主鏡、宇宙のポートレート、
進化する宇宙・ふくらむ宇宙、プラズマボール、
隕石、太陽系シミュレーターほか

－アースウォッチング－

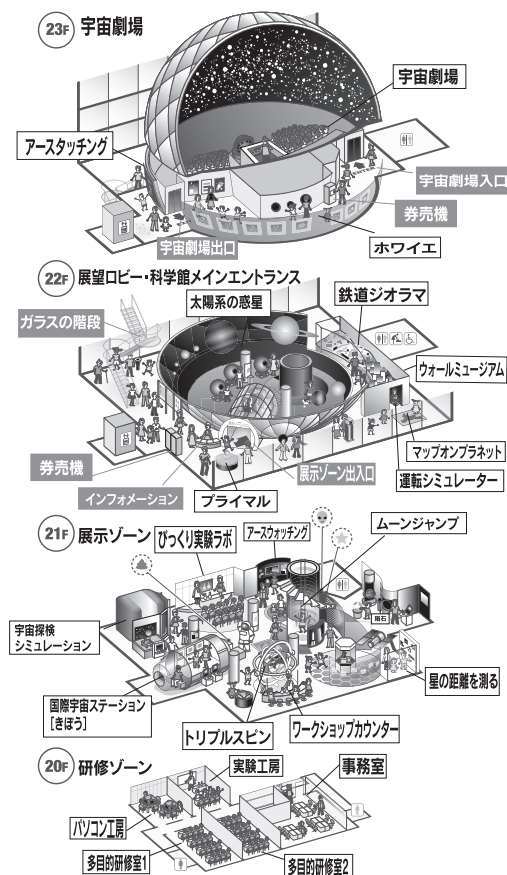
アースウォッチングほか

研修ゾーン — 20F —

多目的研修室、パソコン工房、実験工房、ボランティア室、事務室ほか

郡山市ふれあい科学館
フロア案内

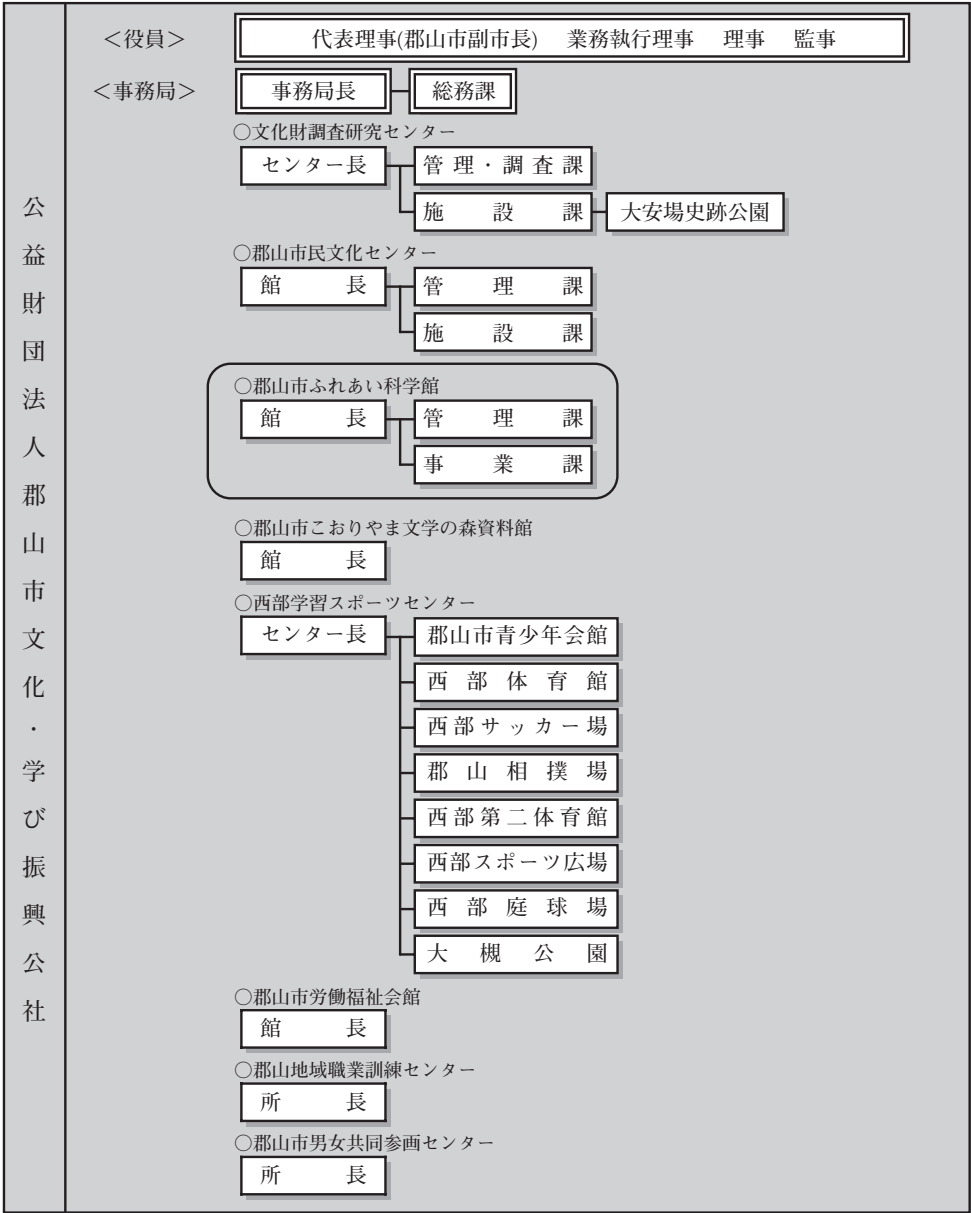
スペースパークフロアマップ



総事業費
4,331,480,716円

－ 年度別内訳 －		－ 内容別内訳 －	
H11	542,395,000円	建 設 費	2,810,762,998円
H12	2,594,887,000円	床取得費	1,509,000,000円
H13	1,194,198,716円	事 務 費	11,717,718円
－ 財源別内訳 －			
地域総合整備事業債		911,300,000円	
基金繰入金(寄附金)		2,810,762,998円 (寄附金総額：3,023,812,680円)	
* 寄附金残額(213,049,682円)は展示更新基金として積立			
雇用保険料個人負担分		14,583円	
一 般 財 源		609,403,135円	

4 組織概要
(1) 組織図<平成24年度>



(2) 職員配置＜平成25年3月31日現在＞

館長(1)

－管理課(8)－

課長(1)、主任(2)、常勤嘱託職員(1)、臨時職員(4)

－事業課(29)－

課長(1)、主任(3)、主査(3)、技査(1)、常勤嘱託職員(1)、非常勤嘱託職員(1)、臨時職員(19)

合計38名

5 沿革

▶平成10年度

＜平成10年4月＞

○郡山駅西口再開発ビルの建設計画発表→(仮称)ふれあい科学館建設構想発表

※郡山市教育委員会青少年課が所管

＜平成10年6月～7月＞

○(仮称)ふれあい科学館建設検討委員会開催

＜平成10年10月～12月＞

○宇宙劇場に係る機種選定検討委員会開催

＜平成10年10月～平成11年1月＞

○基本計画策定

▶平成11年度

＜平成11年5月～11月＞

○基本実施設計策定

＜平成12年3月＞

○20階研修ゾーン(保留床)の追加取得決定

○財団法人郡山市文化施設管理公社への管理運営委託協定書締結

＜平成12年3月～平成13年6月＞

○展示物、プラネタリウム、内外装等の工事施工

▶平成12年度

＜平成12年4月＞

○郡山市教育委員会内に科学館準備室設置

＜平成12年7月＞

○福島大学大学院サテライト教室等の設置に関する基本協定書締結

＜平成12年9月＞

○科学館キャラクター決定(制作者：漫画家 松本零士氏)

＜平成12年12月＞

○科学館愛称決定(愛称：スペースパーク)※応募総数：2,849点

＜平成13年3月＞

○郡山市ふれあい科学館条例制定

▶平成13年度

＜平成13年4月＞

○ビッグアイに科学館準備室移転

＜平成13年6月＞

○郡山市ふれあい科学館条例施行規則制定

<平成13年7月>

- 工事関係完了引渡式
- シンボルマーク及びロゴタイプ決定

<平成13年8月>

- 22階展望ロビーをプレオープン

<平成13年10月>

- 初代館長 永戸法夫就任
- 郡山市ふれあい科学館開館
 - ※郡山市ふれあい科学館オープン式を開催、名誉館長を松本零士氏に委嘱
- 有料ゾーン入館者が1万人突破
- 展望ゾーン入館者が10万人突破
- 郡山市ふれあい科学館開館記念“宇宙へワープ”開催(会場：郡山市民文化センター)
 - ※日本科学未来館館長毛利衛氏、松本零士氏、国立天文台助教授広報普及室長渡部潤一氏ほか出席

<平成13年11月>

- 郡山市ふれあい科学館開館記念“第1回星の講演会「すばる望遠鏡が見た新たな宇宙」”開催

<平成13年12月>

- 郡山市ふれあい科学館開館記念“サイエンスショー”開催

<平成14年1月>

- ギネス認定(「地上から世界で一番高いところにあるプラネタリウム」)
- “第2回星の講演会「惑星をさぐる」”開催

<平成14年2月>

- 郡山市ふれあい科学館開館記念“エネルギー体験館”開催(会場：ビッグパレットふくしま)
- 有料ゾーン入館者が10万人突破

<平成14年3月>

- 展望ロビー入館者が郡山市人口(336,943人)突破
- ロボット犬アイボ導入
- “第3回星の講演会「見てみよう土星食！」”開催

▶平成14年度

<平成14年4月>

- 第2代館長 大森高志就任

<平成14年6月>

- 鉄道ジオラマボランティア33人活動開始

<平成14年7月>

- 有料ゾーン入館者が20万人突破
- 開館1周年記念“松本零士講演会”開催

<平成14年8月>

- 展望ゾーン入館者が50万人突破
- 財団法人郡山市埋蔵文化財発掘調査事業団との連携事業“縄文の科学・生命の科学ワークショップ”開催
- 国立科学博物館博物館連携促進事業“科学活動指導者研修講座”開催

<平成14年10月>

- 常陸宮両殿下視察
- 開館一周年記念事業“鉄道フェスティバル”開催
- “第4回星の講演会「宇宙の広がり」”開催

<平成14年12月>

- 福島県立博物館との連携事業“100年前の実験に挑戦!!「石井研堂の理科読み物の世界」”開催

○開館一周年記念“サイエンスショー”開催

<平成15年1月>

○“第5回星の講演会「CGで宇宙を体験しよう！～天文ライブショー『ユニバース』”開催

<平成15年2月>

○有料ゾーン入館者が30万人突破

○有料ゾーン入館者30万人達成予想クイズ募集 ※433名応募者から8名正解者

○福島大学との連携事業“おもしろ科学びっくり箱－音で見てみよう、触ってみよう！”開催

<平成15年3月>

○郡山市美術館との連携事業“万華鏡(カレイドスコープ)でアート&サイエンス体験”開催

○展示ゾーン新展示物設置

H2ロケットフェアリング(協力：宇宙開発事業団)

船外活動装置装備宇宙服(協力：日本宇宙少年団)

○“第6回星の講演会「電波で宇宙を調べる？」”開催

▶平成15年度

<平成15年4月>

○宇宙劇場番組“全天周映像番組”に星空紹介を加え“特別番組”として投映開始

○宇宙劇場番組“星と音楽のひととき”投映開始

○特別展“毛利宇宙飛行士の部屋～ユニバソロジの世界～”開催

○福島県立博物館との連携事業“100年前の実験に挑戦!!「石井研堂の理科読み物の世界」”開催

○福島大学との連携事業“おもしろ科学びっくり箱「のぞいてみよう、ミクロ・ワールド」”開催

<平成15年5月>

○科学館支援グループ(教員等)ほかによる屋台形式のワークショップ“特別自由工房”開催

○“第7回星の講演会「宇宙の仕組みを調べる」”開催

<平成15年6月>

○宇宙飛行士で日本宇宙少年団団長の毛利衛氏がこおりやま分団の激励のため来館

○福島大学との連携事業“サイエンスセミナー”開催

<平成15年7月>

○“松本零士のスペースアニメ展”開催

○“松本零士のふれあいトーク”開催

○スペースパークボランティア活動開始

<平成15年8月>

○福島大学との連携事業“おもしろ科学びっくり箱「科学 DE マジック! と マジック DES 科学」”開催

○福島大学との連携事業“サイエンスセミナー”開催

○財団法人郡山市埋蔵文化財発掘調査事業団との連携事業“縄文の科学ワークショップ”開催

<平成15年9月>

○有料ゾーン入館者が40万人突破

○郡山市美術館との連携事業“星空観測会(平安の「天文博士」安倍清明に挑戦！)”開催

<平成15年10月>

○火星大接近特別イベント“講座「火星の魅力」&火星大観望会”開催

○“「鉄道の日」鉄道フェスティバル”開催

<平成15年11月>

○“第8回星の講演会「ほうき星を探る」”開催

○福島大学との連携事業“サイエンスセミナー”開催

<平成15年12月>

○福島県立博物館との連携事業“100年前の実験に挑戦!!「石井研堂の理科読み物の世界」”開催

- 全国科学館連携協議会との連携事業“サイエンスセミナー”開催
- 宇宙航空研究開発機構、財団法人日本宇宙少年団との連携事業“コズミックカレッジ(エドゥケーターコース、キッズコース)”開催

<平成16年2月>

- スペースパークボランティアの会設立
- 日立科学あそび隊との連携事業“じっとしなくちゃ慣性の法則”開催

<平成16年3月>

- 展望ゾーン入館者が100万人突破
- 宇宙航空研究開発機構、財団法人日本宇宙少年団との連携事業“コズミックカレッジ(ファンダメンタルコース)”開催
- 福島県立清陵情報高等学校との連携事業“相撲ロボットで対戦しよう”「スペースパーク春場所 相撲ロボット大会」開催
- スペースパークボランティアの会との連携事業“鉄道模型を楽しもう”開催

▶平成16年度

<平成16年4月>

- 第3代館長 箭内政勝就任
- 彗星特別企画「彗星スペシャル」開催(4月～6月)

<平成16年5月>

- リニア彗星、ニート彗星の接近に合わせ彗星大観望会を開催
- 福島大学との連携事業“おもしろ科学びっくり箱「まわりの石や鉱物を見てみよう！」”開催
- 科学館支援グループ(教員等)やスペースパークボランティアの会の方による屋台形式のワークショップ“サイエンスフェスティバル”開催

<平成16年6月>

- 有料ゾーン入館者が50万人突破
- 福島大学との連携事業“おもしろ科学びっくり箱「身近な理科まるわかり」”開催

<平成16年7月>

- 福島大学との連携事業“おもしろ科学びっくり箱「木から歴史を知る」”開催
- 曾田香料株式会社との連携事業“香りの魅力～オリジナルの香水を作ってみよう！～”開催

<平成16年8月>

- 福島大学との連携事業“サイエンスセミナー「身近なムシの観察術お教えします」”開催
- 福島大学との連携事業“サイエンスセミナー「音楽にひそむ物理学」”開催

<平成16年9月>

- 福島大学との連携事業“おもしろ科学びっくり箱「ものづくりで知る形のたのしさ、おもしろさ」”開催

<平成16年10月>

- “郡山市制施行80周年・合併40年記念 郡山市ふれあい科学館開館3周年記念 小柴昌俊講演会「心に夢のタマゴを持とう」”開催
- “「鉄道の日」鉄道フェスティバル”開催
- 福島大学との連携事業“おもしろ科学びっくり箱「たねの形と仕組み」”開催

<平成16年11月>

- 展示ゾーン新展示物設置 パラボラアンテナ(協力：国立天文台野辺山電波観測所)
- “第9回星の講演会「どこまで見えた？宇宙の果て」”開催
- 天文教育普及研究会・東北支部会開催
- 福島大学との連携事業“おもしろ科学びっくり箱「いろいろなエネルギーをつくり出そう」”開催

<平成16年12月>

- 福島大学との連携事業“おもしろ科学びっくり箱「すきすきの星の世界、混み混みの銀河の世界」”開催

<平成17年2月>

- 県内5館連携事業“100年前の実験に挑戦!!—石井研堂とその時代—”開催(福島県立博物館、福島県立図書館、磐梯山噴火記念館、郡山市立美術館、郡山市ふれあい科学館)
- 郡山市制施行80周年・合併40年記念事業・郡山市ふれあい科学館開館3周年記念事業“第10回星の講演会「神田 紅 宇宙を語る」”開催
- 福島大学との連携事業“おもしろ科学びっくり箱「雲を掴む」”開催

<平成17年3月>

- 有料ゾーン入館者が60万人突破
- 福島県立清陵情報高等学校との連携事業“ロボットで遊ボット!”開催
- スペースパークボランティアの会発会1周年記念“スペースパークボランティアまつり”開催

▶平成17年度

<平成17年5月>

- 福島大学との連携事業“おもしろ科学びっくり箱「からくり人形とロボットの動く仕組み」”開催

<平成17年6月>

- 福島大学との連携事業“おもしろ科学びっくり箱「音の環境/環境の音」”開催
- 郡山市立希望ヶ丘図書館・文化財調査研究センターとの連携事業“放課後の科学教室「石皿で切り絵」”開催

<平成17年7月>

- 文化財調査研究センターとの連携事業“アンギン編みでコースターを作ろう”開催
- 郡山市立希望ヶ丘図書館・文化財調査研究センターとの連携事業“放課後の科学教室「石皿できなこづくり」”開催

<平成17年8月>

- 福島大学との連携事業“おもしろ科学びっくり箱「大宇宙への誘い」”開催
- スペースパークボランティアの会の出張活動“おおまち笑・Show・商”に参加

<平成17年9月>

- アインシュタイン特別企画 ～不思議な世界 紹介～開催(9・10月)
- “第11回星の講演会「アインシュタインの宇宙」”開催

<平成17年10月>

- 有料ゾーン入館者が70万人突破
- 郡山市立希望ヶ丘図書館との連携事業“放課後の科学教室「パラボラアンテナで実験！」”開催
- “「鉄道の日」鉄道フェスティバル”開催

<平成17年11月>

- 福島大学との連携事業“おもしろ科学びっくり箱「ぐにゅ・くにゅ、ゲルの摩訶不思議な世界」”開催
- 郡山市立希望ヶ丘図書館との連携事業“放課後の科学教室「エアカーを作ろう!!」”開催
- 郡山市ふれあい科学館・郡山市こおりやま文学の森資料館連携事業“星の講演会スペシャル版「星と民話の夕べ」”開催
- スペースパークボランティアの会の出張活動“ウィンターフェスティバル2005駅前大通りエビスコフェスタ”に参加

<平成17年12月>

- 福島大学との連携事業“おもしろ科学びっくり箱「自転車発電でクリスマスツリーをともしよう！」”開催

<平成18年1月>

- 展望ゾーン入館者が150万人突破
- 福島大学との連携事業“おもしろ科学びっくり箱「ものづくりって、ちょっとあぶないけどおもしろい」”開催
- 郡山市立希望ヶ丘図書館との連携事業“放課後の科学教室「葉脈標本作り」”開催

<平成18年2月>

- “第12回星の講演会「太陽系の果てを探る－第10番惑星は存在するか－」”開催
- 磐梯山噴火記念館との連携事業“科学ゼミナール「宇宙の火山・地球の火山」”開催
- 郡山市立希望ヶ丘図書館との連携事業“放課後の科学教室「簡単万華鏡」”開催
- 福島大学数学教室(森本明)研究室との連携事業“感じる科学のアイデア～センサーロボットの動きをつくる～”開催

<平成18年3月>

- 展示ゾーンに「びっくり実験ラボ」オープン
オープニングイベント“杉木優子びっくりサイエンスショー”開催
- 福島県立清陵情報高等学校・福島県立郡山北工業高等学校との連携事業“ロボットで遊ボット!”開催
- スペースパークボランティアの会主催“スペースパークボランティアまつり”開催

▶平成18年度

<平成18年5月>

- “南極の氷展 特別講演会「南極ってどんなところ？」”開催

<平成18年6月>

- 福島大学との連携事業“おもしろ科学びっくり箱「酵素パワーのひみつ ～食べ物を消化せよ!～」”開催
- “十二星座しんけいすいじゃくゲーム”新登場

<平成18年7月>

- 福島大学との連携事業“おもしろ科学びっくり箱「よい眠りを科学する」”開催

<平成18年8月>

- 有料ゾーン入館者が80万人突破
- 宮沢賢治生誕110周年記念“星の講演会スペシャル版「銀河鉄道の夜 朗読会」”開催

<平成18年9月>

- 郡山市ふれあい科学館開館5周年記念“全館企画「宇宙飛行士スペシャル」”開催(9・10月)
- 郡山市立美術館との連携事業“もっと身近にアニメーション(郡山市立美術館「ピクサー展」関連事業)”開催

<平成18年10月>

- 郡山市ふれあい科学館開館5周年記念事業“「飛び出せ!郡山から未来へ!～宇宙開拓の未来～」”開催
- 郡山市ふれあい科学館開館5周年記念投映“「銀河鉄道の星物語 宮沢賢治が見た風景～小岩井農場から見る銀河鉄道の星座たち～」”開催
- 郡山市ふれあい科学館開館5周年記念投映“「螺旋の宇宙誌」”開催
- “「鉄道の日」鉄道フェスティバル”開催
- 国際宇宙ステーション(ISS)の日本上空通過に合わせ観望会を開催

<平成18年11月>

- 郡山市ふれあい科学館開館5周年記念投映“「ふくしまから宇宙へ」”開催
- “マンガの日スペシャル企画「まんがでサイエンス!」”開催

<平成18年12月>

- 福島大学との連携事業“おもしろ科学びっくり箱「色をとりだし、光をつくる!？」”開催
- 福島大学との連携事業“おもしろ科学びっくり箱「カラダ・ダ・ヴィンチ～美術に学ぶ身体不思議～」”開催

<平成19年1月>

- 福島大学との連携事業“おもしろ科学びっくり箱「かたちで遊ぼう!」”開催
- 郡山市立希望ヶ丘図書館との連携事業“放課後の科学教室「ビー玉&空気ごま」”開催

<平成19年2月>

- “第13回星の講演会「太陽系誕生の謎」”開催
- 郡山市立希望ヶ丘図書館との連携事業“放課後の科学教室「ふりふり振り子」”開催

＜平成19年3月＞

- “シアトリカル・プラネタリウム「いつか、そらまで」”開催
- 郡山市立希望ヶ丘図書館・文化財調査研究センターとの連携事業“放課後の科学教室「プラアクセサリー・土器のペン立て作り」”開催
- 福島県立清陵情報高等学校・福島県立郡山北工業高等学校との連携事業“ロボットで遊ボット!”開催
- “ロボットで遊ボット! 特別企画「ASIMOが郡山にやってくる!」”開催
- スペースパークボランティアの会主催“スペースパークボランティアまつり”開催

▶平成19年度

＜平成19年4月＞

- 第4代館長 佐藤秀一就任
- “宇宙図解説ミニ講座～科学技術週間に連動!～”開催

＜平成19年5月＞

- “いないいないばあっ! ワンワンとあそぼうショー+プラネタリウム”開催
- “日本南極観測50周年記念「南極の水展」”開催

＜平成19年6月＞

- “科学ゼミナール全館企画スペシャル「親と子の地球環境ワークショップ」”開催
- 有料ゾーン入館者が90万人突破
- “第14回星の講演会「宇宙から見た地球」”開催

＜平成19年7月＞

- “夏休み特別番組「銀河鉄道999 ～星空はタイムマシーン～ 太陽系・恐竜絶滅編」”放映開始

＜平成19年10月＞

- “「鉄道の日」鉄道フェスティバル”開催
- 「第5回郡山地域ホームページコンテスト2007」教育・公的機関部門 優秀賞受賞
- フォレストパーク・福島大学との連携事業“「ふくしま環境探検隊」”開催
- 新潟大学工学部との連携事業“「科学技術へのいざない」”開催
- 福島大学との連携事業“おもしろ科学びっくり箱「からだ・ダヴィンチ～アートに学ぶ身体づくり～」”開催

＜平成19年11月＞

- “まんがの日「まんが de Science(サイエンス)07」”開催
- 福島大学との連携事業“おもしろ科学びっくり箱「音をつくる」”開催
- “星の講演会スペシャル版「星と民話の夕べ」”開催

＜平成19年12月＞

- 福島大学との連携事業“おもしろ科学びっくり箱「麻痺した手足の動きを電気で支援する」”開催
- “スペースパーク企画展「ダンボールで遊ぼう～迷路でたんけん♪～」”開催
- 展望ゾーン入館者が200万人突破

＜平成20年1月＞

- 有料ゾーン入館者が100万人突破
- 福島大学との連携事業“おもしろ科学びっくり箱「健康と運動～身体を分解し、必要な運動の種類や量を探る～」”開催

＜平成20年2月＞

- “天体観察指導者向け「天体望遠鏡操作講習会」”開催
- “第15回星の講演会「第2の地球をさがせ! - 太陽系外の惑星たち -」”開催

＜平成20年3月＞

- チャーリー西村のわくわく環境実験「酸性雨ってなんだろう?」”開催
- “星空案内人 資格認定証授与式”開催
- “あなたも星空のカメラマン!～星の写真にチャレンジ～入門編～”開催

- スペースパークボランティアの会主催“スペースパークボランティアまつり”開催
- 福島県立清陵情報高等学校・福島県立郡山北工業高等学校との連携事業“ロボットで遊ボット!”開催

▶平成20年度

<平成20年4月>

- “「光マップ」ミニ講座～科学技術週間に連動!～」開催

<平成20年5月>

- “南極のふしぎ展～南極は楽園?～」開催

<平成20年6月>

- “「JAXA太陽ふしぎ展」”開催
- “特別展「星出さん宇宙へ行く!～星出彰彦宇宙飛行士企画展～」”開催
- 福島大学との連携事業“おもしろ科学びっくり箱「たべる科学(1)～いろいろな味を感じてみよう!～」”開催
- 福島大学との連携事業“おもしろ科学びっくり箱「たべる科学(2)～食べ物のDNAをとりだしてみよう!～」”開催

<平成20年7月>

- スペースパークの新しい仲間アザラシロボットパロ命名「ミライ」
- “夏休み特別番組「ダイナソーDXパタゴニア・巨大恐竜の謎」”放映開始
- “第2回星空案内人 資格認定証授与式”開催

<平成20年8月>

- 東京デザイナー学院アニメーション科キャラバン隊との連携事業“「アニメーション上映会32th」”開催
- 有料ゾーン入館者が110万人突破

<平成20年9月>

- 福島大学連携講座“「蒼い星・地球について考える」”開催

<平成20年10月>

- “第16回星の講演会「最新CGで見る宇宙の姿」”開催
- “ノーベル物理学賞・化学賞紹介パネル展”開催
- “「鉄道の日」鉄道フェスティバル”開催
- 新潟大学工学部との連携事業“「科学技術へのいざない」”開催

<平成20年11月>

- “アート&サイエンス'08”開催
- “びっくりサイエンス教室～無重力を体感する、二酸化炭素の正体、科学捜査～」開催

<平成20年12月>

- “全館企画「月の科学」オープニングイベント「月の石がやってきた!」”開催
- “冬休み特別番組「宇宙エレベーター～科学者の夢見る未来～」”放映開始
- “第3回星空案内人 資格認定証授与式”開催

<平成21年1月>

- “月焼き陶芸の魅力～手のひらで宇宙を感じよう～」開催
- “第1回ふくしま星・月の風景フォトコンテスト
- “第17回星の講演会「星くずから地球、そして月へ～スーパーコンピュータが解き明かす誕生の秘密～」”開催
- 福島県立福島高等学校との連携事業“「科学のかけ橋 in スペースパーク～福高生によるサイエンス教室～」”開催

<平成21年2月>

- 福島大学との連携事業“おもしろ科学びっくり箱「健康の科学(1)～運動でスッキリ!メタボも解消!～」”開催
- “ソーラーカーをつくろう!～自然エネルギーを学ぼう～」開催
- 福島大学との連携事業“おもしろ科学びっくり箱「健康の科学(2)～健やかな眠りのための脳のしくみ～」”開催

○科学ゼミナール サイエンスカフェ「アポロは本当に月に行ったの!？」開催

<平成21年3月>

○荻野先生のわくわく環境実験「水について考えよう！」開催

○プラネタリウム演劇フェスティバル開催

○高校生対象天体観測実習「君が天文学者になる3日間at郡山」開催

○“第4回星空案内人 資格認定証授与式”開催

○スペースパークボランティアの会主催“スペースパークボランティアまつり”開催

○福島県立清陵情報高等学校・福島県立郡山北工業高等学校との連携事業“ロボットで遊ボット!”開催

▶平成21年度

<平成21年4月>

○世界天文年2009 世界主要企画「世界一周観望会in郡山」開催

○“「天体望遠鏡400年」ポスター解説ミニ講座～科学技術週間に連動!～」開催

<平成21年6月>

○福島大学との連携事業“おもしろ科学びっくり箱「電池のしくみ」”開催

○福島大学との連携事業“おもしろ科学びっくり箱「モーターを作ってみよう」”開催

○“第18回星の講演会「日食を見よう!～日食・宇宙の果てしなき魅力～」”開催

○“ソーラーカーをつくろう!～自然エネルギーを学ぼう～”開催

<平成21年7月>

○“夏休み特別番組「3Dワンダフルプラネット」”放映開始

○“第5回星空案内人 資格認定証授与式”開催

○“世界天文年2009「部分日食観望会」”開催

○“第5回星空案内人 資格認定証授与式”開催

○有料ゾーン入館者が120万人突破

<平成21年9月>

○福島大学との連携事業“おもしろ科学びっくり箱「バイオマスのエネルギー利用」”開催

○「第4回農業総合センターまつり」ふくしまサイエンスぷらっとフォーム(spff)コーナーに参加

○新潟大学工学部との連携事業“「科学技術へのいざない」”開催

○“平成21年 宇宙の日「全国小中学生作文絵画コンテスト」表彰式”開催

○“天体観望会 at 布引高原～風の高原で星空を見上げよう!～」開催

<平成21年10月>

○“大安場史跡公園天体観望会”開催

○福島県立福島高等学校との連携事業“「科学のかけ橋 in スペースパーク～福高生によるサイエンス教室～」”開催

○“「鉄道の日」鉄道フェスティバル”開催

○“ガリレオの夕べ in 郡山”開催

<平成21年11月>

○“全館企画「世界天文年2009～ガリレオの世界を体験しよう～」”開催

○小学校1年生から4年生対象“コズミックカレッジ「キッズコース」”開催

○“ワークショップ「君もガリレオ～望遠鏡を作って宇宙を見よう!～」”開催

○福島大学との連携事業“おもしろ科学びっくり箱「食べない油を燃料にするシステムについて」”開催

<平成21年12月>

○科学ゼミナール“サイエンスカフェ「宇宙・地球・生命」”開催

○世界天文年2009“「地球と宇宙の火山どっちが大きいか?」”開催

○“スペースパーク企画展「ようこそ!ダーウィンの部屋へ」”開催

○“冬休み特別番組「アースストーリー～恐竜の進化とヒトの未来～」”放映開始

○“世界天文年2009 グランドフィナーレ in 郡山”開催

○展望ゾーン入館者が250万人突破

<平成22年 1 月>

○“サイエンスセミナー「実験・工作de楽しもう!!」”開催

<平成22年 2 月>

○福島県電波適正利用推進員協議会との連携“「ファミリー電波教室」”開催

<平成22年 3 月>

○“第6回星空案内人 資格認定証授与式”開催

○スペースパークボランティアの会主催“スペースパークボランティアまつり”開催

○福島県立清陵情報高等学校・福島県立郡山北工業高等学校との連携事業“ロボットで遊ボット!”開催

○有料ゾーン入館者が130万人突破

○“7 STARSキャンペーン～一週間の7天体を全部見ようよ! キャンペーン～”開始

▶平成22年度

<平成22年 4 月>

○第5代館長 遠藤育夫就任

○“宇宙の日記念行事「全国小・中学生作文絵画コンテスト」”作品募集開始

<平成22年 5 月>

○“ゴールデンウィークスペシャル企画「サイエンスフェスティバル」”開催

○“地質の日記念 野外講座「郡山で化石をさがそう」”開催

<平成22年 6 月>

○福島大学との連携事業“おもしろ科学びっくり箱 第1回「なぜ聞こえるの? どうして美しいと感じるの? “音”の不思議」”開催

○郡山市生活環境課との共催“普及活動「かんきょう学習塾」”開催

<平成22年 7 月>

○“七夕コンサート「シタールの旋律と七夕の星空」”開催

○福島大学との連携事業“おもしろ科学びっくり箱 第2回「こんなところに自然が! 郡山駅周辺の植物観察」”開催

○“宇宙劇場 夏休み特別番組「プレヒストリック・パーク」”放映開始

○“わくわくスペースパークの夏「鉄道模型操作体験」”開催

<平成22年 8 月>

○“字幕付きプラネタリウム 第1回”放映(一般番組「宇宙人はいるの?～地球外生命の可能性～」)

<平成22年 9 月>

○“一般番組スペシャル版「おかえり! はやぶさ～オーストラリアへ『はやぶさ』を迎えに行きました～」”開催

○“星景写真撮影講座「夜空を切り取れ!～星・月の風景撮影超入門～」”開催

○“第7回星空案内人 資格認定証授与式”開催

<平成22年10月>

○“鉄道の日「鉄道フェスティバル」”開催

○文学の森資料館との連携事業“星の講演会スペシャル版「星と民話の夕べ」”開催

○福島高校との連携事業“科学へのかけ橋 in スペースパーク～福高生によるサイエンス教室～”開催

○有料ゾーン入館者が140万人突破

<平成22年11月>

○“第2回ふくしま 星・月の風景フォトコンテスト”作品募集開始

○“全館企画「ようこそ! 宇宙ステーションへ」”開催

○福島大学との連携事業“おもしろ科学びっくり箱 第4回「ねばねばもちもちあさか舞を科学しよう!」”開催

○“宇宙学校・こおりやま「宇宙に夢中！」”開催

<平成22年12月>

○“スペースパーク企画展「レゴ・エデュケーション展 ～みて・さわって・うごかして～」”開催

○“サイエンスカフェ「エレベータで宇宙へ行けるのか」”開催

○“宇宙劇場 冬休み特別番組「サンタVSスノーマン」”放映開始

○“クリスマスコンサート「聖夜に響くハンドベルの音色」”開催

○平成22年3月にスタートした“7STARSキャンペーン～一週間の7天体を全部見ようよ！キャンペーン～”終了

<平成23年1月>

○“第8回星空案内人 資格認定証授与式”開催

<平成23年2月>

○“字幕付きプラネタリウム 第2回”放映(親と子の天文教室「冬の星めぐり・ふたご座物語」)

○“ファミリーコンサート「りょうこおねえさんとほしぞらコンサート」”開催

○“ふくしまFMとの連携事業「1枚の写真から 公開ライブ」”開催

<平成23年3月>

○「東日本大震災」により3月11日より休館

▶平成23年度

<平成23年4月>

○「東日本大震災」により4月28日まで休館、4月29日より開館

○“スペースパーク企画展「～視覚の科学～トリックアート展」”開催

<平成23年5月>

○“宇宙の日記念行事「全国小・中学生作文絵画コンテスト」”作品募集開始

○“「ふくしま応援隊(大阪)」がやってくる！マッキーのおもしろ科学教室”開催

<平成23年6月>

○福島大学との連携事業“おもしろ科学びっくり箱 第1回「びっくりトリックアート箱」”開催

○福島大学との連携事業“おもしろ科学びっくり箱 第2回「どうしてわかるの？心理テストのひみつ」”開催

<平成23年7月>

○“宇宙劇場 サマーコンサート「夏の夜空を二胡とともに」”開催

○“「第11回コンピュータグラフィックス展」”作品募集開始

○“宇宙劇場 夏休み特別番組「Bugs! ～昆虫たちの不思議な物語～」”放映開始

○“「はやぶさがやってきた～はやぶさ帰還カプセル特別展示～」”開催

○わくわくスペースパークの夏“子ども夢ワークショップ みんなで工作「新エネルギーを考えよう～燃料電池～」”開催

<平成23年8月>

○“「『宙(そら)のまにまに』の世界～作品原画展&柏原麻実先生講演会～」”開催

○わくわくスペースパークの夏“親子で体験！「よくわかる放射線教室」”開催

○有料ゾーン入館者が150万人突破

<平成23年9月>

○福島大学との連携事業“おもしろ科学びっくり箱 第3回「だるまおとしを作ってみよう！」”開催

○新潟大学との連携事業“小中学生・高校生のための「科学技術へのいざない」”開催

○“第8回星空案内人 資格認定証授与式”開催

<平成23年10月>

○郡山市ふれあい科学館開館10周年記念イベント開催

・開館10周年記念セレモニー

・科学の祭典 in こおりやま

・プラネタリウム“1日8回放映”

- ・記念もちつき、星座ビンゴ大会
- ・サイエンスショー「科学の鉄人がやってくる」
- ・電子デバイスで見る松本零士の世界
- ・鉄道フェスティバル「きかんしゃトーマスとなかまたち」

○“プラネタリウムフェスティバル”開催

<平成23年11月>

- “コズミックカレッジ「キッズコース」”開催
- “宇宙劇場 オータムコンサート「笛と星空カルテット」”開催
- 福島大学との連携事業“おもしろ科学びっくり箱 第4回「最新ロボットのしくみ」”開催

<平成23年12月>

- “郡山市ふれあい科学館開館10周年記念「ドラえものの科学みらい展」”開催
- “「ライフーいのちをつなぐ物語ー」チャリティ上映会”開催
- “宇宙劇場 冬休み特別番組「シーレックス」”投映開始

<平成24年1月>

- “宇宙劇場 ウインターコンサート「カバキーニョとアンデスの夜空」”開催
- “字幕付きプラネタリウム”投映(一般番組「宇宙カレンダー」)
- 「宇宙劇場の改修」により1月10日より休館
- “特別展示「ミニプラネタリウムで星めぐり～身近な星グッズとプラネタリウムのふしぎ展～」”開催

<平成24年2月>

- 展望ロビー入館者が300万人突破

<平成24年3月>

- “科学ゼミナール「けんじ(宮沢賢治)せんせいの科学教室」”開催
- “スペースパークボランティアの会主催「スペースパークボランティアまつり」”開催
- “福島県立清陵情報高等学校・福島県立郡山北工業高等学校との連携事業「ロボットで遊ボット!」”開催

▶平成24年度

<平成24年4月>

- 5月21日に起こる金環日食に合わせ、“金環・部分日食 in ふくしま「指導者向け講習会」”を開催
- “第3回 2012年金環日食限界線観測研究会 こおりやまミーティング”を開催
- 5月21日に起こる金環日食に合わせ、“金環・部分日食 in ふくしま「日食観察キットワークショップ」”を開催
- “宇宙劇場リニューアルオープン記念セレモニー”を開催
- ゴールデンウィーク期間中“サイエンスフェスティバル”を開催
- ゴールデンウィーク期間中、被災地支援の一環による科学技術広報財団、日本化学会、日本化学工業協会、日本科学未来館の協力の下“きみたちの魔法ー化学「新」発見”を開催
- “リニューアル記念プラネタリウム番組～リングの太陽～”を4月28日から5月31日まで投映
- 5月21日に起こる金環日食で福島県内でどこまで金環日食が見えたのかを調べるため、“金環・部分日食 in ふくしま「ふくしま日食観測隊」”を組織

<平成24年5月>

- 独立行政法人産業技術総合研究所の牧原正記さんとふくしまサイエンスぷらっとフォーム(spff)に協力いただき“ふくしま科学応援隊2012 マッキーのおもしろ科学教室「無重力を体感する」”を開催
- 5月21日に起こる金環日食に合わせ、“金環・部分日食 in ふくしま「指導者向け講習会」”を開催
- 5月21日に起こる金環日食に合わせ、和歌山大学教授の尾久土正己さんを講師に迎え、“第21回星の講演会「日食を楽しもう!」”を開催
- 5月21日に起こる金環日食に合わせて“イブニングアワー「リングの太陽～金環日食直前情報～」”を2回夜間投映

○郡山駅西口駅前広場及びペデストリアンデッキを会場に“金環日食観望会”を開催

<平成24年6月>

○郡山駅西口駅前広場を会場に“金星太陽面通過観望会”を開催

<平成24年7月>

○“サマーコンサート「ZABADAK LIVE in spacepark Ⅲ ～tanabata special～」”を開催

○“夏休みドーム映像番組「月の魔法とサンゴの海」の先行試写会”を行い、試写会終了後はモルティアー1階で“ミニアクアリウムオープンセレモニー”を開催

○“イブニングアワー「星空ライブ60～夏の星空編～」”を夜間投映

○夏休みの期間中“わくわくスペースパークの夏”を開催

○7月21日・22日に“サイエンスフェスティバル”を開催

○“夏休みドーム映像番組「月の魔法とサンゴの海」”を7月14日から16日、7月21日から8月26日まで投映

○理科作品展などの自由研究の審査に長年取り組んでいる小学校の先生による実演や実験を行う“理科大好き！自由研究講座”を開催

<平成24年8月>

○“イブニングアワー「ゆかた de プラネタリウム！」”を夜間投映。うねめまつりに合わせ「浴衣」、「甚平」等の和装で来館した方を招待者扱いとする無料入館の企画を実施

○“イブニングアワー「星空ライブ60～お盆スペシャル～」”を夜間投映

○8月11日～16日の期間“サイエンスフェスティバル”を開催

○“イブニングアワー「江戸の宇宙～暦と『天地明察』の世界～」”を夜間投映

○大阪科学技術センターの舟生武司さんを講師に迎え“親子で体験！よくわかる放射線教室”を開催

○ALMA望遠鏡の建設に携わっている宮川広さんを講師に迎え“特別講演会「南米チリにつくっているアルマ宇宙望遠鏡」”を開催

<平成24年9月>

○新潟大学と連携し、新潟大学で研究している最新の科学や簡単な実験・工作を行う“科学技術へのいざない”を開催

○“宇宙の日記念全国小・中学生作文絵画コンテスト表彰式”を開催

○“イブニングアワー「中秋の名月」”を夜間投映

<平成24年10月>

○“イブニングアワー「星空ライブ60～秋の星空編～」”を夜間投映

○10月14日の「鉄道の日」にちなみ、スペースパークボランティアの会・JR郡山駅・JR貨物東北支社・鉄道貨物協会東北支部などの協力の下“鉄道の日 鉄道フェスティバル”を開催

○“科学ゼミナール「おもしろ科学びっくり箱 第1回『新幹線のひみつ』”を福島大学教授の小沢喜仁さんを講師に迎え開催

○映像を交えながら間もなく始まる宇宙旅行のサービスの内容や宇宙旅行時代について紹介する“第22回星の講演会「宇宙旅行時代がやって来る！？」”を宇宙ビジネスコンサルタントの大貫美鈴さんを講師に迎え開催

○“科学ゼミナール「おもしろ科学びっくり箱 第2回『水のルーツをさぐろう！』”を福島大学准教授の川越清樹さんを講師に迎え開催

<平成24年11月>

○独立行政法人宇宙航空研究開発機構(JAXA)と共催し、小学1年生から小学4年生とその保護者を対象とした“コズミックカレッジ キッズコース”を開催

○“スペースパークボランティアの会他館研修”を鉄道博物館で実施

○“科学ゼミナール「おもしろ科学びっくり箱 第3回『フライングディスク(フリスビー)の科学』”を福島大学准教授の杉浦弘一さんを講師に迎え開催

○“第12回コンピュータグラフィックス展”表彰式を開催

- “科学ゼミナール「おもしろ科学びっくり箱 第4回『食べ物の放射線はどうやってはかるの?』」”を福島大学教授の山口克彦さんを講師に迎え開催

<平成24年12月>

- “スペースパーク企画展「からくり人形の世界展」”を12月1日から1月14日まで開催
- “冬のドーム映像番組「いきものがたり」”を12月1日から2月24日までロングラン投映
- ジャズボーカルグループ「BREEZE」をお迎えし、“プラネタリウムウインターコンサート「ウインタージャズプラネ～ジャズと星空のハーモニー～」”を開催
- “宇宙劇場冬休み特別企画「ふるさと『こおりやま』と『ふくしまの星空』」”を平成24年12月22日から平成25年1月7日まで投映
- “イブニングアワー「クリスマスの星空」”を夜間投映

<平成25年1月>

- “イブニングアワー「星空ライブ60～冬の星空編～」”を夜間投映
- “星空案内人資格認定証授与式”を開催
- 全国のプラネタリウム22施設の関係者とプラネタリウムメーカー技術者の合わせて55人が参加して“ハイブリッドプラネタリウム研修会”が当科学館を会場に開催

<平成25年2月>

- アラスカからオーロラの生中継を行い、これまでに撮影した映像のダイジェストなどを交えながらオーロラの魅力について紹介する“第23回星の講演会「アラスカからオーロラ生中継 そして、7年間の記録」”を、「Live! オーロラ」を主宰する古賀祐三さんを講師に迎え開催
- “イブニングアワー「アラスカからオーロラ生中継!」”を夜間投映。毎回満席となったため、投映回数を増やし、19時45分からも追加投映
- 独立行政法人宇宙航空研究開発機構(JAXA)と共催し、“星出宇宙飛行士ミッション報告会～こおりやまに宇宙飛行士がやってくる!～”を郡山市民文化センター中ホールを会場に開催
- プラネタリウム番組の解説内容に合わせて要約筆記された字幕を映し出し、聴覚障がい者と一般の方が共に鑑賞できる一般番組「オーロラの国へ」を要約筆記「香久池サークル」の協力を得て投映
- ロシアへの隕石落下のニュースにより隕石への興味関心が高まっていることに合わせ、ミニ企画展「隕石にさわってみよう!」を2月26日から4月7日まで開催

<平成25年3月>

- “クラブ合同修了式”を開催
- “郡山市希望ヶ丘図書館との連携事業「放課後の科学教室『第15回風船ロケット』」”を幼児・小学生・保護者を対象に希望ヶ丘図書館児童室で開催
- “スペースパークボランティアの会(S.P.V)第10回総会”を開催
- “スプリングファミリーコンサート「ゆうおにいさんのほしぞらコンサート」”を開催
- “スペースパークボランティアの会(S.P.V)ボランティアまつり”を開催
- プラネタリウム一般番組特別版「南天星座めぐり～南米チリのALMA望遠鏡に出かけよう～」を国立天文台チリ観測所の宮川広さんを講師に迎え投映
- 8月に引き続き、国立天文台チリ観測所の宮川広さんを講師に迎え、“特別企画「南米チリで動き始めたALMA望遠鏡」”を開催
- 3月23日から4月7日までの期間、福島県立清陵情報高等学校及び福島県立郡山北工業高等学校の協力の下“ロボットで遊ボット!”を開催

Ⅱ 平成24年度事業活動実績

1 宇宙劇場リニューアルオープン記念事業

<宇宙劇場リニューアルオープン記念セレモニー>

宇宙劇場のリニューアルオープンを記念したセレモニーを開催した。

☆開催日時 平成24年4月28日(土)10時30分～12時

☆開催場所 宇宙劇場

☆出席者 市長、教育長、郡山市教育委員会委員長、郡山市議会議長、郡山市議会文教福祉委員会委員長ほか 計200人

☆内 容 主催者・来賓あいさつ、新映像システムの紹介、リニューアル記念プラネタリウム番組鑑賞



主催者あいさつの様子



くす玉割りの様子

<宇宙劇場リニューアルオープン メディア向け事前公開>

宇宙劇場のリニューアルオープんに先立ち、報道関係者向けの事前公開を開催した。

☆開催日時 平成24年4月13日(金) 14時～16時

☆開催場所 宇宙劇場

☆内 容 解説員による新システムの紹介、全天映像の試験的公開など

2 市民鑑賞型事業

(1) 宇宙劇場番組投映

様々な年代や利用目的に合ったプラネタリウム番組を制作するとともに各種映像等の収集を行い、宇宙劇場において、天文や宇宙などに関する番組の投映を実施した。

<宇宙劇場の番組投映開始時刻> ※投映時間は約45分間

曜日／回	第1回目	第2回目	第3回目	第4回目	第5回目	第6回目	第7回目
平 日	10時15分	11時30分	14時	15時30分	※1 17時	※2 19時	
土曜・日曜・祝日	11時	12時30分	14時	15時30分	17時		
4～5月中の 休日 夏休み期間	10時30分	11時40分	13時	14時20分	15時40分	17時	※2 19時

※1 5月のみ投映

※2 金曜日のみ投映

* 宇宙劇場映像システム改修及びプラネタリウムオーバーホールのため、平成24年4月27日(金)まで休館

リニューアル記念番組

宇宙劇場のリニューアルを記念し、新しくなった宇宙劇場の機能を駆使し、宇宙の姿を紹介するとともに、5月21日の日食を特集して紹介するプラネタリウム番組を制作し投映した。

放映時間:平日の第3・4・5回目及び土曜・日曜・祝日の第1～6回目、団体利用のない平日の第1・2回目、金曜の第6回目

番組タイトル	放映期間	放映回数	観覧者数
リニューアル記念プラネタリウム番組 ～リングの太陽～	平成24年 4月28日(土)～5月31日(木)	150回	9,341人



観覧者総数 9,341人

一般番組

子どもから大人までの幅広い年代層の方が、季節の星空を楽しみ、天文や宇宙開発、地球環境などの様々な事柄を知ることのできるプラネタリウム番組を制作し、基本的に2ヶ月ごとに更新して投映した。

放映時間:平日の第3回目及び土曜・日曜・祝日の第2・4回目、団体利用がない平日の第1・2回目、夏休み期間の第4・6回目

番組タイトル	放映期間	放映回数	観覧者数
郡山から宇宙の果てへ ～壮大なる宇宙の旅へ～	平成24年 6月1日(金)～8月31日(金)	148回	6,716人
宇宙誕生 ～ビッグバン～	平成24年 9月1日(金)～10月31日(水)	86回	3,581人
100万年後の星空 ～星座が変わる?～	平成24年11月1日(木)～12月30日(日)	102回	2,348人
オーロラの国へ	平成25年 1月2日(水)～2月28日(木)	94回	2,848人
南天星座めぐり	平成25年 3月1日(金)～3月31日(日)	63回	1,459人

観覧者総数 16,952人



郡山から宇宙の果てへ



宇宙誕生 ～ビッグバン～



100万年後の星空
～星座が変わる？～



オーロラの国へ



南天星座めぐり

<宇宙劇場冬休み特別企画『ふるさと「こおりやま」と「ふくしまの星空」』>

冬休み期間中のプラネタリウム一般番組において、科学館オリジナルの郡山市紹介映像と「ふくしま」で見られる星空の紹介を行う特別企画を行った。

☆上映期間 平成24年12月22日(土)～平成25年1月7日(月)

☆上映番組 第2回目「わたしたちのこおりやま～明日へつなぐフロンティアスピリット～」(2012年制作)
第4回目「こおりやま～夢をはぐくみ、未来を見つめるふるさと～」(2001年制作)

☆参加者数 1,023人

<プラネタリウム一般番組特別版「南天星座めぐり～南米チリのALMA望遠鏡に出かけよう～」>

宮川広さんを講師にお迎えしての特別企画<ALMA望遠鏡でわかる宇宙のなぞ>の一環として、一般番組の特別版を放映した。

☆講師 宮川 広氏(国立天文台 チリ観測所)

☆開催日時 平成25年3月17日(日)12時30分～13時30分

☆参加者数 78人

☆内容 通常の星空の紹介と講師によるALMA望遠鏡に関するゲストトークを合わせた、プラネタリウム一般番組「南天星座めぐり」を放映した。



プラネタリウム一般番組特別版の様子

キッズアワー

季節の星座紹介と星座神話・映像演出を組み合わせ、子どもと大人が一緒に楽しめるように、易しい解説を加えたプラネタリウム番組を放映した。

放映時間:土曜・日曜・祝日、春休み・ゴールデンウィーク期間の第1・3回目、
夏休み期間の第2回目、12月～2月の第1回目

番組タイトル	放映期間	放映回数	観覧者数
たなばたの星のおはなし	平成24年 6月 2日(土)～ 8月26日(日)	62回	2,765人
つきをみてみよう ～お月見のおはなし～	平成24年 9月 1日(土)～10月28日(日)	40回	1,804人
秋の星ものがたり	平成24年 11月 3日(土)～25日(日)	18回	930人
星空からのプレゼント	平成24年 12月 1日(土)～平成25年 1月27日(日)	27回	1,052人
楽しい冬の星めぐり	平成25年 2月 2日(土)～ 3月31日(日)	39回	1,338人

観覧者総数 7,889人



たなばたの星のおはなし



つきをみてみよう
～お月見のおはなし～



秋の星ものがたり



星空からのプレゼント



楽しい冬の星めぐり

ドーム映像番組

全天ビデオ映像に星空紹介を加えた娯楽性の高い番組を夏休み期間に1日3回上映した。夏休みドーム映像番組は先行試写会や観覧者5,000人達成記念の記念品授与など、広く市民県民に番組を周知していただけるよう、番組の話題作りを行ったほか、モルティ事業部と連携し商業施設でのミニアクアリウムの展示や飲食店での関連グッズのプレゼント、スタンプラリーなどの企画を行った。また、冬期間にも全天ビデオ映像に星空紹介を加えたドーム映像番組の上映及びモルティ事業部とのスタンプラリーなどの企画を実施した。

＜夏休みドーム映像番組「月の魔法とサンゴの海」＞

上映期間:夏休み期間(7/21～8/26)

及び先行上映(7/14～16)期間の第1・3・5回目

＜冬のドーム映像番組「いきものがたり」＞

上映期間:12月～2月の土曜・日曜・祝日

及び冬休み期間(12/22～1/7)の第3回目



月の魔法とサンゴの海



いきものがたり

番組タイトル	投映期間	投映回数	観覧者数
月の魔法とサンゴの海 ～カルオカヒナの大冒険～	平成24年 7月14日(土)～16日(月)、 7月21日(土)～8月26日(日)	119回	15,875人
いきものがたり	平成24年 12月 1日(土) ～平成25年 2月24日(日)	35回	3,014人

観覧者総数 18,889人

＜夏休みドーム映像番組先行試写会＞

夏休みドーム映像番組の先行試写会を行った。試写会終了後は、モルティ1階で「ミニアクアリウムオープンセレモニー」を行った。

「夏休みドーム映像番組 先行試写会」

☆開催日時 平成24年 7月 8日(日)11時30分～12時30分

☆開催場所 宇宙劇場

☆参加者数 一般参加者220人

☆内 容 主催者あいさつ、松本零士名誉館長あいさつ、番組鑑賞、ミニアクアリウムテープカットなど



松本零士名誉館長あいさつ



ミニアクアリウムテープカット

イブニングアワー

一般に天文に関する興味関心の高い時季に、その話題を大人向けに紹介するほか、夜間の利用が増加すると見込まれる夏休み期間に主に家族を対象に宇宙劇場を夜間開館し、通常の宇宙劇場番組投映の幅を広げたニーズに応えるプラネタリウム番組を投映した。

番組タイトル	投映期間	投映回数	観覧者数
リングの太陽 ～金環日食直前情報～	平成24年 5月12日(土)・19日(土) 18時30分～19時30分	2回	83人
星空ライブ60 ～夏の星空編～	平成24年 7月14日(土) 18時30分～19時30分	1回	7人
ゆかた de プラネタリウム!	平成24年 8月 4日(土) 18時30分～19時	1回	30人
星空ライブ60 ～お盆スペシャル～	平成24年 8月11日(土)～13日(月) 18時30分～19時30分	3回	77人
江戸の宇宙 ～暦と「天地明察」の世界～	平成24年 8月14日(火)・15日(水) 18時30分～19時30分	2回	68人
中秋の名月	平成24年 9月30日(日) 18時30分～19時30分	1回	25人
星空ライブ60 ～秋の星空編～	平成24年10月 6日(土) 18時30分～19時30分	1回	14人
クリスマスの星空	平成24年12月24日(月) 18時30分～19時30分	1回	123人
星空ライブ60 ～冬の星空編～	平成25年 1月12日(土) 18時30分～19時30分	1回	35人
アラスカから オーロラ生中継!	平成24年 2月～3月の毎週土曜 18時30分～19時30分 ※ 3月16日・23日・30日は19時45分～20時45分に追加投映	12回	1,671人

観覧者総数 2,133人

学習番組 ※番組の選択は先着順

小学校や中学校などの学校団体を対象に、理科や総合的な学習の時間など、学習の目的に合った番組を選択して観覧できるプラネタリウム番組を投映した。

投映期間:学校の長期休業期間及びゴールデンウィーク期間を除く平日の第1・2回目

番組タイトル(対象)	投映期間	投映回数	観覧者数
星座を見つけよう(小学校低学年以上)	通 年	25回	1,518人
日なたと日かげ(小学校中学年以上)		6回	520人
月と星の動き(小学校中学年以上)		53回	4,326人
月と太陽(小学校高学年以上)		1回	12人
地球と宇宙(中学生向け)		4回	648人
宇宙のお話(中学生以上)		6回	642人

観覧者総数 7,666人

幼児番組 ※幼児週間に集中して放映したほか幼児週間以外には学習番組枠で希望により放映した。

幼稚園や保育所などの団体を対象に、星座にまつわる神話などを交えて、小さな子どもが星空に対して興味をもてるプラネタリウム番組を放映した。

放映期間:学校の長期休業期間及びゴールデンウィーク期間を除く平日の第1・2回目

番組タイトル	放映期間	放映回数	観覧者数
たのしい星空ようこそ	平成24年 5 月	2回	96人
たなばたの星まつり	平成24年 6 月～7月中旬	19回	2,500人
おつきみと星めぐり	平成24年 8 月下旬～ 9 月	7回	699人
秋の星ものがたり	平成24年 10月～11月	17回	924人
楽しい冬の星めぐり	平成24年 12月～平成25年 3 月	16回	759人

観覧者総数 4,978人

字幕つきプラネタリウム

プラネタリウム番組の解説内容にあわせて、要約筆記された字幕を映し出し、聴覚障がい者と一般の方が共に観覧できる番組を放映した。(字幕作成協力:要約筆記「香久池サークル」)

☆開催日時 平成25年 2 月24日(日)12時30分～13時15分

☆内 容 一般番組「オーロラの国へ」

☆観覧者数 89人



字幕つきプラネタリウム様子

(2) 音楽コンサート

宇宙劇場における通常の番組以外に、多目的な利用も考慮したコンサートなどを開催し、市民の天文や宇宙への興味関心を高めながら、文化芸術に接する機会を提供した。

星と音楽のひととき

様々なジャンルの音楽(CD)を聴きながら、ゆったりと星空を楽しむリラクゼーション番組を放映した。今年度はリニューアル後の6月から放映を開始し、12月から従来どおり2か月ごとの番組更新を行った。

放映時間:平日(祝日・学校休業期間等を除く)の第4回目

土曜・日曜・祝日・学校休業期間(夏休みを除く)の第5回目

毎週金曜日の第6回目

月	音 楽 テ ー マ	投映回数	観覧者数
6月	スターライトクラシック vol.1 ～世界星空旅行～	57回	1,265人
7月			
8月			
9月	スペースシネマ ～宇宙から見た地球～	90回	1,520人
10月			
11月			
12月	ウインターソング ～星に願いを～	55回	1,578人
1月			
2月	星空の歌姫 ～惑星旅行～	60回	1,143人
3月			

観覧者総数 5,506人

宇宙劇場コンサート

宇宙劇場の機能を効果的に活用した生演奏の星空コンサートを開催した。また、年少者から宇宙に親しむきっかけとなるファミリー向けのコンサートを開催した。

<サマーコンサート 「ZABADAK LIVE in spacepark Ⅲ ～tanabata special～」>

- ☆開 催 日 平成24年7月7日(土)
- ☆開催時間 15時～16時、17時30分～18時30分
- ☆演 奏 ZABADAK(吉良 知彦さん、小峰 公子さん)、鬼怒 奈月さん
- ☆演奏回数 2回
- ☆観覧者数 397人(1回目214人、2回目183人)
- ※6月2日(土)から観覧券の前売販売を開始

<プラネタリウムウインターコンサート「ウインタージャズプラネ～ジャズと星空のハーモニー」>

- ☆開 催 日 平成24年12月9日(日)
- ☆開催時間 13時～14時、15時～16時
- ☆演 奏 ジャズボーカルグループ「BREEZE」
(小菅 けいこさん、松本 敦子さん、中村 マナブさん、磯貝 たかあきさん)
- ☆演奏回数 2回
- ☆観覧者数 333人(1回目156人、2回目177人)
- ※11月3日(土)から観覧券の前売販売を開始

<スプリングファミリーコンサート「ゆうおにさんのほしぞらコンサート」>

- ☆開 催 日 平成25年3月10日(日)
- ☆開催時間 11時30分～12時15分、14時～14時45分
- ☆出 演 者 恵畑 ゆうさん
- ☆出演回数 2回
- ☆観覧者数 441人(1回目221人、2回目220人)
- ※2月9日(土)から観覧券の前売販売を開始し完売

観覧者総数 1,171人



サマーコンサートの様子



ウインターコンサートの様子



スプリングファミリー
コンサートの様子

(3) 鑑賞型企画展

ホワイエ企画展

宇宙劇場ホワイエにおいて、投映する番組に合わせた写真やデータなどのパネル展示を開催した。

番組タイトル	投映期間
太陽・月・地球～3つの天体が織りなす世界～	平成24年 4月28日(土)～6月30日(土)
惑星めぐり	平成24年 7月 1日(日)～8月31日(金)
銀河の世界	平成24年 9月 1日(土)～10月31日(水)
ハッブル宇宙望遠鏡ギャラリー	平成24年11月 1日(木)～12月30日(日)
オーロラ写真展	平成25年 1月 2日(水)～3月31日(日)

学校向け巡回展

ホワイエ企画展で使用したパネルやコンピュータグラフィックス展の作品を、市内小中学校に貸出し、宇宙の不思議やコンピュータグラフィックスの楽しさに身近に触れることができる巡回展を行った。

☆開催期間 平成24年4月～平成25年2月(学校休業期間を除く。)

☆貸出回数 55回

3 市民参加型事業

(1) 科学普及

サイエンスショー

来館者の科学に関する興味を喚起するため、身近なものや大掛かりな装置などを使った科学実験を展示ゾーン内のびっくり実験ラボにおいて実施した。2ヶ月ごとにメニューを更新して実施した。(約20分間)

☆開催時間 平日 10時30分～、13時～
土曜・日曜・祝日 10時30分～、13時～、16時～
学校長期休業期間

☆開催場所 展示ゾーン びっくり実験ラボ

☆対 象 展示ゾーン入館者

☆定 員 30人程度

開催期間	メニュー	開催回数	参加者数	内 容
平成24年 4月	空気の力で 大実験	46回	621人	大気圧を利用して、アルミ缶をつぶす実験や、ボーリングの球を持ち上げる実験などを行った。
平成24年 5～6月	ぶくぶく大実験 ～泡の チカラ♪～	87回	1,538人	洗剤の入った水に水素を吹き込み、できた泡に火を近づけ燃やす燃焼実験や、洗剤を混ぜた過酸化水素水に触媒としてヨウ化カリウムを加えるとたくさんの泡が発生する実験などを行った。
平成24年 7～8月	虹色大実験 ～カラフル レインボー～	112回	1,401人	プリズムを使って光を分け虹色を観察したり、万能指示薬で酸性アルカリ性の性質を利用し色水で虹を作る実験、固形燃料に薬品を入れ、炎色反応で虹を作る実験などを行った。
平成24年 9～10月	風船で 大実験	106回	1,495人	柑橘系果物の皮に含まれるリモネンという成分がゴム風船を溶かす性質を利用し、時間差で割れる風船を飛ばしたり風船を伸ばすと温かくなり伸ばした後縮めると冷たくなる性質を実際に風船を使いお客さんに体験してもらう実験などを行った。
平成24年 11～12月	不思議な 素材で 大実験	91回	1,159人	βゲルマット、低融点合金、高吸水性ポリマー、超電導セラミックスなどの素材を使い、その素材の性質などを実験を通して紹介した。
平成25年 1～2月	びっくり! 静電気	79回	978人	静電気が起きる仕組みを身近なものを使って紹介した。また、ビニールひもを細かく裂いたものやシャボン玉を静電気ので浮かべたり、バンデグラフで静電気を体感する実験などを行った。
平成25年 3月	ピタッと 磁石で 大実験	56回	582人	さまざまな「磁石」を使った実験を行った。磁石にくっつくものとくっつかないものをクイズ形式で行った。また、磁界観察器を使って磁力線を見せる実験や、ガウス加速器を使って「鉄球」を飛ばす実験などを行った。
平成24年 4・5月 (ゴールデンウィーク)	酸アルカリ大実験 ～色水で遊ぼう!～	9回	202人	ムラサキイモの粉末を使用して、家庭にある身近なものが酸性なのかアルカリ性なのかを調べる実験を行った。また、塩酸にマグネシウムリボンを入れ水素を発生させる実験などを行った。
24年 (7・8月 夏休み)	びっくり 超低温の 世界	37回	835人	液体窒素の中に花やボールなどを入れて凍らせる実験や、液体窒素が気体になるとどのくらい体積が増えるか実験などを行った。

観覧者総数 4,261人



ぶくぶく大実験
～泡のチカラ♪～の様子



酸アルカリ大実験
～色水で遊ぼう!～の様子



不思議な素材で大実験の様子

サイエンススタジオ

科学の幅広い分野を楽しみながら体験できる実験工作のワークショップを、1ヶ月ごとにメニューを替えて開催した。(約20分間)

☆開催日時 開館日の11時30分～、14時30分～

☆開催場所 展示ゾーン びっくり実験ラボ

☆対 象 展示ゾーン入館者

☆定 員 30人程度

開催期間	メニュー	開催回数	参加者数	内 容
平成24年 4月	水ってふしぎ	36回	555人	水の状態変化や表面張力などについて実験し、油と水は混ざらない仕組みを利用したボトルの遊具を製作した。
平成24年 5月	まぎつの科学	24回	317人	摩擦とは何か?いろいろな装置で実験し、摩擦を使っ てのぼっていく紙の遊具を製作した。
平成24年 6月	空気の力に挑戦	44回	696人	普段意識しない私たちの周りにある空気について、実験 で空気の力をたしかめながらストローロケットを製作した。
平成24年 7・8月	小さな世界を のぞいてみよう!	98回	1992人	私たちの目だけでは見えない小さな世界を実体顕微 鏡で観察し、ビー玉を使った簡易顕微鏡を製作した。
平成24年 9月	音の秘密を さぐろう!	41回	586人	音の仕組みについて実験し、コップの上のにのったヘビ が振動で動く遊具を製作した。
平成24年 10月	晴れたり曇ったり、 天気のおもしろさ	31回	368人	天気が変わる仕組みを実験し、空気の流れである風 の向きがわかる風見鶏を製作した。
平成24年 11月	ほのかな灯り “ろうそくの科学”	33回	500人	ろうそくはなぜ燃えるのか、ろうそくの仕組みについて実 験し、星の形をしたろうそくを製作した。
平成24年 12月	カタチの科学	33回	469人	身の回りにある物の形について実験し、その形の性 質を学んだ。企画展のテーマと連動し丸と三角を組み 合わせた歯車を製作した。
平成25年 1月	お風呂で科学実験	27回	455人	お風呂にある吸盤や洗剤などを使って科学実験を行 い、身近なものに隠れている科学について学びなが ら発泡入浴剤を製作した。
平成25年 2月	けいたいカイロを つくろう♪ 発熱の秘密	29回	463人	カイロが発熱する仕組みについて実験しながら学び、 携帯カイロを製作した。
平成25年 3月	いろいろな紙	42回	594人	紙の性質について紹介しながら面白い特徴をもつ紙 について実験し、紙のホイッスルを製作した。



水ってふしぎの様子



音の秘密をさがろう!の様子



お風呂で科学実験の様子

ロボットショー

ロボット犬「アイボ」と二足歩行ロボット「ロボビー」によるダンスやジャンケンなどの様々なパフォーマンスショーを開催し、ロボット技術への興味関心を高めた。

- ☆開催日時 土曜・日曜・祝日・学校長期休業期間
12時30分～、15時30分～
- ☆開催場所 展示ゾーン びっくり実験ラボ
- ☆対 象 展示ゾーン入館者
- ☆開催回数 309回
- ☆参加者数 5,094人



ロボットショーの様子

スペースツアー

<スペースツアー>

各展示物の見どころを分かりやすく紹介するため、テーマに沿って展示ゾーン内を巡るガイドツアーを実施した。

- ☆開催日時 土曜・日曜・祝日(サイエンスフェスティバル・鉄道フェスティバル期間を除く。)
15時～
- ☆開催場所 展示ゾーン
- ☆対 象 展示ゾーン入館者
- ☆開催回数 90回
- ☆参加者数 706人



スペースツアーの様子

<たんけんシート>

質問の答えを探してシートに書き込みながら展示物を見学することにより、展示ゾーンの主なポイントを巡ることができるワークシートを設置した。

- ☆開催日時 随時
- ☆開催場所 展示ゾーン
- ☆対 象 展示ゾーン入館者

デジタルスタジオ

展示ゾーンの入館者を対象に、パソコンやデジタルカメラを使用して、イラスト制作等を行う教室を開催した。(約50分間)

☆開催日時 土曜日 13時30分～(イベント開催日は除く)

☆開催場所 パソコン工房

☆対 象 展示ゾーン入館者

☆定 員 16組

開催期間	メニュー	開催回数	参加者数	内 容
平成24年 4月	名前シール作り	3回	46人	自分の顔写真を使用して、名前のシールを製作した。
平成24年 5月	クリアファイル作り	3回	52人	顔写真とイラストを使用して、A4サイズのクリアファイルを製作した。
平成24年 6月	3Dカード作り	5回	81人	赤青メガネで見ると顔写真が立体的に見える、オリジナルのカードを製作した。
平成24年 7・8月	ストラップ作り	2回	37人	顔写真と背景やイラストを組み合わせた、ストラップを製作した。
平成24年 9月	ペン立て作り	4回	43人	宇宙服と顔写真を組み合わせた、ペン立てを製作した。
平成24年 10月	下じき作り	3回	53人	顔写真とイラストを使用して、オリジナルの下じきを製作した。
平成24年 11月	パズル作り	3回	53人	顔写真とイラストを組み合わせた、パズルを製作した。
平成24年 12月	カレンダー作り	3回	46人	立方体の形をした、置き型カレンダーを製作した。
平成25年 1月	フォトフレーム作り	3回	24人	写真とフレームが一つになった、フォトフレームを製作した。
平成25年 2月	シール作り	4回	66人	オリジナルのフレームに顔写真を入れて、シールを製作した。
平成25年 3月	名刺作り	5回	80人	顔写真やイラストが入った名刺を製作した。

サイエンス広場

展示ゾーンへの入館者を対象に、身近な材料を使用して科学工作教室を開催した。(約40分間)

☆開催日時 日曜・祝日 13時30分～(イベント開催日は除く)

☆開催場所 実験工房、多目的研修室

☆対 象 展示ゾーン入館者

☆定 員 30人

開催期間	メニュー	開催回数	参加者数	内 容
平成24年 4月	飛ばして遊ぼう	4回	101人	クリアカップと丸棒などを使い、円形グライダーとグライダーを飛ばす装置を製作した。

平成24年 5月	紫外線で遊ぼう	4回	78人	UVチェックビーズなどを使い、紫外線で色が変わるキーホルダーを製作した。
平成24年 6月	力で遊ぼう	3回	94人	ビー玉とパネルを使い、ビー玉衝突球を製作した。
平成24年 7・8月	音で遊ぼう	4回	119人	紙コップ、松やになどを使い、音の出るカエルを製作した。
平成24年 9月	鏡で遊ぼう	6回	75人	鏡、プラカップの蓋を使い、風で回る風車万華鏡を製作した。
平成24年 10月	はかって遊ぼう	3回	57人	色砂と小さなボトルを使い、砂時計を製作した。
平成24年 11月	空気で遊ぼう	6回	113人	タピオカストローとスチレンペーパーを使い、空気鉄砲を製作した。
平成24年 12月	光で遊ぼう	5回	142人	光ファイバーを使い、色が変わるプレゼントボックスを製作した。
平成25年 1月	バランスで遊ぼう	5回	77人	スチロール球と針金、ストローを使い、手足の動くやじろべえを製作した。
平成25年 2月	静電気で遊ぼう	5回	70人	アルミホイルとプラカップを使い、静電気で回るフランクリンモーターを製作した。
平成25年 3月	あたためて遊ぼう	5回	43人	保存瓶と画鋏を使い、あたためると動く風車を製作した。

わくわくカウンター

科学の幅広い分野を、楽しみながら体験できる実験工作のワークショップを開催した。

☆開催日時 不定期(土曜・日曜・祝日及び小中学校の長期休業期間等)に開催)

☆開催場所 ワークショップカウンター

☆対 象 展示ゾーン入館者

メニュー	内 容
ぶっとびロケット	スーパーボールの弾性を利用して、ストローでつくったロケットを飛ばす工作を製作した。
こいのぼり	ペーパークラフトで矢車付きのこいのぼりを製作した。
当てちあい矢	ストロー、割り箸、輪ゴムを用いて、ストローの矢を打ち出す工作を製作した。
ブラコプター	プラスチックコップと竹串を利用した、ヘリコプターの工作を製作した。
のぼるにゃん	摩擦の原理で、キャラクターが上っていく工作を画用紙で製作した。
種!タネ!たね!	より遠くまで飛ぶために様々な進化した種の形を紙で製作した。
キラキラ☆しゃぼん花	ホログラムシートとストローを利用して、回転させるとキラキラとシャボン玉のように見える工作を製作した。
ヘビダンス	この工作に向かって大きな声を出すと、その振動でヘビ型のモールが踊りだす工作を製作した。
タングラム	7つのピースの組み合わせで様々な形を作ることができるパズルを製作した。

サイエンス教室

学校や子ども会などの団体向けに、簡単な科学の実験や工作を体験する「ワークショップ」や楽しい科学実験を見ることができる「サイエンスショー」を開催した。

☆開催日時 平日の午前・午後に1回ずつ

☆開催場所 多目的研修室又は実験工房

☆対 象 幼稚園・小学校・中学校団体

☆参加者数 3,609人

☆内 容 ワークショップ(ぐにゅっとスライム、プラアクセサリー、くるくるリング、分光万華鏡等40種類)

サイエンスショー(パワフル空気の力、超低温の世界)

鉄道ジオラマ

線路の幅が9mmのNゲージ鉄道模型を使用し、明治の郡山、昭和初期の郡山、現代の郡山を再現し、郡山の発展の様子を紹介した。

<鉄道ジオラマショー>

☆開催時間 開館日の11時～、15時～、17時～(約20分間)

☆見学者数 9,912人

<簡易シミュレーター>

☆開催時間 開館日の10時～17時(ショー開催時間以外)

<運転シミュレーター>

☆開催時間 開館日の10時～17時

☆料 金 200円(約5分間)

☆運転者数 3,868人



鉄道ジオラマショーの様子

<ウォールミュージアム>

☆開催時間 開館日の10時～17時30分

<たんけん！鉄道ジオラマシート>

質問の答えを探して、シートに書き込みながら鉄道ジオラマを見学することにより、鉄道ジオラマの主なポイントを巡るワークシートを設置した。

☆開催時間 開館日の10時～17時

サイエンスフェスティバル

福島県立福島高等学校・郡山女子大学附属高等学校・日本大学東北高等学校の先生や生徒、科学館支援グループの先生、ふくしまサイエンスぷらっとフォーム、スペースパークボランティアの会の皆様に協力をいただき、展示ゾーンの入館者を対象に、科学の面白実験や工作を屋台形式で体験できる科学工作教室を開催した。

☆開催日時 ゴールデンウィーク:平成24年4月28日(土)～5月6日(日)10時～17時

夏休み期間パートⅠ:平成24年7月21日(土)・22日(日)10時～17時

夏休み期間パートⅡ:平成24年8月11日(土)～16日(木)10時～17時

☆開催場所 展示ゾーン

☆対 象 展示ゾーン入館者

☆参加者数 ゴールデンウイーク：5,248人

夏休み：4,571人

☆参加団体 福島県立福島高等学校、郡山女子大学附属高等学校、日本大学東北高等学校、科学館支援グループ(福島大学 岡田先生、郡山第三中学校 佐野先生と生徒、福島大学付属中学校 園部先生、宮城小学校 赤間先生)、ふくしまサイエンスぷらっとフォーム(大越先生、渡辺先生)、折紙造形・四季折々、なかやま理化学製作所、スペースパークボランティアの会

☆内 容 <ゴールデンウイーク>

サイエンスフラワー、ミラクルフルーツ実験！、サミイ世界(液体窒素の実験)、にせものスイーツをつくろう！、電気をつくろうホットケーキ、こいのぼり、スライム、ウキウキ方位じしゃくなど

<夏休み>

日焼け止めクリームで布に印刷、電気をつくろうホットケーキ、スーパーボールを作ろう、お魚を折ろう！、スライム作りをしてみよう、液体窒素の実験、化石採取・養蜂 研究発表、ドライアイスで実験！、紙ぜんまいペンギン、お天気紹介コーナー、自由研究紹介コーナー、科学グッズ販売など



福島県立福島高等学校の様子



郡山女子大学附属高等学校の様子



日本大学東北高等学校の様子

きみたちの魔法－化学『新』発見

被災地支援の一環で、科学技術広報財団・日本化学会・日本化学工業協会・日本科学未来館の協力のもと「化学」の不思議さ、美しさ、おもしろさを、遊びながら五感で体験できる展示装置を展示し化学を身近に感じていただいた。

☆開催日時 平成24年4月28日(土)～

5月6日(日)10時～17時

☆開催場所 展示ゾーン 研修室

☆対象 展示ゾーン入館者

☆参加者数 5,248人



開催の様子

ふくしま科学応援隊2012 マッキーのおもしろ科学教室「無重力を体感する」

独立行政法人産業技術研究所の牧原正記さんに協力いただき無重力(無重量)はどうしておこるのか？無重力になったらどんなことがおきるのか？地上で再現したらどうなるのか？など、クイズや実験を交えて実施した。

☆開催日時 平成24年5月3日(木・祝) ①11時～12時 ②14時～15時

☆開催場所 展示ゾーン 実験工房

☆対象 展示ゾーン入館者

☆参加者数 84人

☆協力 spff(ふくしまサイエンスぷらっとフォーム)



開催の様子



開催の様子

わくわくスペースパークの夏

夏休み期間は、「わくわくスペースパークの夏」と題し、科学を楽しむことができる工作コーナーやサイエンスフェスティバルを実施した。

☆開催日時 平成24年7月23日(月)～8月26日(日) 10時～17時

☆開催場所 展示ゾーン

☆対 象 展示ゾーン入館者

☆内 容 プラコップアクセサリ、UV蝶調(ゆうふいちょうちょう)など12種類の工作メニューを、数日ごとに替えて行った。

理科大好き！自由研究講座

理科作品展などの自由研究の審査に長年取り組んでいる小学校の先生が、自由研究の進め方やまとめ方などのポイントを実演や実験をしながら実施した。

☆開催日時 平成24年7月28日(土)

①10時30分～12時 小学校低学年向け

②14時～15時30分 小学校中・高学年向け

☆開催場所 多目的研修室

☆講 師 低学年：本郷 繁子先生(開成小学校)、菅家 倫子先生(富田東小学校)
中・高学年：橋本 制一先生(芳賀小学校)、木村 勝彦先生(橘小学校)

☆参加者数 96人



低学年向けの様子



中・高学年向けの様子

親子で体験！よくわかる放射線教室

大阪科学技術センター(大阪科学技術館)の舟生 武司先生を講師に、放射線に関する基礎知識について、自然放射線の測定などの実験を行いながら実施した。また、小学生とその保護者を対象とした教室では霧箱作りも行った。

☆開催日時 平成24年 8月18日(土)・19日(日)

① 10時30分～12時(中学生～一般)

② 14時～15時30分(小学生とその保護者)

☆開催場所 多目的研修室

☆講 師 舟生 武司先生、中村 雅憲先生、池原 央殖先生

☆参加者数 84人

☆主 催 経済産業省資源エネルギー庁・郡山市ふれあい科学館



霧箱で放射線の軌跡をみている様子



簡易霧箱を工作している様子

ミニ企画展「隕石にさわってみよう！」

ロシアの天体落下のニュースにより、市民のニーズが高まっていることにあわせ隕石について紹介するミニ企画展を開催した。

☆開催日時 平成25年 2月26日(火)～4月7日(日)
10時～17時

☆開催場所 展示ゾーン

☆対 象 展示ゾーン入館者

☆内 容 様々な隕石や地球の岩石の展示のほか、ロシアの天体落下に関する最新情報や隕石の特徴や種類を紹介するパネルの展示、隕石クイズラリーなどを行った。



開催の様子

(2) 講演会等

星の講演会

天文現象や宇宙開発など様々なテーマについて、宇宙や科学に関する興味関心を高めることのできる講演会を、専門講師を招いて開催した。

第21回星の講演会

<日食を楽しもう！>

☆講師 尾久土 正己氏(和歌山大学)

☆開催日時 平成24年5月12日(土)16時～17時15分

☆場所 宇宙劇場

☆参加者数 220人

☆内容 宇宙劇場で全天映像を交えて、日食の楽しみ方や注意点、日食の魅力などについて紹介していただいた。



開催の様子



講師の尾久土氏への質問の様子

第22回星の講演会

<宇宙旅行時代がやって来る！？>

☆講師 大貫 美鈴氏(宇宙ビジネスコンサルタント)

☆開催日時 平成24年10月27日(土)16時～17時15分

☆場所 宇宙劇場

☆参加者数 109人

☆内容 宇宙劇場において、映像を交えながらまもなく始まる宇宙旅行のサービスの内容や宇宙旅行時代について紹介していただいた。



講師の大貫美鈴氏



開催の様子

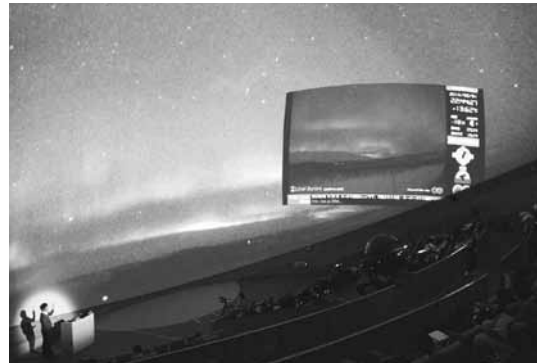
第23回星の講演会

<アラスカからオーロラ生中継 そして、7年間の記録>

- ☆講師 古賀 祐三氏(「Live!オーロラ」主宰)
- ☆開催日時 平成25年2月2日(土)16時～17時15分
- ☆場所 宇宙劇場
- ☆参加者数 220人
- ☆内容 アラスカからオーロラの生中継を行い、これまでに撮影した映像のダイジェストなどを交えながら、オーロラの魅力について紹介していただいた。



講師の古賀祐三氏



開催の様子

特別講演会

南米・チリに日本などが建設している「ALMA望遠鏡」について紹介する講演会を、元郡山市民で、ALMA望遠鏡の建設に携わっている宮川広さんを講師に迎え開催した。

<南米チリにつくっているアルマ宇宙望遠鏡>

- ☆講師 宮川 広氏(国立天文台 チリ観測所)
- ☆開催日時 平成24年8月25日(土)13時30分～14時15分
- ☆場所 多目的研修室
- ☆参加者数 32人
- ☆内容 チリに作られている「アルマ望遠鏡」ができるまでのことや、これから宇宙のどのような謎が分かるのかを紹介いただいた。

<特別企画 ALMA望遠鏡でわかる宇宙のなぞ>

宮川広さんを講師にお迎えし、プラネタリウム一般番組特別版「南天星座めぐり～南米チリのALMA望遠鏡に出かけよう～」および特別講演会「南米チリで動き始めたALMA望遠鏡」を開催した。プラネタリウム一般番組の特別版については、一般番組を参照。

<南米チリで動き始めたALMA望遠鏡>

- ☆講師 宮川 広氏(国立天文台 チリ観測所)
- ☆開催日時 平成25年3月17日(日)15時～16時15分
- ☆場所 多目的研修室
- ☆参加者数 58人
- ☆内容 国際共同プロジェクトとしてチリに建設されている「ALMA(アルマ)望遠鏡」について、最新の観測成果を交えながら紹介いただいた。



8月の講演会の様子



3月の講演会の様子

金環日食観望会

太陽投影板や日食グラスなどを使用して安全に金環日食を観望する観望会を開催した。

☆開催日時 平成24年5月21日(月)6時30分～9時

☆開催場所 郡山駅西口駅前広場(中央広場)および2階ペデストリアンデッキ

☆参加者数 約1,000人

☆内 容 太陽投影板、日食グラスなどによる観察コーナー、ピンホール工作コーナーのほか映画「天地明察」キャンペーンと連動して、全国5か所の会場によるネット中継、日食の解説など



金環日食観望会の様子

金星太陽面通過観望会

太陽投影板や日食グラスなどを使用して安全に金星太陽面通過を観望する観望会を開催した。

☆開催日時 平成24年6月6日(水)10時～12時

☆開催場所 郡山駅西口駅前広場(中央広場)

☆参加者数 約100人

☆内 容 太陽投影板、日食グラスなどによる観察コーナー



金星太陽面通過観望会の様子

駅前観望会

駅前において、天体望遠鏡などを使用し、少しの時間で気軽に参加でき、宇宙への興味関心を高める自由参加形式の天体観望会を開催した。

☆開催場所 郡山駅西口駅前中央広場

☆対 象 一般(当日自由参加)

開催日時	観望内容	参加者数
平成24年 4 月28日(土) 19時～20時	月・火星など	約150人
平成24年 5 月26日(土) 19時～20時	月・土星など	約200人
平成24年 6 月30日(土) 19時30分～20時30分	月・土星など	約200人
平成24年 7 月28日(土) 19時～20時	月など	約120人
平成24年 8 月25日(土) 19時～20時	月など	約70人
平成24年 9 月22日(土) 18時～19時	月など	約100人
平成24年10月20日(土) 17時30分～18時30分	月など	約100人
平成24年11月24日(土) 17時30分～18時30分	月など	約50人
平成25年 3 月23日(土) 19時～20時	月・木星など	約100人



駅前観望会の様子



駅前観望会の様子

高校天文部支援事業

市内各高校の天文クラブ等との交流を深め、天文に関する知識や技術面の向上を目指し、クラブ活動を支援した。

☆参加校 福島県立安積高等学校、福島県立安積黎明高等学校、日本大学東北高等学校、帝京安積高等学校、福島県立郡山萌世高等学校

開催日	開催場所	内 容	参加者数
平成24年 6 月19日(火)	宇宙劇場	夏の星空、金星食、ペルセウス座流星群の話	23人
平成24年 7 月10日(火)	多目的研修室・宇宙劇場	星景写真撮影実習	14人
平成24年 8 月28日(火)	郡山駅西口駅前広場中央広場	天体観測実習	15人
平成24年 9 月25日(火)	郡山駅西口駅前広場中央広場	天体観測実習	5人
平成24年10月23日(火)	郡山駅西口駅前広場2階デッキ	天体観測実習	4人
平成24年11月13日(火)	宇宙劇場	秋の星空と流星群	2人
平成24年12月11日(火)	郡山駅西口駅前広場中央広場	天体観測実習	4人

科学ゼミナール

県内の文化施設、県内外の大学等と連携し共同で講演やワークショップを開催した。

<福島大学との連携事業 おもしろ科学びっくり箱>

第1回「新幹線のひみつ」

☆講師 小沢 喜仁氏(福島大学教授)

☆開催日時 平成24年10月20日(土)10時～12時

☆開催場所 多目的研修室

☆対象 小学校3年生～一般

☆参加者数 19人

☆内容 高速で走る新幹線が安定して安全に走るための技術について、車輪やレールの形を模型で再現した実験や、車輪の蛇行をおさえて揺れを減らす役割をするダンパーと呼ばれる機構の実験を行った。



「新幹線のひみつ」の様子

第2回「水のルーツをさぐろう！」

☆講師 川越 清樹氏(福島大学准教授)

☆開催日時 平成24年10月28日(日)14時～16時

☆開催場所 多目的研修室

☆対象 小学校4年生～6年生

☆参加者数 12人

☆内容 安積疏水の完成130周年を記念し、生活に欠かせない水について、雲をつくる実験や雨を降らす実験、降った雨のしみ込み方を観察する実験などを通して、水循環についての実験教室を行った。



「水のルーツをさぐろう！」の様子

第3回「フライングディスク(フリスビー)の科学」

☆講師 杉浦 弘一氏(福島大学准教授)

☆開催日時 平成24年11月17日(土)14時～16時

☆開催場所 郡山市ふれあい科学館及び福島県立郡山萌世高等学校体育館

☆対象 小学校4年生～一般

☆参加者数 9人

☆内容 フライングディスクが飛ぶ仕組みについて、揚力とジャイロ効果をキーワードに解説を行った。また、フライングディスクを紙等で製作し、さまざまな投げ方を体験した。



「フライングディスク(フリスビー)の科学」の様子

第4回「食べ物の放射線はどうやってはかるの？」

☆講師 山口 克彦氏(福島大学教授)

☆開催日時 平成24年11月25日(日)14時～16時

☆開催場所 多目的研修室

☆対象 小学4年生～中学生とその保護者

☆参加者数 13人

☆内容 身近な食べ物などの放射線をはかる方法について、実験を交えて検出器の仕組みを学んだ。また、実際に街で売られている野菜を用いて、放射線測定の方法を体験しながら学んだ。



「食べ物の放射線はどうやってはかるの？」の様子

＜郡山市希望ヶ丘図書館との連携事業 放課後の科学教室＞

平日の放課後に図書館を利用する児童を対象に科学の実験や工作の体験と科学に関する本を紹介する教室を開催した。

☆開催場所 郡山市希望ヶ丘図書館児童室

☆対 象 小学生、幼児とその保護者

第15回「風船ロケット」

☆開催日時 平成25年3月6日(水)14時～17時

☆参加者数 14人

☆内 容 さまざまな実験や工作したものを使用して、ロケットの飛ぶ仕組みを学習した。

金環・部分日食inふくしま 日食観察キット「ソーラースコープ」の製作

日食を安全に観察するため、様々な活動を行った。その一環として、科学館オリジナルの日食観察キット「ソーラースコープ」を製作した。5,000部製作し、市内の小中学校や館内で配布を行ったほか、ホームページで型紙や作り方、観察方法を公開し、自由にダウンロードして使用できるようにした。また、これを活用した講習会やワークショップを開催した。



オリジナル日食観察キット
「ソーラースコープ」

金環・部分日食inふくしま「指導者向け講習会」

☆講 師 科学館職員

☆開催日時 平成24年4月14日(土)・15日(日)14時～16時

5月9日(水)・10日(木)14時30分～16時30分

☆開催場所 多目的研修室

☆対 象 教員または日食観望会・学習会に興味がある方

☆参加者数 89人

☆内 容 5月21日の日食の概要や日食観察の危険性、安全な観察方法の紹介、オリジナル日食観察キット「ソーラースコープ」の工作など。



開催の様子①



開催の様子②

金環・部分日食inふくしま「日食観察キット工作ワークショップ」

☆講 師 科学館職員

☆開催日時 平成24年4月22日(日)10時30分～12時

☆開催場所 多目的研修室

☆対 象 小学生と保護者

☆参加者数 10人(6組)

☆内 容 金環日食の概要や安全な観察方法の紹介、オリジナル日食観察キット「ソーラースコープ」及び日食グラスの工作。



大西浩次氏(2012年金環日食日本委員会)



ソーラースコープの実習の様子

金環・部分日食inふくしま「ふくしま日食観測隊」

福島県内でどこまで金環日食が見えたのかを調べるため、日食当日の観察結果を報告して、みんなで金環日食の限界線(金環日食と部分日食の境界線)を調べることを目的として「ふくしま日食観測隊」を募集した。隊員には、隊員証と報告用紙、「ソーラースコープ」をプレゼントした。後日、報告結果をまとめたものを紹介する企画展示を開催した。

☆募集期間 平成24年4月28日(土)～5月21日(月)

☆隊員数 1,456人

☆報告件数 179件

☆展示期間 平成25年1月2日(水)～2月24日(日)

☆展示場所 22階展望ロビー

☆展示内容 観察結果などを掲示した「観測マップ」、結果報告からまとめた限界線・考察などの紹介、日食による郡山駅間の明るさの変化の紹介など。



隊員申込の様子



観測結果マップ

科学の宅配便

市内各地に出向き、科学館で行っている実験工作を実施し出前講座を開催した。出前講座を通して科学の普及と広報を行った。

	開催日時	開催場所	参加者数	内 容
第1回	平成24年 6 月14日(木) 15時～15時30分	行健第二小学校	10人	ぐにゅっとスライムを製作し、解説を行った。
第2回	平成24年 7 月18日(水) 14時～14時45分	桃見台小学校	114人	ぶんぶんゴマ・ぶつとびロケットを親子で製作し、実験を行った。
第3回	平成24年 9 月19日(水) 13時30分～14時20分	薫小学校	150人	くるくるアニマルを親子で製作し、実験を行った。
第4回	平成24年 10月 2 日(火) 13時～14時	富田東小学校	230人	風船ロケットを親子で製作し、実験を行った。

(3) 作品募集

第12回コンピュータグラフィックス展

コンピュータグラフィックス作品を子どもから大人まで広く募集し、審査を経て展示を行うことにより、発表の機会を提供するとともに、コンピュータグラフィックスの知識や技術の向上を図った。

☆テーマ 宇宙人にあえたら？

☆募集締切 平成24年9月30日(日)

☆応募作品 静止画部門 小学生以下の部76点 中学生の部105点 一般(高校生以上)の部62点
動画部門 8点

☆審査委員 石井 倫明氏(郡山市立郡山第六中学校 教諭)

伊藤 峰洋氏(有限会社峰洋デザイン 代表、デザイナー)

内田 章氏(学校法人新潟総合学院 FSGカレッジリーグ 事業企画部室長)

荻野 由則氏(郡山市教育委員会 教育研修センター 所長)

菅野 洋人氏(郡山市立美術館 主任学芸員)

西村 憲氏(会津大学 上級准教授)

三浦 浩喜氏(福島大学 教授)

渡邊 誠一氏(福島県立清陵情報高等学校 教諭)

☆展示期間 平成24年11月10日(土)～平成25年1月14日(月)

※表彰式：平成24年11月18日(日)10時30分～11時

☆展示場所 展望ロビー

☆受賞作品

＜静止画部門 【大賞】 名誉館長賞＞

「のろけ話」井上 真緒さん(郡山市立郡山第三中学校2年生)

＜静止画部門 【準賞】 スペースパーク賞＞

「宇宙人とジャンケン」渡部 尚也さん(郡山市立薫小学校4年生)

「少年の机上宇宙旅行」本多 奈留美さん(福島県立郡山北工業高等学校3年生)

＜静止画部門 小学生以下の部 優秀賞＞

「宇宙人 vs 人間 DE 鬼ごっこ」笹川 桃子さん(郡山市立薫小学校4年生)

「宇宙語をテレパシーで習う」杉本 春都さん(猪苗代町立吾妻小学校6年生)

「宇宙人のお友達」橋本 羽聖さん(郡山市立薫小学校6年生)

＜静止画部門 中学生の部 優秀賞＞

「森の中で」佐川 里子さん(郡山市立郡山第三中学校2年生)

「近未来の多元宇宙」高阪 大地さん(郡山市立郡山第三中学校2年生)

「異文化交流」星 小夏さん(郡山市立郡山第五中学校3年生)

＜静止画部門 一般(高校生以上)の部 優秀賞＞

「feel」大塚 涼子さん(いわき市・一般)

「星間散歩」川崎 綾香さん(福島県立喜多方桐桜高等学校3年生)

「宇宙人と暮らす」佐藤 千尋さん(国際アート&デザイン専門学校2年生)

＜動画部門 【大賞】 名誉館長賞＞

「宇宙人との遭遇」長谷川 翼さん・小川 仁美さん・田中 宏長さん・生田目 貴裕さん・
溝井 光司さん(国際アート&デザイン専門学校1・2年生)

＜動画部門 【準賞】 スペースパーク賞＞

「追われる身」力丸 澄玲さん(郡山市立郡山第三中学校3年生)

「プリンセスかぐや」鈴木 紗綾香さん・大越 愛香さん・遠藤 大樹さん・小林 大貴さん・
坂井 懸太さん(国際アート&デザイン専門学校1・2年生)

<学校賞>

郡山市立富田東小学校(応募数24点)

柳津町立柳津中学校(応募数35点)

福島県立郡山北工業高等学校(応募数16点)



静止画部門【大賞】名誉館長賞
「のろけ話」



静止画部門【準賞】スペースパーク賞
「宇宙人とジャンケン」



静止画部門【準賞】スペースパーク賞
「少年の机上宇宙旅行」

ふくしま星・月の風景フォトコンテスト事業

福島県内の風景と星・月が撮影された写真を募集し、選出された作品展を開催することで、福島県の星・月の風景を通して天文普及を図った。また、これまでのコンテスト作品の巡回展示及び会場でのギャラリートークを県内外で行い、広く普及活動を実施した。

<第2回 ふくしま 星・月の風景 フォトコンテスト作品展 巡回展示>

日立展

☆展示期間 平成24年3月3日(土)～4月22日(日)

☆展示場所 日立シビックセンター科学館(茨城県日立市)

☆主催共催 日立シビックセンター科学館

東京展

☆展示期間 平成24年5月11日(金)～26日(土)

☆展示場所 東京理科大学 近代科学資料館(東京都新宿区)

☆主催共催 東京理科大学 近代科学資料館

兵庫・明石展

☆展示期間 平成25年2月2日(土)～4月7日(日)

☆展示場所 明石市立天文科学館(兵庫県明石市)

☆主催共催 明石市立天文科学館

<第1回 ふくしま 星・月の風景 フォトコンテスト作品展 巡回展示>

兵庫・伊丹展

☆展示期間 平成24年5月24日(木)～7月8日(日)

☆展示場所 伊丹市立こども文化科学館(兵庫県伊丹市)

☆主催共催 伊丹市立こども文化科学館

<ふくしま 星・月の風景 フォトコンテスト作品展 巡回展示(特別展示)>

秋田展 (月にちなんだ作品を特集した特別展)

- ☆展示期間 平成24年8月4日(土)～26日(日)
- ☆展示場所 秋田ふるさと村(秋田県横手市)
- ☆主催共催 秋田ふるさと村
- ☆内 容 第1・2回コンテスト選出作品から月をメインとした作品18点

いわき展 (浜通りの作品を特集した特別展)

- ☆展示期間 平成25年3月2日(土)～31日(日)
- ☆展示場所 いわき市民ギャラリー(いわき市)
- ☆主催共催 いわき・ら・ら・ミュウ
- ☆内 容 第1回・第2回コンテスト選出作品から浜通りで撮影された写真、および第2回コンテストの入賞・特別賞選出作品34点



巡回展示(いわき)の様子



ギャラリートーク(明石)の様子

<ふくしま 星・月の風景 ギャラリートーク>

- ☆開催日時 平成24年6月24日(日)14時30分～、16時～
- ☆会 場 伊丹市立こども文化科学館
- ☆内 容 「星・月の風景」撮影法の紹介及び作品を前にしての撮影のポイントなどの紹介を行った。
- ☆開催日時 平成25年3月9日(土)19時30分～20時・10日(日)12時10分～12時50分
- ☆会 場 明石市立天文科学館
- ☆内 容 福島現状と撮影地の様子の紹介及び作品の紹介を行った。

(4) 参加型企画展

鉄道の日 鉄道フェスティバル

10月14日の「鉄道の日」にちなみ、スペースパークボランティアの会やJR郡山駅、JR貨物東北支社、鉄道貨物協会東北支部などの協力のもと、鉄道ジオラマや鉄道関連資料を展示したフェスティバルを開催した。

☆開催日時 平成24年10月6日(土)・7日(日)・8日(月・祝)10時～17時

☆対象 展示ゾーン入館者

☆参加者数 1,755人

☆内容 ①鉄道ジオラマショー

1日3回行っているジオラマショーを、期間中は毎日1時間ごと、計7回行った。また、11時、13時、15時、17時からの4回は、鉄道の童謡に合わせてジオラマ内の列車を走らせる「鉄道ジオラマショースペシャル」を行った。

②鉄道模型の操作体験

人気のNゲージ鉄道模型の操作体験を行った。持ち込み車両の操作も行った。

③鉄道資料展示

ボランティアや福島市の方などの協力により、記念切符や鉄道に関する貴重な資料を展示した。

④工作広場

ボランティアの方などの協力により、3種類の電車や機関車の絵が出るスリットアニメの工作を行った。

⑤手回しトロッコ「てトロ」体験コーナー

手回しの動力で動くトロッコの試乗体験を行った。

⑥プラレールで遊ぼう

プラレールで自由に遊べるコーナーを設置し、子どもたちに自由に遊んでいただいた。



鉄道模型操作体験の様子



手回しトロッコ「てトロ」の様子

スペースパーク企画展「からくり人形の世界展」

「オートマタ」と呼ばれる西洋のからくり人形の精巧な技術とユニークな動きを、実際にからくり人形を動かし体験いただいた。その動きの基本となる機構模型でその仕組みを知っていただいた。また、ワークシートを活用し展示品をじっくり観察いただき、景品にペーパークラフトをプレゼントした。

☆開催日時 平成24年12月1日(土)～平成25年1月14日(月・祝)10時～17時

☆開催場所 展示ゾーン 研修室

☆対象 展示ゾーン入館者

☆参加者数 9,459人



からくり体験の様子



機構模型展示の様子

＜スペースパーク企画展特別イベント からくりワークショップ～歯車で動かそう!～＞

企画展に連動し、からくり人形などで使われている歯車の仕組みについてお話いただいた。傘の形をした歯車「傘歯車」を使って地球が回るペーパークラフト作りを行った。

- ☆開催日時 平成24年12月15日(土)13時～14時
- ☆講師 平野 茂実氏(首都大学東京)
古田 光春氏・清野 美香氏(株式会社モーレン)
- ☆開催場所 展示ゾーン 実験工房
- ☆対象 小学生とその保護者
- ☆参加者数 14組22名



ワークショップの様子

ロボットで遊ボット！

ロボット大会等で活躍している福島県立清陵情報高等学校・福島県立郡山北工業高等学校との連携事業を開催した。

＜ロボット展示・操作体験＞

ロボット大会等で活躍している福島県立清陵情報高等学校・福島県立郡山北工業高等学校との連携事業を開催した。

- ☆開催日時 平成25年3月23日(土)～4月7日(日)10時～17時
- ☆開催場所 展示ゾーン 研修室
- ☆対象 展示ゾーン入館者
- ☆参加者数 4,334人

＜ロボット工作ワークショップ＞

ロボット大会等で活躍している福島県立清陵情報高等学校・福島県立郡山北工業高等学校との連携事業を開催した。

- ☆開催日時 平成25年3月23日(土)・24日(日)14時～16時
- ☆開催場所 展示ゾーン 実験工房
- ☆対象 小学3年生～中学生の展示ゾーン入館者
- ☆参加者数 40人(23日:20人、24日:20人)

＜スペースパーク春場所 ロボット相撲大会＞

相撲ロボットを使って、ロボット競技大会を開催した。

☆開催日時 平成25年 3月30日(土)・31日(日)14時～15時

☆開催場所 展示ゾーン 研修室

☆対 象 小中学生の展示ゾーン入館者

☆参加者数 32人(各日16人)

＜発電の絆 ロボット競技大会＞

発電ロボットを使って、ロボット競技大会を開催した。

☆開催日時 平成25年 4月 6日(土)・ 7日(日)14時～15時

☆開催場所 展示ゾーン 研修室

☆対 象 6日:小学生の展示ゾーン入館者

7日:小学生以上親子の展示ゾーン入館者

☆参加人数 56人(6日:24人、7日:32人)



ロボット展示・操作体験の様子



ロボット工作ワークショップの様子



スペースパーク春場所
ロボット相撲大会の様子



発電の絆 ロボット競技大会の様子

(5) クラブ活動

天文クラブ

プラネタリウムの特性や天体望遠鏡を活用し、四季を通じて天文学の基礎や天文現象などを総合的かつ体験的に学習するクラブを開催した。

☆開催回数 7回(平成24年6月～平成25年2月)

☆対 象 小学3年生～中学3年生

☆クラブ員 30人

メニュー	開催日時	開催場所	参加者数
星座を見つけよう!	平成24年6月2日(土) 19時～20時30分	郡山市ふれあい科学館	25人
七夕のお話	平成24年7月1日(日) 9時45分～11時45分	郡山市ふれあい科学館	24人
ロケットのしくみ	平成24年9月1日(土) 9時45分～11時45分	郡山市ふれあい科学館	24人
展望ロビー観望会	平成24年10月20日(土) 18時30分～20時	郡山市ふれあい科学館	26人
昼間の星を見よう!	平成24年11月3日(土) 9時45分～11時45分	郡山市ふれあい科学館	21人
双眼鏡を使おう	平成25年1月12日(土) 9時45分～11時45分	郡山市ふれあい科学館	18人
ミニプラネタリウムを作ろう!	平成25年2月2日(土) 9時45分～11時45分	郡山市ふれあい科学館	18人



星座早見盤作りの様子



ミニロケット打ち上げの様子

科学クラブ

実験・観察・工作を一人一人が体験することで、自然に対するものの見方や考え方を養い、自然の様々な現象に対する興味を喚起するクラブを開催した。

☆開催日時 毎月第2・第4土曜日 10時～12時

☆開催場所 実験工房

☆開催回数 7回(平成24年6月～平成25年2月)

☆対 象 小学3年生～中学3年生

☆クラブ員 50人(Aクラス：25人、Bクラス：25人)

メニュー	クラス	開催日時	参加者数
不思議な素材で大実験	A	平成24年 6 月 9 日(土)	22人
	B	平成24年 6 月23日(土)	22人
紫外線のひみつ	A	平成24年 7 月14日(土)	20人
	B	平成24年 8 月25日(日)	16人
シャボン玉の科学	A	平成24年 9 月 8 日(土)	25人
	B	平成24年 9 月22日(土)	17人
万華鏡をつくろう	A	平成24年10月13日(土)	21人
	B	平成24年10月27日(土)	9人
音のひみつ	A	平成24年11月10日(土)	17人
	B	平成24年11月24日(土)	15人
けいたいカイロをつくろう	A	平成24年12月 8 日(土)	24人
	B	平成25年 1 月26日(土)	15人
浮き沈みのひみつ	A	平成25年 2 月 9 日(土)	21人
	B	平成25年 2 月23日(土)	21人



「シャボン玉の科学」の様子



「けいたいカイロをつくろう」の様子

科学情報クラブ

コンピュータを使い、写真加工、動画編集、ロボット製作などを、楽しみながら体系的に学ぶことのできるクラブを開催した。

☆開催日時 毎月第1・第3土曜日 10時～12時

☆開催場所 パソコン工房

☆開催回数 7回(平成24年6月～平成25年2月)

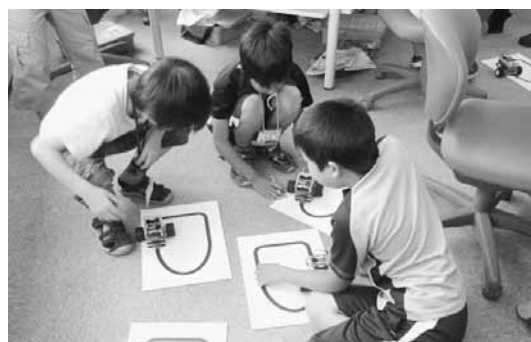
☆対 象 小学3年生～中学3年生

☆クラブ員 31人(Aクラス：15人、Bクラス：16人)

メニュー	クラス	開催日	参加者数
名刺を作ろう	A	平成24年 6 月 2 日(土)	10人
	B	平成24年 6 月 16日(土)	14人
うちわを作ろう	A	平成24年 7 月 7 日(土)	11人
	B	平成24年 7 月 8 日(日)	15人
ロボットを作ろう	A	平成24年 9 月 1 日(土)	10人
	B	平成24年 9 月 15日(土)	14人
早変わりカードを作ろう	A	平成24年10月13日(土)	9人
	B	平成24年10月20日(土)	15人
DVDを作ろう	A	平成24年11月 3 日(土)	10人
	B	平成24年11月17日(土)	14人
カレンダーを作ろう	A	平成24年12月 1 日(土)	11人
	B	平成24年12月15日(土)	11人
アルバムを作ろう	A	平成25年 2 月 2 日(土)	10人
	B	平成25年 2 月16日(土)	13人



「うちわを作ろう」の様子



「ロボットを作ろう」の様子

天文カレッジ

探求層である高校生以上の大人を対象に、天文学の話題や天体観測の手法を学習する講座を、テーマ別に2期開催した。

第1期：「『星のソムリエ』になりませんか？」

☆開催回数 8回(平成24年6月～平成25年1月)

☆対 象 高校生以上一般

☆受講者数 30人 (のべ参加人数：227人)

メニュー	開催日時	開催場所	参加者数
さあ、はじめよう	平成24年 6 月20日(水) 19時～21時	郡山市ふれあい科学館	28人
星座を見つけよう	平成24年 7 月18日(水) 19時～21時	郡山市ふれあい科学館	27人
望遠鏡のしくみ	平成24年 8 月29日(水) 19時～21時	郡山市ふれあい科学館	25人
望遠鏡を使ってみよう	平成24年 9 月19日(水) 19時～21時	郡山市ふれあい科学館	23人
宇宙はどんな世界	平成24年 10月17日(水) 19時～21時	郡山市ふれあい科学館	25人
星空の文化に親しむ	平成24年 11月14日(水) 19時～21時	郡山市ふれあい科学館	23人
星空案内の実際	平成24年 12月 5 日(水) 19時～21時	郡山市ふれあい科学館	26人
特別講座:講演会及び認定証授与式	平成25年 1 月19日(土) 15時～18時	郡山市ふれあい科学館	50人

第2期:「宇宙に旅立つ ～宇宙への一歩から太陽系大航海時代へ～」

☆開催回数 4 回(平成24年10月～12月)

☆対 象 高校生以上一般

☆受講者数 30人 (のべ参加人数: 91人)

メニュー	開催日時	開催場所	参加者数
宇宙へ行く ～ロケットのしくみ～	平成24年 10月24日(水) 19時～21時	郡山市ふれあい科学館	28人
宇宙はどんなところ? ～宇宙の環境と人工衛星～	平成24年 11月 7 日(水) 19時～21時	郡山市ふれあい科学館	22人
宇宙滞在時代～有人宇宙開発 と国際宇宙ステーション～	平成24年 11月21日(水) 19時～21時	郡山市ふれあい科学館	21人
宇宙探査の幕開け～ボイジャー から太陽系大航海時代へ～	平成24年 12月12日(水) 19時～21時	郡山市ふれあい科学館	20人



天文カレッジ第1期講座の様子



天文カレッジ第2期講座の様子

4 その他の事業

星空案内人資格認定講座

山形大学理学部などが提唱する「星空案内人資格認定制度」の全国運営組織に参加し、天文カレッジ・天文ボランティア研修等の一環として資格認定講座を開講し、「星空案内人」資格認定を行った。

- ☆開催期間 平成24年6月～平成25年3月
- ☆講座開催回数 22回(うち天文カレッジ内7回)
- ☆受講者総数 294人



講座の様子

<星空案内人資格認定証授与式>

所定の認定基準を満たした受講者に対して、資格認定証の授与を行った。

- ☆開催日 平成25年1月19日(土)
- ☆対象 星空案内人3人、星空案内人(準案内人) 21人
- ☆内容 資格認定証授与
記念講演「電波で宇宙の秘密を探る」、「国立天文台水沢地区での天文普及活動」
講師：亀谷 収氏(国立天文台水沢VLBI観測所)



認定証授与式の様子

事業スタッフ調査研究

全職員が、近隣先進館の展示手法や解説、ワークショップの方法等の調査研究を行った。

調査日	調査先	内容
平成24年4月17日	日立シビックセンター科学館・天球劇場	サイエンスショー、プラネタリウム、展示物、運営手法などに関する調査

天文調査研究

宇宙や天文に関する様々な情報の集積を図るとともに、関係機関との連携を強化し、新たな事業の企画立案、そして既存事業の充実を図るための調査研究を行った。

調査日	調査先	内容
平成24年 4月21日	第3回金環日食シンポジウム (国立天文台三鷹キャンパス)	2012年5月の金環日食に関する情報収集
平成24年 6月12日～14日	日本プラネタリウム協議会全国プラネタリウム大会 (いしかわ子ども交流センター、石川県立音楽堂)	プラネタリウム運営及び事業に関する調査並びに新投映システムの調査及び事例発表
平成24年 7月22日～23日	金環日食限界線観測研究会京都ミーティング (京都市立洛陽工業高等学校)	2012年5月の金環日食に関する情報収集・各地域グループの状況報告
平成24年 9月18日～22日	日本天文学会秋季年会 (大分大学)	天文学最新情報及び天文教育の情報収集

平成24年 11月4日～5日	公開天文台ネットワーク総会及び研修会 (鹿島技術センター)	天文教育で使用するデジタルコンテンツの加工法及び教材製作に関する研修
平成24年 12月3日	デジタルプラネタリウム 第12回ワークショップ (かわさき宙と緑の科学館)	デジタルプラネタリウムの活用法に関する情報収集及び調査研究
平成24年 12月12日～14日	日本ジャイアントスクリーン協会 フィルムフェスティバル2012 (さいたま市宇宙劇場、さいたま市青少年宇宙科学館)	大型映像番組に関する情報収集
平成25年 3月11日	第7回星空案内人(星のソムリエ)資格認定制度シンポジウム (キャンパスイノベーションセンター 山形大学サテライト)	星空案内人資格認定制度に関する情報収集
平成25年 3月18日	デジタルプラネタリウム 第13回ワークショップ (玉川学園マルチメディアリソースセンター)	デジタルプラネタリウムの活用法に関する情報収集及び調査研究

<第3回 2012年金環日食限界線観測研究会 こおりやまミーティング>

2012年の金環日食において全国的なキャンペーンで限界線を求めるプロジェクトのメンバーやプロジェクトに参加している各地域グループの方々が参加し、全国的な動向や地域グループの試みなどを発表し、観測技術や結果のまとめ方などについて情報交換を行うことを目的としたミーティングを、当館を会場に行った。

☆開催日時 平成24年4月22日(日)14時～17時

☆開催場所 多目的研修室

☆参加者 31人(金環日食限界線プロジェクトメンバー及び限界線観測地域有志の方々)

☆内容 限界線観測キャンペーンの全国的な動向や各地域グループの試みの紹介・情報交換など



開催風景

<ハイブリッド・プラネタリウム研修会>

光学式プラネタリウム及びデジタル映像設備を共に有するハイブリッド・プラネタリウム施設が、各設備を十分活用し、魅力ある投映(運営)を行えるよう、技術・情報の共有を目的として、各施設の実践報告、メーカー技術へのQ&A、各施設間の情報交換を、当館などを会場に行った。

当館としても、各施設におけるプラネタリウム活用法の調査研究を行い、事業に関する調査研究を行った。

☆開催日 平成25年1月20日(日)～22日(火)

☆参加者 55人(全国のプラネタリウム22施設の関係者およびメーカー技術者)

☆内容 各施設の実践報告、メーカー技術へのQ&Aなど



ハイブリッド・プラネタリウム研修会の様子

展示調査研究

宇宙や科学に関する様々な情報の集積を図るとともに、関係機関との連携を強化し、展示更新や新たな事業の企画立案、そして既存事業の充実を図るための調査研究を行った。

調 査 日	調 査 先	内 容
平成24年 8月17日	きかんしゃトーマスとなかまたち東京会場 (池袋サンシャインシティ)	鉄道フェスティバルに関する 情報収集
平成24年 7月4日～5日	平成23年度全国科学館連携協議会総会 (日本科学未来館) 藤子・F・不二雄ミュージアム	全国の科学館に関する情報 収集及び施設視察
平成24年 11月8日～9日	平成24年度第1回全国科学館連携協議会 東北ブロック会議(奥州宇宙遊学館)	東北地域の科学館に関する 情報収集、ワークショップに 関する事例発表及び調査
平成24年 11月11日～12日	平成24年度全国科学館連携協議会国内研修	科学館と大学・研究機関との 連携事例紹介と意見交換
平成25年 2月2日	宇宙教育指導者セミナー ベーシックコース 福島会場	宇宙教育リーダーの資格更 新
平成25年 2月3日	サイエンスショーフェスティバル (日立シビックセンター)	サイエンスショーに関する情 報収集
平成25年 2月15日	平成24年度第2回全国科学館連携協議会 東北ブロック会議 (仙台市科学館)	東北の科学館に関する情報 収集
平成25年 2月28日～3月1日	第20回全国科学博物館協議会総会・研究発 表大会(愛媛県総合科学博物館) 愛媛大学ミュージアム視察	全国の博物館に関する情報 収集

情報調査研究

コンピュータやロボットに関する様々な情報の集積を図るとともに、関係機関等との連携を強化し、新たな事業の企画立案や既存事業の充実を図るための調査研究を行った。

調 査 日	調 査 先	内 容
平成25年 2月23日	ロボットゆうえんちⅡ (はまぎん こども宇宙科学館)	ロボット関連イベントに関す る情報収集

情報発信

○ホームページ

季節ごとの星空紹介や科学館のイベントなど、宇宙や科学に関する様々な情報を発信した。

更新回数：243回

参照回数：213,256件

○メールマガジン

科学館の最新ニュース・イベント案内のほか、星座の紹介などを毎月メールで配信した。

配信回数：13回

配信先：835件(平成25年3月現在)

○科学館ニュース

天文トピックス、科学実験アラカルト、スペースパークの出来事、宇宙劇場の番組紹介、科学館案内&募集コーナー等、様々な情報を掲載した季刊誌「ほしのうみ」を発行し、市町村教育委員会や学校等教育施設などに配付した。

・A4カラー8ページ 43号～46号(年間4回)

・発行部数：10,000部/各号

○プログラムガイド

宇宙劇場の番組案内やイベント情報などを掲載したリーフレットを作成し、年5回発行した。

・A4カラー4ページ

・発行総数：523,000部

○学校利用の手引き

小学校や中学校などの団体が、授業の一環として科学館を利用する際に学年や目的に応じて有効に活用できるよう、冊子にまとめ、市内及び県内の小中学校等に配付し、学校団体利用の促進を図った。

・A4白黒24ページ

・発行部数：4,000部

共催事業

○「宇宙の日」記念全国小・中学生作文絵画コンテスト

「全国小・中学生作文絵画コンテスト」のうち、絵画の部についての募集から審査までを共催で実施し、入選作品の展示会を開催した。

☆テーマ 宇宙オリンピック

☆部門 小学生部門、中学生部門

☆募集期間 平成24年5月1日(火)～7月31日(火)

☆応募作品 118点(小学生部門：73点、中学生部門：45点)

☆受賞作品 最優秀賞：各部門1点

優秀賞：各部門2点

佳作：小学生部門3点、中学生部門3点

☆審査員 小野 浩司氏(郡山市立大島小学校教諭)

渡部 信幸氏(郡山市立小原田中学校教諭)

「表彰式」

☆開催日時 平成24年9月23日(日)11時～11時30分

☆開催場所 多目的研修室2

「受賞作品展」

各部門で受賞した作品展を22階展望ロビーに展示した

☆展示期間 平成24年9月23日(日)～10月6日(土)

☆展示場所 展望ロビー

※主 催： 文部科学省、自然科学研究機構国立天文台、独立行政法人宇宙航空研究開発機構、日本科学未来館、(財)リモート・センシング技術センター、(財)日本宇宙フォーラム、(財)日本宇宙少年団、郡山市、郡山市教育委員会、郡山市ふれあい科学館(公益財団法人郡山市文化・学び振興公社)



表彰式後の記念撮影の様子

<星空環境ゼミ>

○環境パネル展

6月の環境月間及び12月の地球温暖化防止月間に合わせ、市生活環境課が行うパネル展に協力し、科学館でもパネルを出展して22階展望ロビーでパネル展を開催した。

☆開催期間 平成24年6月1日(金)～6月29日(金)

12月1日(土)～12月25日(火)

<科学技術へのいざない>

新潟大学工学部と連携し新潟大学で研究している最新の科学や、簡単な科学実験・工作を行った。

☆開催日時 平成24年9月16日(土)11時30分～16時

☆対 象 小学生～一般

☆参加者数 400名

☆内 容 「水素エネルギーで車を走らせよう・放射線(能)ってなに?・放射線(α 線)の飛跡を観察しよう・人工いくらとスライムを作ろう・ふつうの砂の不思議な液状化・ぐるぐる巻き電線で作るふしぎなイヤホン・つめた～い超低温の不思議・洗濯洗剤から蛍光剤をとりだしてみよう」の実験を行った。科学館は、わくわく科学工作～光の中をのぞこう～と題し偏光万華鏡を工作した。



開催の様子

<コズミックカレッジ>

独立行政法人宇宙航空研究開発機構(JAXA)と共催し小学1年生～小学4年生とその保護者を対象にしたキッズコースを開催した。

☆講 師 佐野 亮二氏(郡山市立郡山第三中学校教諭 宇宙教育リーダー)

園部 毅氏(福島大学附属中学校教諭 宇宙教育リーダー)

鈴木 典秋・水谷 有宏(郡山市ふれあい科学館)

- ☆開催日時 平成24年11月11日(日)10時～15時30分
- ☆対 象 小学1年生～小学4年生と保護者
- ☆定 員 15組(30人)
- ☆内 容 コズミックカレッジの宇宙教育リーダーの認定を取得した市内の小中学校の先生が講師となり、今年はいろいろな天文現象があったので、その天体を調査する「宇宙たんさ」をテーマに、宇宙に関する実験や工作を行い、宇宙への夢を膨らませていただいた。



講師紹介



金星の大気圧の疑似実験の様子

<ふくしまサイエンスぶらっとフォーム>

福島大学や県内の公設研究機関と科学・博物館で構成される機関に加盟し情報交換や科学普及のイベントを行った。

「第1回運営協議会」

- ☆開催日時 平成24年5月23日(水)15時～17時
- ☆場 所 郡山市ふれあい科学館 多目的研修室

「第1回ワーキンググループ会議」

- ☆開催日時 平成24年6月21日(木)15時～17時
- ☆場 所 郡山市ふれあい科学館 多目的研修室

「ふくしまサイエンスぶらっとフォーム合同視察研修会」

- ☆開催日時 平成24年9月14日(金)・15日(土)
- ☆研修場所 国立科学博物館・東京ガス(株)環境エネルギー館

「第2回ワーキンググループ会議」

- ☆開催日時 平成24年9月27日(木)15時～17時
- ☆場 所 福島県立図書館 研修室

「第3回ワーキンググループ会議」

- ☆開催日時 平成24年11月15日(木)13時～16時
- ☆場 所 ムシテックワールド

「サイエンス屋台村 in 南相馬」

- ☆開催日時 平成24年11月30日(金)・12月1日(土)
- ☆場 所 南相馬市博物館
- ☆内 容 モバイルプラネタリウムを使ってプラネタリウムを体験していただいた。

「第2回運営協議会」

- ☆開催日時 平成25年2月22日(金)15時～17時
- ☆場 所 郡山市ふれあい科学館 多目的研修室

「子ども科学祭 in 南相馬」

- ☆開催日時 平成25年3月2日(土)10時～14時
- ☆場 所 福島県立テクノアカデミー浜
- ☆内 容 ぶっ飛びロケットや実験ショーを行った。

＜星出宇宙飛行士ミッション報告会～こおりやまに宇宙飛行士がやってくる！～＞

独立行政法人宇宙航空研究開発機構(JAXA)と共催し、星出彰彦宇宙飛行士のミッション報告会を開催した。

- ☆主 催 独立行政法人宇宙航空研究開発機構(JAXA)、郡山市、郡山市教育委員会、郡山市ふれあい科学館(公益財団法人郡山市文化・学び振興公社)
- ☆講 師 星出 彰彦氏(第32／33次長期滞在フライトエンジニア; JAXA)
- ☆司 会 安藤 桂子氏(福島放送アナウンサー)
- ☆登壇者 石黒 礼さん(鏡石町立第二小学校 6年)
菊地 寛人さん(福島市立福島第二小学校 4年)
佐藤 匠真さん(喜多方市立第二小学校 3年)
灘山 凜さん(郡山市立金透小学校 6年)
畠 直輝さん(郡山市立行徳小学校 5年)
山田 夏実さん(郡山市立富田東小学校 4年)
- ☆開催日時 平成25年 2月17日(日)16時30分～18時15分
- ☆開催場所 郡山市民文化センター 中ホール
- ☆参加 800人
- ☆内 容 第1部では、星出宇宙飛行士からミッションの紹介と質疑応答を行った。第2部では「宇宙をめざす子どもたちとの交流会」と題して、公募で選定した6名の小学生が登壇し、星出宇宙飛行士へ質問や将来の宇宙開発の夢やアイデアを紹介した。



質疑応答の様子



第2部「宇宙をめざす子どもたちとの交流会」の様子

＜郡山市少年少女発明クラブ＞

社団法人発明協会福島県支部と共催し「郡山市少年少女発明クラブ」を運営した。ロボットやトランジスタラジオなどの製作を通して、発明の楽しさを体験するクラブを開催した。

- ☆開催日時 毎月第3日曜日(平成24年 5月～平成25年 2月)
10時～12時
- ☆開催回数 10回
- ☆対 象 小学3年生～中学3年生
- ☆クラブ員 30人
- ☆専任指導員 黒森 五郎氏、大越 清美氏
- ☆内 容 ゴム動力で動く作品作り、ラジオ作り、木と紙の工作 など。



クラブ活動の様子

科学館実習

学芸員の資格取得を目指す学生を実習生として受け入れ、科学館における活動を通して、学芸員の資質を養うための研修を行った。

☆開催期間 平成24年9月5日(水)～12日(水)

※10日(月)を除く7日間

☆実習生 2人

郡山女子大学短期大学部文化学科：2人

実 習 日	実 習 内 容
平成24年9月5日(水)	開講式、施設見学、実習説明、番組見学、接遇研修
6日(木)	団体対応実習、展示実習、劇場実習
7日(金)	団体対応実習、展示実習
8日(土)	クラブ活動対応実習、展示実習発表
9日(日)	来館者対応実習、番組見学
10日(月)	休館日
11日(火)	宇宙劇場解説実習、ポスター制作
12日(水)	宇宙劇場課題発表、ポスター発表、博物館現場の話、閉講式



科学館実習の様子

その他

<日本宇宙少年団こおりやま分団>

宇宙及び科学への探求心と向上心を促し、青少年の健全な育成に寄与するなどの目的で設立されて活動をしている日本宇宙少年団こおりやま分団の活動について、科学館職員がモデルロケット工作の指導や宇宙開発に関する講義を行うなどの支援を行った。

☆活動日 平成24年4月～平成25年3月の毎月1回程度実施

☆活動場所 郡山市ふれあい科学館、郡山市カルチャーパークなど。

☆活動内容 モデルロケット工作、天体観測、科学実験など。

※毎月第2水曜には、郡山市ふれあい科学館にてリーダー会議を開催した。

5 ボランティア関係事業

全体の概要

平成16年2月に自主運営組織「スペースパークボランティアの会(略称：S.P.V)」が発足し9年目となる本年度は、会員各自が、さらに積極的に活動のレベルアップを図るとともに、活動範囲の拡大、そして、市民へボランティア活動を行おうとする心をひろめ、生涯学習ボランティア活動がより一層の発展を目指し、ボランティア活動を行った。



スペースパークボランティア大募集

案内サービス・鉄道ジオラマ・科学・天文の各ボランティアを広く市内外から募集した。

<募集スケジュール>

募 集 期 間	登録前オリエンテーション	ボランティア研修
平成24年 3 月 1 日(木) ～ 4 月28日(土)	平成24年 5 月27日(日)	平成24年 6 月17日(日)

※登録前オリエンテーション

応募者を対象に、スペースパークボランティアの会及び活動内容について理解を深めることを目的として開催

※ボランティア研修

ボランティア登録者を対象に、生涯学習についてグループごとに専門研修を開催



登録前オリエンテーションの様子



ボランティア研修の様子

<登録状況>

☆グループ別

	案 内 サービス	鉄 道 ジオラマ	科 学	天 文	合 計
前年度からの登録更新者	16人	10人	32人	46人	104人
平 成 2 4 年 度 登 録 者	2人	1人	6人	7人	16人
合 計	18人	11人	38人	53人	120人

☆区分別

	性 別		職業の有無			地域別		
	男	女	有 職	無 職	学 生	市 内	市 外	県 外
前年度からの 登録更新者	49人	55人	58人	40人	6人	87人	14人	3人
平成24年度 登 録 者	4人	12人	8人	3人	5人	14人	1人	1人
合 計	53人	67人	66人	43人	11人	101人	15人	4人

☆年代別

年 代	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代
人 数	8人	18人	11人	8人	28人	27人	13人	7人

ボランティア活動

<ボランティア活動>

○案内サービスボランティア

☆活動日時 平日：午前の部(9時30分～13時)

土曜・日曜・祝日：午前の部(9時30分～13時)、午後の部(12時30分～16時)

☆内 容 展望ロビーでの景色・郡山の歴史案内、科学館の総合案内、高齢者・身障者の観覧補助

☆延べ活動時間/人数 1,140時間／331人

○鉄道ジオラマボランティア

☆活動日時 平日：午前の部(9時30分～13時)

土曜・日曜・祝日：午前の部(9時30分～13時)、午後の部(12時30分～16時)

☆内 容 鉄道ジオラマ各時代の鉄道車両及び郡山の歴史説明

☆延べ活動時間/人数 536時間／212人

○科学ボランティア

☆活動日時 土曜・日曜・祝日・学校休業期間：午前の部(9時30分～13時)

午後の部(12時30分～16時)

☆内 容 実験・工作教室などの説明や製作の補助

☆延べ活動時間/人数 895時間／247人

○天文ボランティア

☆活動日時 天体観望会及び自主イベントのある夜間等

☆内 容 天体観望会などでの案内及び望遠鏡の操作補助

☆延べ活動時間/人数 787時間／226人

<出張ボランティア活動>

館外での生涯学習活動の場を求め、広く出張ボランティア活動を実施し、市民活動の一環として市民のみなさまと共に楽しみ、お互いの感動を共有し、市内におけるさらなる生涯学習活動の促進を目指し開催した。

事業名	開催日時	開催場所	参加人数	内 容
郡山市こどもまつり	平成24年 5 月 5 日(土) 10時～14時	郡山市こども総合 支援センター(ニコ ニコこども館)	—	科学工作
親子わくわくタイム 星空観望会	平成24年 7 月 7 日(土) 19時～20時30分	須賀川市 西袋公民館	30人	天体観望会
行健第二小学校2年生 学年活動	平成24年 7 月 7 日(土) 9 時～11時30分	行健第二小学校 体育館	約80人	科学工作
小野町緑とのふれあいの 森公園 宿泊行事	平成24年 7 月14日(土) 19時～21時	小野町緑とのふれ あいの森公園	40人	天体観望会
小野町緑とのふれあいの 森公園 宿泊行事	平成24年 7 月21日(土) 19時～21時	小野町緑とのふれ あいの森公園	40人	天体観望会
自然体験合宿 星空ウォッチング	平成24年 8 月24日(金) 20時～21時	少年湖畔の村	130人	天体観望会
夏のキッズフェスタ	平成24年 8 月26日(日) 10時～15時	郡山市こども総合 支援センター(ニコ ニコこども館)	—	科学工作
大成なかよしクラブ	平成24年 9 月 1 日(土) 10時～12時	大成地域公民館	29人	科学工作
あつまれっ! ハイテクプラザ2012	平成24年10月14日(日) 10時～15時	福島県 ハイテクプラザ	—	科学工作
なかまちウィンター フェスティバル2012 ～東日本大震災復興支援 事業～	平成24年11月 4 日(日) 10時30分～16時40分	なかまち夢通り	—	科学工作 天文工作 紙芝居
西っ子クラブ	平成24年11月24日(土) 9 時30分～11時30分	富田西地域公民館	66人	科学工作
こおりやま保育所 保護者会ネットワーク 平成24年度 もちつき大会	平成25年 1 月27日(日) 10時～13時	中田公民館	100名	紙芝居 昔遊び 科学工作

自主企画イベント

<天文ボランティアの天体写真展「宙(そら)の記録展」巡回展>

開 催 期 間	開 催 場 所
平成24年 3 月 7 日(木)～ 4 月 6 日(金)	東邦銀行郡山南支店ロビー(郡山市)
平成24年 6 月11日(月)～ 7 月20日(金)	東邦銀行郡山支店ロビー(郡山市)
平成25年 1 月10日(木)～ 2 月 6 日(水)	東邦銀行本店ロビー(福島市)
平成25年 2 月11日(月)～ 3 月 1 日(金)	東邦銀行郡山支店ロビー(郡山市)

館事業サポート活動

<サイエンスフェスティバル(ゴールデンウィーク)>

○科学ボランティア

☆開 催 日 平成24年 4 月28日 (土)～ 5 月 6 日(日)

☆メニュー こいのぼり、当てちゃい矢

<サイエンスフェスティバル パート 1(夏休み)>

○科学ボランティア

☆開 催 日 平成24年 7 月21日 (土)～22日(日)

☆メニュー プラコプター、のぼるにゃん

<サイエンスフェスティバル パート 2(夏休み)>

○科学ボランティア

☆開 催 日 平成24年 8 月11日 (土)～16日(木)

☆メニュー プラコプター、のぼるにゃん

<鉄道フェスティバル>

☆開 催 日 平成24年10月 6 日(土)～ 8 日(月・祝)

○鉄道ジオラマボランティア

☆内 容 会員所有の旧国鉄・J R 関連の鉄道資料の展示、説明
鉄道ジオラマショーの解説

○科学ボランティア

☆内 容 スリットアニメの工作指導

○案内サービスボランティア

☆内 容 来館者への案内

館事業における天体観望会等

<駅前観望会および日食観望会・金星太陽面通過観望会>

☆開催回数 11回

☆開催場所 郡山駅西口駅前広場中央広場

☆内 容 郡山駅前での天体望遠鏡による天体観望及び講座への協力

<星の宅配便>

☆開催回数 1 回

☆開催場所 市内公民館

☆内 容 市内各地での天体望遠鏡による天体観望及び講座への協力

<天体観望会>

- ☆開催回数 5回
- ☆開催場所 ニコニコこども館ほか
- ☆内 容 市内各施設での天体望遠鏡による天体観望及び講座への協力

研修等

<スペースパークボランティアの会他館研修会>

「鉄道博物館」

- ☆開催日 平成24年11月11日(日)
- ☆開催場所 鉄道博物館
- ☆参加者数 36人(各グループ対象)

<案内サービスボランティア研修>

22階展望ロビーから見える郡山の風景や歴史ガイドを行っており、活動のレベルアップのため以下の館外研修会を行った。

「第17回 郡山歴史探索紀行ミニツアー(自主研修)」

- ☆開催日 平成24年7月1日(日)
- ☆行程 伊東肥前の守碑(日吉神社)→人取橋合戦場跡→土津神社
- ☆参加者数 12人

<天文ボランティア研修>

「『第29回胎内星まつり2012』自主研修」

- ☆開催日 平成24年8月24日(金)～26日(日)
- ☆開催場所 新潟県胎内市
- ☆参加者数 7人
- ☆内 容 国内外の天文ファンが集まり、星の観望を楽しむイベントに参加し、S.P.Vブースを出展

「『2012年第1回 スターライトフェスティバル』自主研修」

- ☆開催日 平成24年10月5日(金)～8日(月・祝日)
- ☆開催場所 田村市星の村天文台
- ☆参加者数 12人
- ☆内 容 全国の天文ファンが集まり星の観望を楽しむイベントに参加し、活動に協力した。

<科学ボランティア研修>

「第8回 科学ボランティアツアー(自主研修)」

- ☆開催日 平成24年5月20日(日)
- ☆開催場所 柳津西山地熱発電所・郡山布引高原風力発電所
- ☆参加者数 8人

「第9回科学ボランティアツアー(自主研修)」

- ☆開催日 平成24年9月9日(日)
- ☆開催場所 ふくしま森の科学体験センター(ムシテックワールド)
- ☆参加者数 4人

<科学ボランティア自主勉強会>

「第3回科学ボランティア勉強会」

- ☆開催日 平成24年7月8日(日)
- ☆テーマ 「ユニーク！イグノーベル賞」、「折り紙教室」
- ☆開催場所 多目的研修室
- ☆参加者数 11人

「第4回科学ボランティア勉強会」

- ☆開催日 平成25年1月27日(日)
- ☆テーマ 「祝ノーベル賞！どこまで行ける？再生医療～iPS細胞の実体と期待～」、「折り紙教室」
- ☆開催場所 多目的研修室
- ☆参加者数 11人

スペースパークボランティア平成24年度総会

平成24年度総会を開催。平成24年度活動報告後、役員選出案、そして平成25年度活動計画等を審議し、満場一致で承認した。総会終了後には会津史学会、伊藤光子氏を講師として、講演会「新島八重の生涯」を開催した。

- ☆開催日 平成25年3月10日(日)
- ☆開催場所 多目的研修室
- ☆参加者数 101人(委任状含む。)



総会の様子



講演会の様子

S.P.V広報活動

科学館のホームページに掲載している、S.P.Vの活動紹介ホームページ更新及び広報誌「S.P.Vつうしん」を年4回発行した。



S.P.Vつうしん第33号



S.P.Vつうしん第34号



S.P.Vつうしん第35号



S.P.Vつうしん第36号

Ⅲ 平成24年度広報・サービス活動

1 広報PR活動

(1) 広報戦略活動

科学館の事業・運営内容を、市民並びに県民に告知するため、テレビスポットを中心とした広報戦略活動を展開した。

① テレビスポット

☆期 間 等 平成24年7月14日～8月19日 福島中央テレビ・福島放送、15秒スポット計70本
☆内 容 夏休みドーム映像番組「月の魔法とサンゴの海」

☆期 間 等 平成24年11月16日～平成25年1月13日 福島中央テレビ・福島放送、
15秒スポット計30本
☆内 容 冬のドーム映像番組「いきものがたり」

☆期 間 等 平成25年3月9日～24日 福島放送、15秒スポット計13本
☆内 容 春休み特別企画「ロボットで遊ボット！」

② 新聞広告

☆掲載日等 平成25年1月7日 朝日新聞
☆内 容 スペースパーク企画展「からくり人形の世界展」
冬のドーム映像番組「いきものがたり」

☆掲載日等 平成25年2月2日 福島民報新聞、福島民友新聞
☆内 容 星出宇宙飛行士ミッション報告会

(2) 広報紙及び雑誌・看板等

広報紙を県内各地に配布したほか、市の広報紙「広報こおりやま」をはじめ、教育委員会や各課で発行する印刷物等へ科学館の案内を掲載した。

また、ビル入口への看板設置や、駅構内へのイベントポスターの掲示など行った。

そのほか、タウン誌や旅行雑誌からの依頼等により、科学館の案内や情報を積極的に提供し、科学館のPRに努めた。

広 報 紙 送 付 先	
幼稚園・保育所	市内(115)、市外(195)
小学校	市内(59)、市外(424)
中学校	市内(29)、市外(215)
特別支援学校	県内(23)
公民館	市内(39)、市外(60)
関係機関・道の駅など	市内(46)、市外(206)

2 営業活動

今年度は科学館の施設及び事業内容を、特に県内小中学校や県外旅行代理店へ多く訪問し、来館者の底辺の拡大を図るため営業活動を積極的に展開した。

営 業 訪 問 先	
幼稚園・保育所	市内(14)
小学校	市内(59)、市外(99)
中学校	市内(29)、市外(52)
大学・専門学校	県内(4)
市町村公民館	県外(2)
旅行代理店・観光施設	県外(33)
ホテル・商店・病院など	ホテル(19)、観光業者(5)、商店(18)、 病院(2)、その他(14)

Ⅳ 郡山市ふれあい科学館 平成25年度事業活動計画

1 市民鑑賞型事業

(1) 宇宙劇場番組放映

様々な年代や利用目的に合ったプラネタリウム番組の制作や各種映像等の収集を行い、宇宙劇場において、天文や宇宙などに関する番組を日常的に投映する。

＜番組投映開始時刻＞ ※投映時間は約45分

曜日／回	第 1 回目	第 2 回目	第 3 回目	第 4 回目	第 5 回目	第 6 回目
平 日	10時15分	11時30分	14時	15時30分		※19時
土曜・日曜・祝日	11時	12時30分	14時	15時30分	17時	※19時

※金曜日のみ投映 ※夏休み期間は別途番組開始時刻を定め実施

プラネタリウム 一般番組

子どもから大人までの幅広い年代層の方が、季節の星空を楽しみ、天文や宇宙開発、地球環境などの様々な事柄を知ることのできるプラネタリウム番組を2ヶ月ごとに更新して投映する。

投映時間：平日の第3回目及び土曜・日曜・祝日の第2・4回目、団体利用がない平日の第1・2回目

(学校休業期間は時季により異なる)

番組タイトル	投映期間
南天星座めぐり	平成25年4月1日(月)～4月30日(火)
太陽と惑星たち	平成25年5月1日(水)～6月30日(日)
ブラックホール	平成25年7月2日(火)～8月31日(土)
宇宙ステーションによこそ	平成25年9月1日(日)～10月31日(木)
星が生まれる	平成25年11月1日(金)～12月30日(月)
第2の地球?	平成26年1月2日(木)～2月28日(金)
魅惑の火星	平成26年3月1日(土)～3月31日(月)

キッズアワー

季節の星空紹介と星座神話・宇宙探検のミニ番組を組み合わせ子どもと大人が一緒に楽しめるように、やさしい解説を加えたプラネタリウム番組を投映する。

投映時間：土曜・日曜・祝日の第1・3回目、学校長期休業期間(時季により投映回は異なる)

番組タイトル	投映期間
おたんじょうびのせいざ	平成25年4月1日(月)～5月26日(日)
たなばたの星ものがたり	平成25年6月1日(土)～8月13日(火)
かぐやひめのおはなし	平成25年8月14日(水)～9月29日(日)
あきの星さがし	平成25年10月5日(日)～11月30日(土)
宇宙旅行にしゅっぱつ!	平成25年12月1日(日)～平成25年1月26日(日)
ふゆの星めぐり	平成25年2月1日(土)～3月31日(月)

学習番組 ※番組の選択は先着順

小学校や中学校などの学校団体を対象に、理科や総合的な学習の時間など、学習の目的に合った番組を選択し、観覧することができるプラネタリウム番組を放映する。

放映時間：学校の長期休業期間及びゴールデンウィーク期間を除く平日の第1・2回目

番組タイトル(対象)	放映期間
星座を見つけよう(小学校低学年以上)	小中学校の長期休業期間及びゴールデンウィーク期間を除く平日(第1・2回目)
日なたと日かげ(小学校中学年以上)	
月と星の動き(小学校中学年以上)	
月と太陽(小学校高学年以上)	
地球と宇宙(中学生向け)	
宇宙のお話(中学生以上)	

幼児番組 ※学習番組枠で希望により放映(幼児週間以外)

幼稚園や保育所などの団体を対象に、星座にまつわる神話などを交えた、小さな子どもが星空に対して興味をもてるプラネタリウム番組を放映する。

放映時間：学校の長期休業期間及びゴールデンウィーク期間を除く平日の第1・2回目

番組タイトル	放映期間
ほしのどうぶつえん	平成25年4月～5月
たなばたのおほしさま	平成25年6月～7月
おつきみと かぐやひめのおはなし	平成25年8月～9月
うちゅうりょこうに であいよう!	平成25年10月～11月
せいざたちの だいぼうけん	平成25年12月～平成26年3月

ドーム映像番組

全天ビデオシステムによる全天ドーム映像や星空紹介を加えた娯楽性の高い番組を夏休み期間及び冬期間に放映する。

上映期間：夏休み期間(7/20～8/25)の第1・3・5回目、冬期間

番組タイトル	上映期間
宇宙兄弟 一点のひかり	平成25年7月20日(土)～8月25日(日)
未定	冬期間(期間・時間検討中)

イブニングアワー

大人の利用促進及び中心市街地に立地するメリットを活かし、宇宙劇場の夜間開館を行い、番組内容も大人向けや時季に応じた番組を提供する。

番組タイトル	放映日
星空ライブ60～春の星空編～	平成25年5月4日(土)
七夕の夜	平成25年7月7日(日)
星空ライブ60～夏の星空編～	平成25年7月20日(土)
ゆかた de プラネタリウム!	平成25年8月3日(土)
イブニングアワーお盆スペシャル	平成25年8月10日(土)～15日(木)
中秋の名月 イブニングアワー(仮題)	平成25年9月14日(土)
星空ライブ60～秋の星空編～	平成25年10月13日(土)

クリスマス イブニングアワー(仮題)	平成25年12月24日(火)・25日(水)
星空ライブ60～冬の星空編～	平成26年 1 月12日(日)

(2) 音楽コンサート

宇宙劇場における通常の番組以外に、多目的な利用も考慮したコンサートを開催し、市民の天文や宇宙への興味関心を高めながら、文化芸術に接する機会を提供する。

星と音楽のひととき

2ヶ月ごとにテーマを設定し、様々なジャンルの音楽(CD)を聴きながら、ゆったりと星空を楽しむリラクゼーション番組を投映する。

☆開催日時 平日(祝日・学校休業期間等を除く。)15時30分～16時15分及び
土曜・日曜・祝日17時～17時45分、毎週金曜日19時～19時45分

☆観覧券 当日発売

☆観覧料 通常の宇宙劇場と同様

☆定員 各220人

宇宙劇場コンサート

季節にあわせて、宇宙劇場の機能を効果的に活用した生演奏の星空コンサート等を開催する。

<プラネタリウム セタコンサート 琵琶と星のファンタジー>

☆開催日 平成25年7月6日(土)15時～、17時～

☆演奏者 熊田 かほりさん(鶴田流琵琶)

☆観覧料 通常の宇宙劇場と同様

☆定員 各220人

<ウインターコンサート>

☆開催日 平成25年12月予定

☆演奏者 未定

☆観覧料 通常の宇宙劇場と同様

☆定員 各220人

<スプリングコンサート>

☆開催日 平成26年3月予定

☆演奏者 未定

☆観覧料 通常の宇宙劇場と同様

☆定員 各220人

(3)鑑賞型企画展

ホワイエ企画展

宇宙劇場ホワイエにおいて、投映する番組に合わせた内容などを、写真や解説文を交えたパネル展を開催する。

企 画 展 予 定	開 催 期 間 (予定)
色とりどりの星	平成25年 4 月 1 日(月)～ 5 月31日(金)
スペースリング	平成25年 6 月 1 日(土)～ 8 月24日(日)
都会の星(予定)	平成25年 9 月 1 日(日)～10月31日(木)
夜空の宝石箱～星団の世界～(予定)	平成25年11月 1 日(金)～平成26年1月31日(金)
赤い大地(予定)	平成26年 2 月 1 日(土)～ 3 月31日(月)

学校向け巡回展

ホワイエ企画展で使用したパネルやコンピュータグラフィックス展の受賞作品を市内小中学校に貸出し、宇宙や科学が身近なものとなるよう巡回展を行う。

☆開催期間 平成25年 4 月～平成26年 3 月(学校休業期間を除く)

☆対 象 市内小中学校

2 市民参加型事業

(1) 科学普及事業

サイエンスショー

来館者の科学に関する興味を喚起するため、身近なものや大掛かりな装置などを使った科学実験を実施する。(約20分間)

☆開催時間 平 日 10時30分～、13時～

土曜・日曜・祝日・学校長期休業期間 10時30分～、13時～、16時～

☆開催場所 展示ゾーン びっくり実験ラボ

☆対 象 展示ゾーン入館者

☆定 員 30人程度

☆内 容 びっくり超低温の世界(ゴールデンウィークと夏休み期間に実施)
ピタッと磁石で大実験、音のひみつを探ろう、台所で科学実験、燃える科学
びっくり！静電気

サイエンススタジオ

科学の幅広い分野を楽しみながら体験できる実験工作を開催する。(約20分間)

☆開催日時 毎日 11時30分～、14時30分～(サイエンスフェスティバル開催日は除く。)

☆開催場所 展示ゾーン びっくり実験ラボ

☆対 象 展示ゾーン入館者

☆定 員 1 回30人程度

☆内 容 伸びたり縮んだり！ゴムのひみつ、流れる電気のひみつ、もくもく雲のひみつ、暑さに負けるな！太陽のひみつなど

デジタルスタジオ

展示ゾーンへの入館者を対象に、パソコンやデジタルカメラを使用して紙工作等を作成する教室を開催する。(約50分間)

- ☆開催時間 土曜日 13時30分～(サイエンスフェスティバル開催日は除く。)
- ☆開催場所 パソコン工房
- ☆対象 展示ゾーン入館者
- ☆定員 先着16組(1組2人)
- ☆内容 名前シール作り、クリアファイル作り、しかけカード作り、風りん作り、アートバルーン作り、トートバック作り、シール作り、カレンダー作り、下じき作り、プラバンキーホルダー作り、名刺作り

サイエンス広場

展示ゾーンへの入館者を対象に、身近な材料などを使用して科学工作教室を開催する。(約40分間)

- ☆開催日時 日曜・祝日 13時30分～(サイエンスフェスティバル開催日は除く。)
- ☆開催場所 実験工房、多目的研修室
- ☆対象 展示ゾーン入館者
- ☆定員 先着30人
- ☆内容 のぞいて遊ぼう、風で遊ぼう、湿度で遊ぼう、水で遊ぼうなど

わくわくカウンター

入館者の多い時期に科学の幅広い分野を楽しみながら体験できる実験工作を開催する。

- ☆開催日時 不定期(土曜・日曜・祝日及び小中学校の長期休業期間等に開催)
- ☆開催場所 展示ゾーン ワークショップカウンター
- ☆対象 展示ゾーン入館者
- ☆内容 科学工作
科学に関する情報提供(科学図書の設置、科学・天文ニュースの掲示)
宇宙メダカの展示

ロボットショー

パソコン等でロボットを操作し、あいさつやダンスなどの様々なパフォーマンスショーを開催する。また、自由に触れたり声をかけたりして、ロボットとのコミュニケーションの機会を設けて楽しむとともに、今後のロボット技術への興味関心を高める。(約15分間)

<ロボットショー>

- ☆開催日時 土曜・日曜・祝日・学校長期休業期間 12時30分～、15時30分～
- ☆開催場所 展示ゾーン びっくり実験ラボ
- ☆対象 展示ゾーン入館者
- ☆定員 30人程度

<ロボット展示>

- ☆展示場所 展示ゾーン トリプルスピン前

<ロボット貸出>

- ☆開催期間 平成25年4月～平成26年3月(学校長期休業期間を除く。)
- ☆対象 市内小中学校

サイエンス教室(団体向け)

学校や子ども会、高齢者等の団体向けに、簡単な科学の実験や工作を体験する「ワークショップ」、たのしい科学実験を見ることができる「サイエンスショー」、パソコンを使った簡単な紙工

作などができる「パソコン工房の利用」を開催する。

- ☆開催日時 平日の午前・午後に1回ずつ
(ゴールデンウィーク及び学校の長期休業期間等を除く。)
- ☆開催場所 多目的研修室、実験工房、パソコン工房
- ☆対象 小中高校等の学校、子ども会など
- ☆定員 ワークショップ、サイエンスショー各50人程度
パソコン工房利用の場合16人以下
- ☆内容 ワークショップ(ぐにゅっとスライム、ビー玉ごま、ぶっとびロケット、
ミニブーメラン、あったカイロ、不思議な箱などの40メニュー)
サイエンスショー(パワフル空気の力、超低温の世界)
パソコン工房の利用(写真入りカード、星座早見盤)

展示解説

<たんけんシート>

展示物についてのクイズをワークシートとして用意し、参加者はクイズに答えながら展示物を見学することにより、展示ゾーンの主なポイントを巡ることのできるワークシートを設置する。

- ☆開催日時 随時(開館日10時～17時45分)

<展示解説シート>

展示物について、より詳しく知りたい人向けにお持ち帰り用解説シートを制作、配布する。

サイエンスフェスティバル

展示ゾーンの入館者を対象に、簡単な科学実験や工作を屋台形式で体験できる科学工作教室を開催する。

- ☆開催日時 ①ゴールデンウィーク期間：平成25年5月3日(金)～5月6日(月・祝)
②夏休み期間：パート1 平成25年7月20日(土)～21日(日)
パート2 平成25年8月10日(土)～15日(木)
- ☆開催場所 展示ゾーン
- ☆対象 展示ゾーン入館者
- ☆講師 科学館支援グループ、小中学校・大学の教員、科学館職員、科学館ボランティア
市内外の他機関職員など
- ☆内容 スライム、ブンブンごま、カラフル化石、風船ロケットほか

Nゲージ鉄道ジオラマ

線路幅が9mmのNゲージ鉄道模型を使い、明治・昭和初期・現代の郡山を再現し、近代郡山の発展の様子を紹介する。

<鉄道ジオラマショー>

- ☆開催時間 11時～、15時～、17時～(約20分間)

<簡易シミュレーター>

- ☆開催時間 開館日の10時～17時(ショー開催時間以外)

<運転シミュレーター>

- ☆開催時間 随時
- ☆料金 金 200円(約5分間)

＜ウォールミュージアム＞

☆展示時間 随時(開館日10時～17時30分)

＜たんけん！鉄道ジオラマシート＞

質問の答えを探して、シートに書き込みながら鉄道ジオラマを見学することにより、鉄道ジオラマの主なポイントを巡るワークシートを設置する。

☆開催時間 開館日の10時～17時

(2) 講演会等

星の講演会

天文や宇宙開発などに関わる機関等と連携し、宇宙や科学に関する興味関心を高めることのできる講演会を、専門講師を招き開催する。

＜第24回星の講演会＞

☆テーマ 「ブラックホールのひみつ(仮)」

☆開催時期 平成25年8月31日(土)

☆開催場所 宇宙劇場

☆定員 220人

☆内容 プラネタリウム一般番組にあわせ、ブラックホールについて研究者から詳しく紹介していただく。

＜第25回星の講演会＞

☆テーマ 「第2の地球(仮)」

☆開催時期 平成26年1月(予定)

☆開催場所 宇宙劇場

☆定員 220人

☆内容 一般番組にあわせ、太陽系外惑星発見や地球型惑星の形成などについて紹介する講演会を開催する。

＜スターレクチャー＞

☆開催場所 多目的研修室

☆定員 50人

☆内容 話題の天文トピックについて、詳しく掘り下げて紹介する講演会を開催する。

天体観望会

一般に大きな話題となりそうな天文現象を対象に、天体に関する興味関心を深めるため、観望する天体に関する講座と観望会を開催する。また、市内地域の指導者的な人を対象とした講座を開催し、受講者が天体観望会を地域で開催する場合には天体望遠鏡を貸し出すことで、天体観望会のすそ野を広げ、科学普及を図る。

＜天体望遠鏡貸出＞

☆開催期間 平成24年4月～平成25年3月

☆対象 天体望遠鏡操作講習修了者

駅前観望会

駅前において、天体望遠鏡などを使用し、少しの時間でも気軽に参加でき、宇宙への興味関心を高める自由参加形式の天体観望会を開催する。

- ☆開催時期 平成25年4月、5月、6月、7月、8月、9月、10月、11月、
平成26年3月予定
- ☆開催場所 郡山駅西口駅前広場中央広場
- ☆対 象 一般(当日自由参加)

高校天文部支援事業

市内を中心とした各高校の天文部等との交流を深め、天文に関する知識や技術面からクラブ活動を支援する。

- ☆開催時期 平成25年6月、7月、8月、9月、10月、11月、12月を予定
- ☆開催場所 多目的研修室、宇宙劇場、郡山駅西口駅前広場中央広場など

科学ゼミナール

県内の類似施設、研究機関、企業等と連携し共同で講演会やワークショップを開催する。

<県内を中心とした研究機関との連携事業>

- ☆概 要 県内の大学等の研究機関から講師を招いて講座を開催する。
- ☆開催回数 5回程度
- ☆連 携 先 福島大学など

科学の宅配便

市内各地に出向き、科学館で行っている実験工作を実施し出前講座を開催する。

- ☆開催時期 平日14時以降(月1回程度)(ゴールデンウィーク、学校休業期間等を除く。)
- ☆開催場所 市内小学校・幼稚園及び地域公民館など。
- ☆対象者数 20人以上150人程度の団体

(3) 作品募集

第13回コンピュータグラフィックス展

コンピュータグラフィックス作品を子どもから大人まで広く募集し、審査を経て展示を行うことにより、発表の機会を提供するとともに、コンピュータグラフィックスの知識や技術の向上を図る。

- ☆部 門 静止画部門(小学生以下の部・中学生の部・一般(高校生以上)の部)、動画部門
- ☆募集締切 平成25年9月29日(日)
- ☆展示期間 平成25年11月9日(土)～平成26年1月13日(月)
- ☆展示場所 展望ロビー

ふくしま星・月の風景フォトコンテスト

福島県で撮影された星・月の風景写真を募集し、審査を経て展示を行うことにより、多くの自然が残されている福島県と星・月を関連付けて、広く県外に紹介するとともに、多くの県民に星空に目を向けてもらうことを目的とし、その普及を図る。

同時に、これまでのコンテストの巡回展示を行うことで、広く全国への情報発信を図る。

<第3回ふくしま星・月の風景フォトコンテスト>

- ☆募集締切 平成25年 秋(予定)
- ☆展示期間 平成26年 春(予定)
- ☆審 査 員 鈴木 一雄氏(自然写真家)、渡部 潤一氏(天文学者)
- ☆展示場所 23階ホワイエ

<「ふくしま星・月の風景フォトコンテスト」巡回写真展>

☆開催時期 通年

☆開催場所 県内各地のギャラリー、全国の科学館等

(4) 参加型企画展

鉄道の日鉄道フェスティバル

10月14日の「鉄道の日」にちなみ、スペースパークボランティアの会やJR東日本郡山駅などの協力のもと、全国最大級の規模を誇るNゲージ鉄道ジオラマや鉄道関連資料・グッズを活用したフェスティバルを開催する。

☆開催期間 平成25年10月12日(土)～14日(月)

☆開催場所 展望ロビー及び展示ゾーン研修室

☆対 象 一般来館者

☆内 容 鉄道ジオラマショースペシャル、鉄道模型操作体験、プラレールコーナーなど

スペースパーク企画展

中央機関などで行っている巡回展や企画展を郡山で開催し、科学の不思議、楽しさを市民に体験していただく。

☆展示期間 平成25年12月7日(土)～平成26年1月14日(月)

☆展示場所 展示ゾーン研修室

☆対 象 展示ゾーン入館者

ロボット展

福島県立郡山北工業高等学校や福島県立清陵情報高等学校などロボット製作等に取り組んでいる学校と連携してロボットの展示を行い、来館者にロボット工学の世界に触れていただく。また、操作体験ロボットを使った競技大会や工作体験教室も開催する。

☆開催日時 平成26年3月21日(金)～4月6日(日) 10時～17時

☆開催場所 展示ゾーン研修室

☆対 象 展示ゾーン入館者

☆内 容 ・ロボット展示・操作体験

大会やコンテストに出場したロボットの展示や操作体験を行う。

・ロボット工作

簡単なロボットの工作が体験できるワークショップを行う。

・ロボット大会

展示している操作体験ロボットを使つての競技大会を行う。

(5) クラブ活動

天文クラブ

プラネタリウムの特性や天体望遠鏡を活用し、四季を通じ、天文学の基礎や天文現象などを総合的かつ体験的に学習するクラブを開催する。

☆開催日時 毎月第1土曜日 9時45分～11時45分

☆開催場所 多目的研修室、宇宙劇場、青少年会館

☆開催回数 7回(平成25年6月～平成26年2月)

☆対 象 小学3年生～中学3年生

☆募集人数 30人

科学クラブ

実験・観察・工作を一人一人体験することで、自然に対するものの見方や考え方を養い、自然の様々な現象に対する興味を喚起するクラブを開催する。

- ☆開催日時 毎月第2・第4土曜日 10時～12時
- ☆開催場所 実験工房
- ☆開催回数 7回(平成25年6月～平成26年2月)
- ☆対象 小学3年生～中学3年生
- ☆募集人数 25人×2クラス(合計50人)

科学情報クラブ

科学に関することを、コンピュータを使って総合的に学習する。様々なソフトウェアを利用して、科学的な興味を喚起するクラブを開催する。

- ☆開催日時 毎月第1・3土曜日 10時～12時
- ☆開催場所 パソコン工房
- ☆開催回数 7回(平成25年6月～平成26年2月)
- ☆対象 小学3年生～中学3年生
- ☆募集人数 16人×2クラス(合計32人)

天文カレッジ

探求層である高校生以上の大人を対象に、天文学の話題や天体観察の手法を学習する講座を開催する。

- ☆開催場所 多目的研修室、宇宙劇場
- ☆開催回数 15回(平成25年5月～平成26年3月)
- ☆対象 一般(高校生以上)
- ☆募集人数 30人

3 その他の事業

星空案内人資格認定制度

豊かな知識と経験からおいしいワインを選んでくれるソムリエのように、星空や宇宙の楽しみ方を教えてくれる「星のソムリエ：星空案内人」を養成する。

- ☆開催場所 多目的研修室、宇宙劇場
- ☆開催回数 天文カレッジ、天文ボランティア専門研修講座、31回(通年)
- ☆対象 一般(高校生以上)

天文調査研究

プラネタリウム番組等の制作や運営などのほか、様々な事業を企画立案するうえで必要となる情報を収集し、調査研究を行う。

事業スタッフ調査研究

先進的な運営を行っている科学館等を調査研究し、当科学館のプラネタリウムやサイエンスショーの運営等の改善を図る。

展示調査研究

宇宙や科学に関する様々な情報の集積を図るとともに、関係機関との連携を強化し、展示更新、新たな事業の企画立案、そして既存事業の充実を図るための調査研究を行う。

情報調査研究

コンピュータやロボットなどに関する様々な情報の集積を図るとともに、関係機関等との連携を強化し、新たな事業の企画立案や既存事業の充実を図るための調査研究を行う。

情報発信・広報

インターネットなどの様々なメディアを使用し、科学館で開催するイベントや科学に関する様々な情報を発信する。

・科学館ニュース季刊誌発行 ・ホームページ更新 ・メールマガジン配信 ・利用案内チラシ発行
・学校利用の手引き発行 ・テレビ広告 ・ラジオ広告 ・新聞広告など

共催事業

<「宇宙の日記念」全国小・中学生作文絵画コンテスト>

「全国小・中学生作文絵画コンテスト」のうち、絵画の部について共催し募集から審査までを実施する。また、入選作品等の展示会を開催する。

☆部 門 小学生部門、中学生部門

☆募集期間 平成25年5月～7月

☆受賞作品展示期間 平成25年9月～10月(予定)

☆展示場所 展望ロビー

※主催：文部科学省、自然科学研究機構国立天文台、独立行政法人宇宙航空研究開発機構、日本科学未来館、(財)リモート・センシング技術センター、(財)日本宇宙フォーラム、(財)日本宇宙少年団、郡山市ふれあい科学館(公益財団法人郡山市文化・学び振興公社)

<こどもまつり>

☆開催日 平成25年5月5日

☆開催場所 開成山公園・にこにここども館

※主催：こどもまつり実行委員会

<星空環境ゼミ>

環境省などが主催する「全国星空継続観察」に参加し、参加者への普及活動及び観察結果報告を行う。

○環境パネル展

☆開催時期 平成25年6月

☆開催場所 展望ロビー

※主催：郡山市生活環境課

○全国星空継続観察

☆開催時期 平成25年8月、平成26年1月

☆開催場所 郡山駅西口駅前広場中央広場 ※屋外活動の実施状況による

※主催：環境省、(財)日本環境協会

<講師派遣>

各種機関等との連携事業として依頼により当館職員を講師として派遣し講座を開催する。

☆開催回数 月1回程度

＜コズミックカレッジ＞

宇宙をテーマにした科学教育を通して、科学の楽しさや不思議に触れ、科学への関心や探究意欲を喚起し、子どもたちが豊かな心を育むことを目的に行う科学教育プログラムであるコズミックカレッジを共催で開催する。

☆内 容 キッズコース

☆開催時期 平成25年11月10日(日)

☆開催場所 多目的研修室

☆対 象 小学1年生～4年生

☆参加人数 20組

※共催：独立行政法人宇宙航空研究開発機構

その他

＜郡山市少年少女発明クラブ＞

一般社団法人発明協会福島県支部と共催し「郡山市少年少女発明クラブ」を運営する。外部講師を招き、発明の楽しさを体験するクラブを開催する。

☆活動時期 平成25年5月～平成26年2月 毎月第3日曜日(予定) 10時～12時

＜日本宇宙少年団こおりやま分団＞

宇宙及び科学への探究心と向上心を促し、青少年の健全な育成に寄与するなどの目的で設立されて活動を行っている日本宇宙少年団こおりやま分団の活動をサポートする。

☆サポート 分団活動を共催し、職員を派遣

分団活動の発表の場の提供等

科学館実習

学芸員の資格取得を目指す学生を実習生として受け入れ、科学館における活動を通して、学芸員の資質を養うための実習を行う。

☆開催期間 平成25年9月(7日間)

科学館支援グループ

小中高校大学の先生方から構成されるグループが、ゴールデンウィークや夏休みに開催するサイエンスフェスティバルへ参加するほか、理科教材製作等の企画を行う。

☆開催期間 通年

ふくしまサイエンスぷらっとフォーム

福島大学を中心とし県内の公設研究機関と科学・博物館などが連携し科学普及を行う。当館も機関に加盟し、サイエンスフェスティバルなどで協力いただくとともに、他機関のイベントに参加し科学普及を行う。

☆開催期間 通年

4 ボランティア関係事業

スペースパークボランティアの会会員募集

当館の設置目的の一つである生涯学習活動の促進のため、ボランティアを広く市内外から募集し、活動の充実を図る。

ー 活動開始までの流れー

登録前オリエンテーション ➡ 一般研修 ➡ 専門研修 ➡ 活動開始

スペースパークボランティアの会活動計画

<案内サービスグループ>

- ☆継続活動内容 来館者への景色や歴史などの説明、紙芝居及び総合案内
- ☆発展活動内容 ボランティアガイドコーナーの設置及び景色・歴史ガイド
団体オリエンテーション開催
高齢者・身障者の観覧補助
出張活動の実施

<鉄道ジオラマグループ>

- ☆継続活動内容 鉄道ジオラマ各時代の鉄道車両及び郡山の歴史解説
- ☆発展活動内容 定例ジオラマショー解説補助及び前説

<科学グループ>

- ☆継続活動内容 実験・工作教室などの指導及び説明、実験展示物使用方法案内及び説明
サイエンスフェスティバルへの参加
- ☆発展活動内容 実験・工作教室のオリジナルメニューの充実
出張活動の実施

<天文グループ>

- ☆継続活動内容 天体観望会での案内及び望遠鏡操作補助
- ☆発展活動内容 観望会などの自主開催及び観望リーフレットの作成

※スペースパークボランティアの会全体で、「スペースパークボランティアまつり」を実施する。

<運営部会>

- ☆総務部 創立10周年記念行事の推進
組織力の安定及び強化を目指し、役員会や各運営部会の定期開催を行う。
- ☆企画部 会の親睦交流及び自己研鑽を目指し研修を行う。
- ☆広報部 ボランティアの会活動周知のための情報発信を行う。

V 予算・決算

1 平成24年度決算

収入

科 目	金 額	説 明
基本財産利息収入	19,183	
指定管理料収入	278,567,011	郡山市ふれあい科学館指定管理収入
施設利用料金収入	28,320,560	観覧料、ビュースコープ及び鉄道ジオラマ利用料
入場料収入	0	
販売収入	65,000	「ふくしま星・月の風景フォトコンテスト」作品写真集販売収入
販売手数料収入	0	
雑収入	537,675	福島大学サテライト・カフェ光熱水費
雑収入	3,456,271	雇用保険料・勤労者互助会費個人負担分・東京電力賠償金等
合 計	310,965,700	

収入合計 ￥310,965,700

支出

事業費(科学館施設管理)

科 目	金 額	説 明
給料手当	87,690,649	1 職員費 150,016,851
退職手当	0	
福利厚生費	21,714,861	2 各種業務委託 61,703,458
臨時雇賃金	40,611,341	
旅費交通費	514,600	3 光熱水費 23,862,305
通信運搬費	1,968,275	
消耗品費	2,090,031	4 施設管理費 23,021,681
修繕費	1,533,808	
印刷製本費	2,199,750	
賃借料	5,670,940	
諸謝金	213,500	
手数料	64,526	
租税公課	7,695,240	
負担金支出	59,902	
委託料	61,703,458	
燃料費	181,511	
光熱水費	23,862,305	
損害保険料	809,098	
食糧費	20,500	
合 計	258,604,295	

事業費(科学館主催事業)

科 目	金 額	説 明
臨時雇賃金	259,700	1 市民鑑賞型事業
旅費交通費	824,270	(1) 宇宙劇場番組投影
通信運搬費	105,000	(2) 音楽コンサート
消耗品費	8,327,720	(3) 鑑賞型企画
印刷製本費	5,915,787	2 市民参加型事業
賃借料	13,343,500	(1) 科学等普及
諸謝金	481,600	(2) 講演会等
手数料	4,095	(3) 作品募集
租税公課	4,000	(4) 参加型企画展
負担金支出	38,000	(5) クラブ活動
委託料	17,736,104	3 その他
広告宣伝費	5,121,690	(1) 調査研究事業
損害保険料	66,830	(2) 情報発信事業
食糧費	133,109	(3) 広報事業
		(4) 科学館ボランティア事業
		(5) 共催事業
		(6) その他
合 計	52,361,405	

支出合計 ￥310,965,700

収支差額 0

参考

使 用 料 名	金 額	説 明
ふれあい科学館観覧料	27,063,760	宇宙劇場74,525人 常設展示67,179人 ワンイヤーパスポート101人
ふれあい科学館使用料	1,256,800	ビュースコープ5,422回 鉄道模型運転装置3,573回
合 計	28,320,560	

2 平成25年度予算

収入

科 目	金 額	説 明
基本財産利息収入	16,000	基本財産利息収入
指定管理収入	304,042,000	郡山市ふれあい科学館指定管理収入
施設利用料金収入	28,476,000	観覧料、ビュースコープ及び鉄道ジオラマ利用料
雑収入	267,000	福島大学サテライト・カフェ光熱水費
雑収入	668,000	雇用保険料・勤労者互助会費個人負担分
合 計	333,469,000	

収入合計 ￥333,469,000

支出

事業費(科学館施設管理)

科 目	金 額	説 明
給料手当	91,880,000	1 職員費 158,590,000
福利厚生費	23,929,000	
臨時雇賃金	42,781,000	2 各種業務委託 64,422,000
旅費交通費	670,000	
通信運搬費	1,779,000	3 光熱水費 22,871,000
消耗品費	2,619,000	
修繕費	2,153,000	4 施設管理費 28,674,000
印刷製本費	2,828,000	
賃借料	8,562,000	
諸謝金	236,000	
手数料	75,000	
租税公課	8,523,000	
負担金支出	75,000	
委託費	64,422,000	
燃料費	218,000	
光熱水費	22,871,000	
損害保険料	893,000	
食糧費	43,000	
合 計	274,557,000	

事業費(科学館主催事業)

科 目	金 額	説 明
臨時雇賃金	965,000	1 市民鑑賞型事業
旅費交通費	889,000	(1) 宇宙劇場番組組投影
通信運搬費	584,000	(2) 音楽コンサート
消耗品費	8,493,000	(3) 鑑賞型企画
印刷製本費	7,617,000	2 市民参加型事業
賃借料	14,392,000	(1) 科学等普及
諸謝金	742,000	(2) 講演会等
手数料	18,000	(3) 作品募集
租税公課	37,000	(4) 参加型企画展
負担金支出	31,000	(5) クラブ活動
委託費	19,488,000	3 その他
広告宣伝費	5,372,000	(1) 調査研究事業
損害保険料	134,000	(2) 情報発信事業
食糧費	150,000	(3) 広報事業
		(4) 科学館ボランティア事業
		(5) 共催事業
		(6) 特別企画
		(7) その他
合 計	58,912,000	

支出合計 ￥333,469,000

Ⅵ 施設利用状況

1 月別入館者状況

平成24年4月～平成25年3月(平成24年度)

(単位:人)

月 別	展望ロビー	宇宙劇場	展示ゾーン	科学館入館者集計
平成24年 4 月	15,475	1,645	4,069	5,714
5 月	22,466	8,385	6,692	15,077
6 月	16,866	6,832	6,236	13,068
7 月	24,323	10,741	7,283	18,024
8 月	33,552	14,923	10,441	25,364
9 月	17,459	6,706	6,365	13,071
10月	15,856	4,211	4,551	8,762
11月	13,724	3,558	3,350	6,908
12月	22,325	4,612	5,513	10,125
平成25年 1 月	16,220	4,361	4,866	9,227
2 月	12,760	3,547	2,651	6,198
3 月	19,643	5,004	5,162	10,166
合 計	230,669	74,525	67,179	141,704

<参考>

(単位:人)

年度別	展望ロビー	宇宙劇場	展示ゾーン	科学館入館者集計
平成13年	361,887	67,640	68,698	136,338
平成14年	347,141	89,952	86,734	176,686
平成15年	305,314	79,136	78,487	157,623
平成16年	278,734	67,620	68,413	136,033
平成17年	257,694	69,388	63,546	132,934
平成18年	251,195	66,122	69,059	135,181
平成19年	267,202	71,209	75,619	146,828
平成20年	251,876	71,607	73,131	144,738
平成21年	246,237	74,607	72,371	146,978
平成22年	241,634	72,704	73,194	145,898
平成23年	235,383	56,689	89,070	145,759
平成24年	230,669	74,525	67,179	141,704
合 計	3,274,966	861,199	885,501	1,746,700

2 施設別入館者状況

宇宙劇場

(単位:人)

		平日				土曜・日曜・祝日					合 計				
月	日数	個人	1日平均	団体	1日平均	日数	個人	1日平均	団体	1日平均	日数	個人	1日平均	団体	1日平均
4月	0	0	0	0	0	3	1,645	548	0	0	3	1,645	548	0	0
5月	14	816	58	957	68	12	6,562	547	50	4	26	7,378	284	1,007	39
6月	17	806	47	3,817	225	9	1,942	216	267	30	26	2,748	106	4,084	157
7月	18	2,775	154	2,298	128	10	5,189	519	479	48	28	7,964	284	2,777	99
8月	22	8,727	397	1,046	48	8	5,150	644	0	0	30	13,877	463	1,046	35
9月	15	737	49	3,023	202	11	2,765	251	181	16	26	3,502	135	3,204	123
10月	17	691	41	1,761	104	9	1,515	168	244	27	26	2,206	85	2,005	77
11月	17	613	36	973	57	9	1,702	189	270	30	26	2,315	89	1,243	48
12月	16	1,033	65	358	22	11	3,062	278	159	14	27	4,095	152	517	19
1月	14	1,492	107	369	26	9	2,393	266	107	12	23	3,885	169	476	21
2月	15	644	43	524	35	9	2,358	262	21	2	24	3,002	125	545	23
3月	17	1,280	75	172	10	11	3,552	323	0	0	28	4,832	173	172	6
合計	182	19,614	108	15,298	84	111	37,835	341	1,778	16	293	57,449	196	17,076	58

展示ゾーン

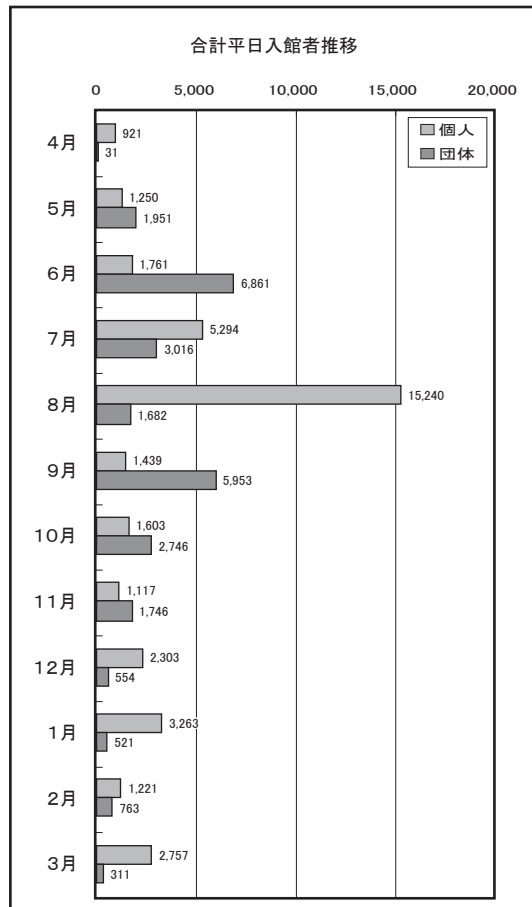
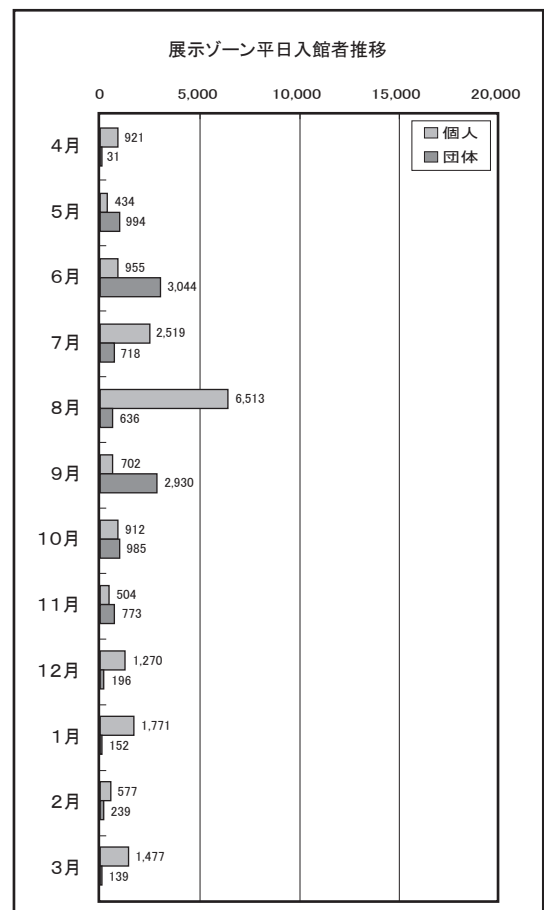
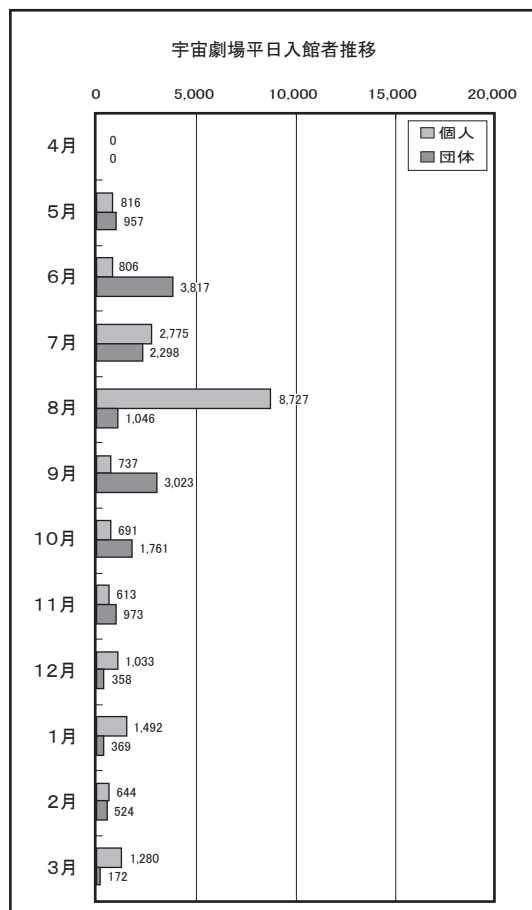
(単位:人)

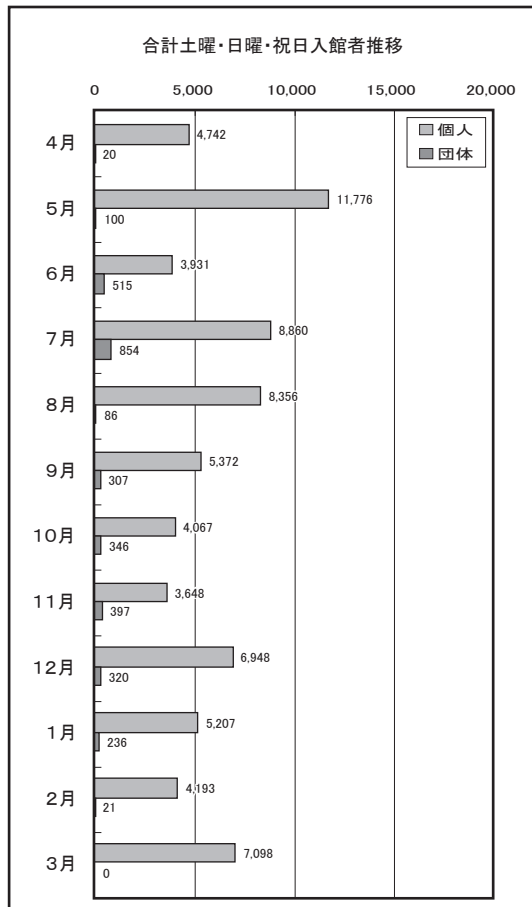
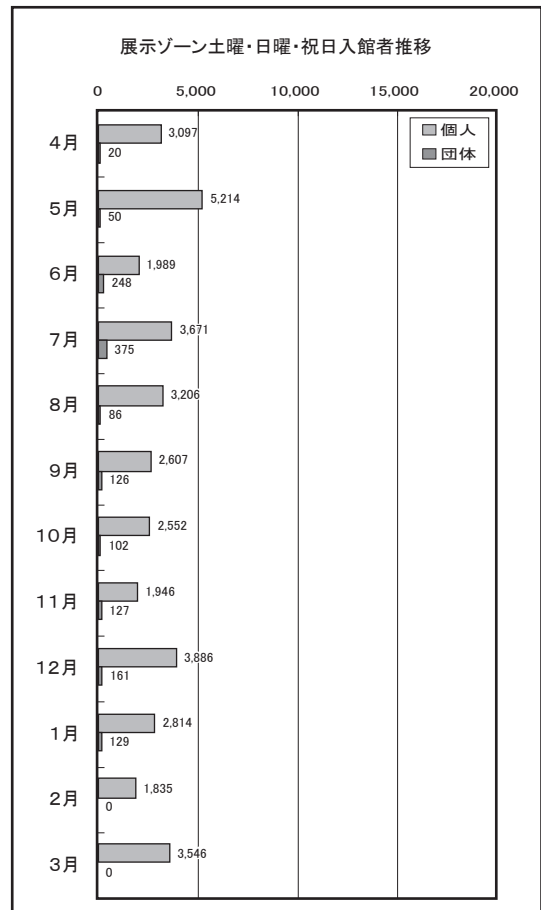
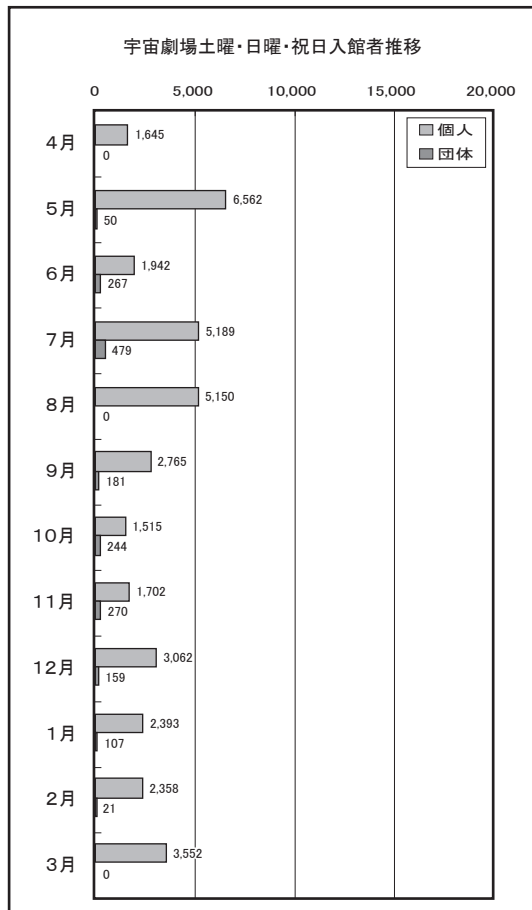
		平日				土曜・日曜・祝日					合 計				
月	日数	個人	1日平均	団体	1日平均	日数	個人	1日平均	団体	1日平均	日数	個人	1日平均	団体	1日平均
4月	16	921	58	31	2	10	3,097	310	20	2	26	4,018	155	51	2
5月	14	434	31	994	71	12	5,214	435	50	4	26	5,648	217	1,044	40
6月	17	955	56	3,044	179	9	1,989	221	248	28	26	2,944	113	3,292	127
7月	18	2,519	140	718	40	10	3,671	367	375	38	28	6,190	221	1,093	39
8月	22	6,513	296	636	29	8	3,206	401	86	11	30	9,719	324	722	24
9月	15	702	47	2,930	195	11	2,607	237	126	11	26	3,309	127	3,056	118
10月	17	912	54	985	58	9	2,552	284	102	11	26	3,464	133	1,087	42
11月	17	504	30	773	45	9	1,946	216	127	14	26	2,450	94	900	35
12月	16	1,270	79	196	12	11	3,886	353	161	15	27	5,156	191	357	13
1月	14	1,771	127	152	11	9	2,814	313	129	14	23	4,585	199	281	12
2月	15	577	38	239	16	9	1,835	204	0	0	24	2,412	101	239	10
3月	17	1,477	87	139	8	11	3,546	322	0	0	28	5,023	179	139	5
合計	198	18,555	94	10,837	55	118	36,363	308	1,424	12	316	54,918	174	12,261	39

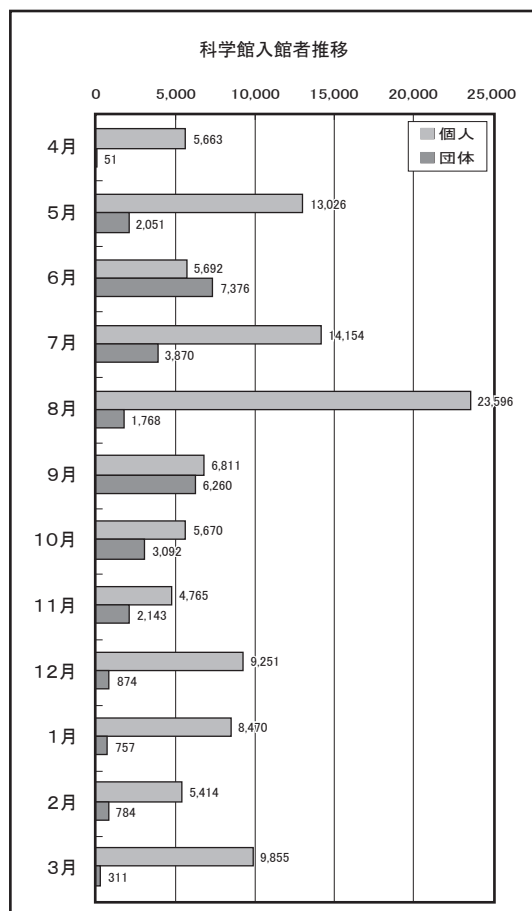
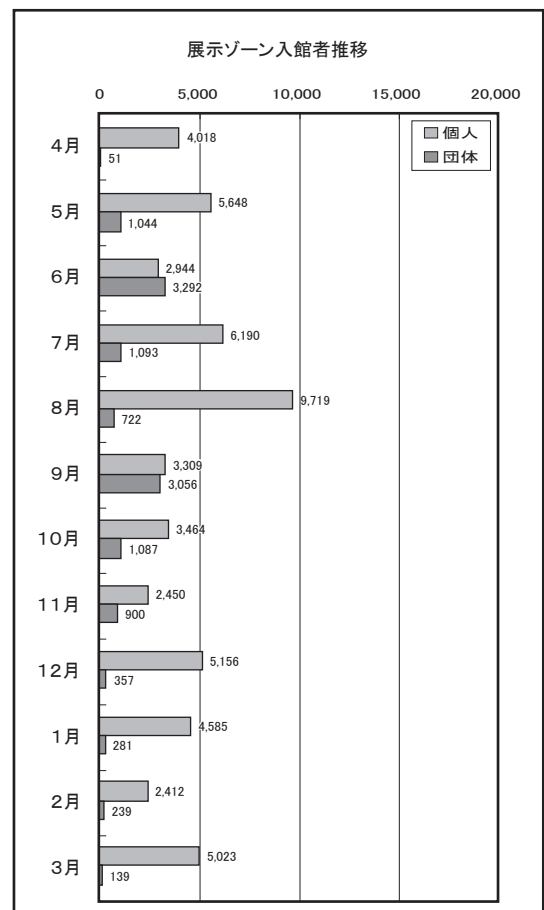
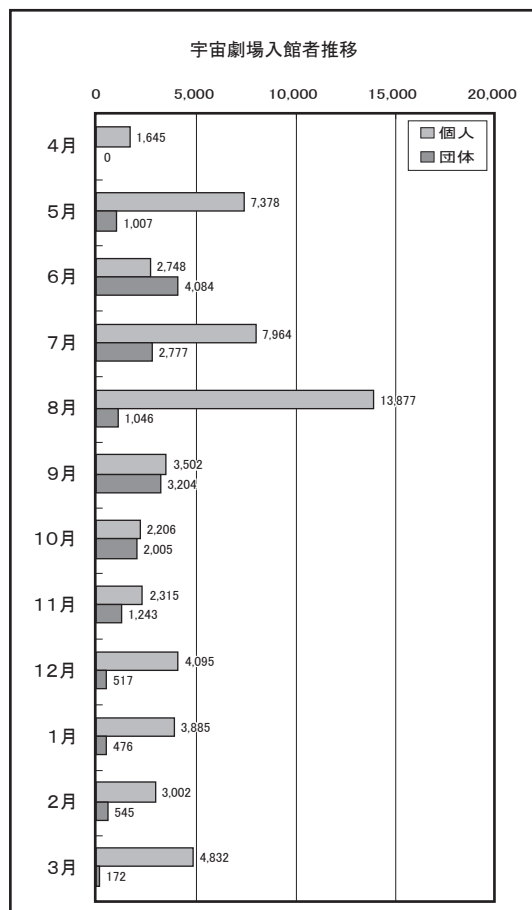
合計

(単位:人)

		平日				土曜・日曜・祝日					合 計				
月	日数	個人	1日平均	団体	1日平均	日数	個人	1日平均	団体	1日平均	日数	個人	1日平均	団体	1日平均
4月	16	921	58	31	2	10	4,742	474	20	2	26	5,663	218	51	2
5月	14	1,250	89	1,951	139	12	11,776	981	100	8	26	13,026	501	2,051	79
6月	17	1,761	104	6,861	404	9	3,931	437	515	57	26	5,692	219	7,376	284
7月	18	5,294	294	3,016	168	10	8,860	886	854	85	28	14,154	506	3,870	138
8月	22	15,240	693	1,682	76	8	8,356	1,045	86	11	30	23,596	787	1,768	59
9月	15	1,439	96	5,953	397	11	5,372	488	307	28	26	6,811	262	6,260	241
10月	17	1,603	94	2,746	162	9	4,067	452	346	38	26	5,670	218	3,092	119
11月	17	1,117	66	1,746	103	9	3,648	405	397	44	26	4,765	183	2,143	82
12月	16	2,303	144	554	35	11	6,948	632	320	29	27	9,251	343	874	32
1月	14	3,263	233	521	37	9	5,207	579	236	26	23	8,470	368	757	33
2月	15	1,221	81	763	51	9	4,193	466	21	2	24	5,414	226	784	33
3月	17	2,757	162	311	18	11	7,098	645	0	0	28	9,855	352	311	11
合計	198	38,169	193	26,135	132	118	74,198	629	3,202	27	316	112,367	356	29,337	93







3 宇宙劇場区分別入館者状況

(単位:人)

観覧者	個 人						
	幼児	小中学生	高校 大学生	一般 (65歳未満)	一般 (65歳以上)	その他	計
4 月	100	504	89	837	71	44	1,645
5 月	383	1,892	495	3,802	345	461	7,378
6 月	191	521	170	1,380	202	284	2,748
7 月	791	2,409	380	3,458	364	562	7,964
8 月	1,488	4,438	757	5,843	565	786	13,877
9 月	275	698	335	1,706	178	310	3,502
10月	173	401	169	1,003	136	324	2,206
11月	166	430	264	1,103	131	221	2,315
12月	286	890	554	1,880	222	263	4,095
1 月	401	813	362	1,831	211	267	3,885
2 月	289	431	310	1,551	154	267	3,002
3 月	474	916	585	2,222	326	309	4,832
合 計	5,017	14,343	4,470	26,616	2,905	4,098	57,449

(単位:人)

観覧者	団 体							合 計
	幼児	小中学生	高校 大学生	一般 (65歳未満)	一般 (65歳以上)	その他	計	
4 月	0	0	0	0	0	-	0	1,645
5 月	50	810	30	66	51	-	1,007	8,385
6 月	861	2,155	683	42	343	-	4,084	6,832
7 月	1,096	1,281	17	370	13	-	2,777	10,741
8 月	232	577	1	224	12	-	1,046	14,923
9 月	245	2,692	24	169	74	-	3,204	6,706
10月	719	817	0	227	242	-	2,005	4,211
11月	177	823	67	129	47	-	1,243	3,558
12月	143	190	20	102	62	-	517	4,612
1 月	103	320	0	53	0	-	476	4,361
2 月	232	296	0	17	0	-	545	3,547
3 月	0	134	0	15	23	-	172	5,004
合 計	3,858	10,095	842	1,414	867	-	17,076	74,525

(単位:団体)

団体数	幼児	小中学生	高校 大学生	一般 (65歳未満)	一般 (65歳以上)	その他	計
4 月	0	0	0	0	0	0	0
5 月	2	11	1	1	1	1	17
6 月	17	54	1	0	0	0	72
7 月	27	11	0	1	0	16	55
8 月	4	8	0	1	0	13	26
9 月	8	47	1	0	2	3	61
10月	15	12	0	5	2	1	35
11月	5	16	1	0	0	3	25
12月	2	3	1	1	1	4	12
1 月	1	4	0	0	0	2	7
2 月	6	7	0	0	0	1	14
3 月	0	1	0	0	0	4	5
合 計	87	174	5	9	6	48	329

4 展示ゾーン区分別入館者状況

(単位:人)

観覧者	個 人				
	小中学生	高校 大学生	一般 (65歳未満)	その他	計
4 月	1,508	65	1,590	855	4,018
5 月	1,936	91	2,418	1,203	5,648
6 月	736	42	992	1,174	2,944
7 月	1,990	70	2,168	1,962	6,190
8 月	3,629	212	3,788	2,090	9,719
9 月	985	73	1,205	1,046	3,309
10月	733	43	1,231	1,457	3,464
11月	664	80	948	758	2,450
12月	1,607	113	2,085	1,351	5,156
1 月	1,342	75	1,865	1,303	4,585
2 月	524	66	890	932	2,412
3 月	1,653	141	1,878	1,351	5,023
合 計	17,307	1,071	21,058	15,482	54,918

(単位:人)

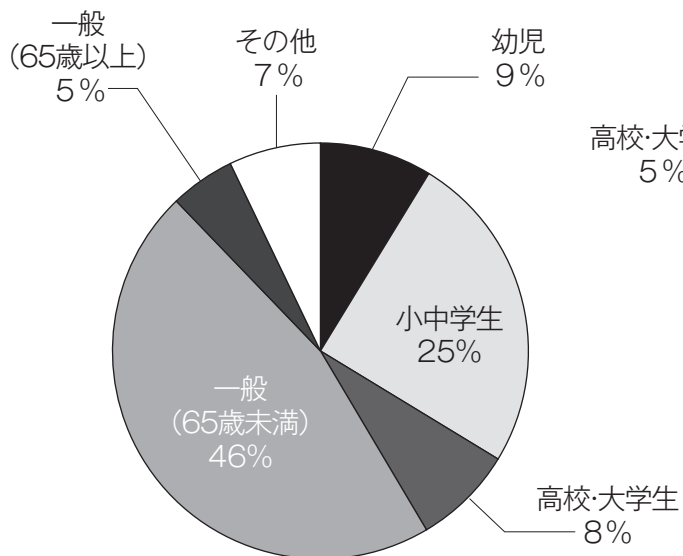
観覧者	団 体				合 計
	小中学生	高校 大学生	一般 (65歳未満)	計	
4 月	31	0	20	51	4,069
5 月	940	0	104	1,044	6,692
6 月	3,051	0	241	3,292	6,236
7 月	862	0	231	1,093	7,283
8 月	498	111	113	722	10,441
9 月	2,897	0	159	3,056	6,365
10月	979	0	108	1,087	4,551
11月	800	70	30	900	3,350
12月	290	0	67	357	5,513
1 月	246	0	35	281	4,866
2 月	239	0	0	239	2,651
3 月	134	0	5	139	5,162
合 計	10,967	181	1,113	12,261	67,179

(単位:団体)

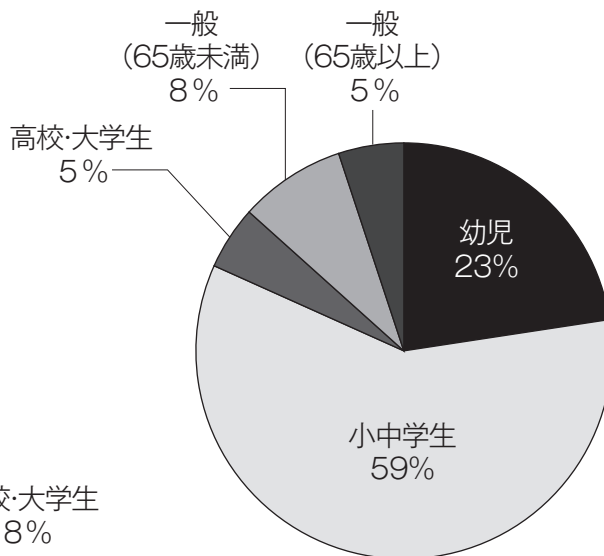
団体数	小中学生	高校 大学生	一般 (65歳未満)	その他	計
4 月	1	0	0	1	2
5 月	12	0	2	0	14
6 月	56	0	0	0	56
7 月	10	0	1	13	24
8 月	12	0	0	7	19
9 月	50	0	0	3	53
10月	12	0	3	0	15
11月	17	1	0	1	19
12月	4	0	0	6	10
1 月	3	0	0	3	6
2 月	6	0	0	0	6
3 月	1	0	0	3	4
合 計	184	1	6	37	228

宇宙劇場区分別入館者状況

個人入館者数分類

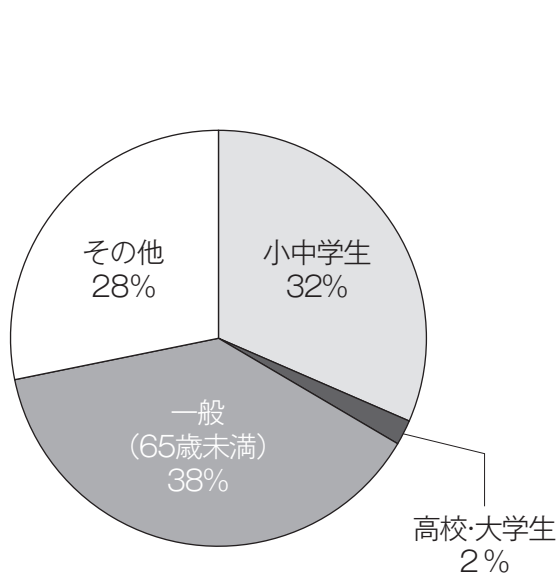


団体入館者数分類

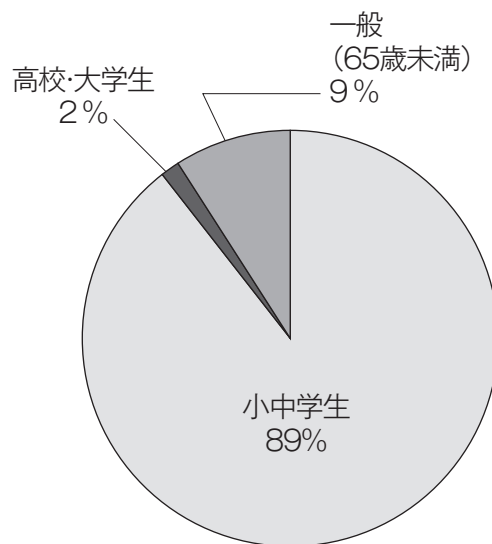


展示ゾーン区分別入館者状況

個人入館者数分類



団体入館者数分類



【平成24年度施設利用状況の結果分析】

1 月別入館者

☆有料ゾーン入館者数(平成24年度目標入館者数:140,000人)

○平成24年度：141,704人(前年度：145,759人)

○前年度比：約2.8%減(4,055人減)

○目標比：約1.2%増(1,704人増)

☆展望ロビー入館者数

○平成24年度：230,669人(前年度：235,383人)

○前年度比：約2.0%減(4,714人減)

☆月別平均入館者数

○有料ゾーン：11,809人(前年度：12,147人)

○展望ロビー：19,222人(前年度：19,615人)

○展望ロビーから有料ゾーンへの入館率：約61.4%(前年度比：0.5%減 ※前年度：約61.9%)

☆有料ゾーン月別入館者割合

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
4%	10.6%	9.2%	12.7%	17.9%	9.2%	6.2%	4.9%	7.1%	6.5%	4.4%	7.2%

☆有料ゾーン月別入館者前年度比

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
610.5%	200.5%	175.4%	75.3%	113.9%	106.3%	36.8%	77.8%	63.9%	57.2%	275.5%	231.1%

○増加理由

月	有料ゾーン増加の主な理由
4月	・平成23年度は東日本大震災の影響により4月28日まで休館し、平成23年4月の入館者が著しく減少したため、平成24年度は平成23年度と比べ相対的に入館者が増加することとなりました。
5月 6月	・プラネタリウムをリニューアルしたことにより、宇宙劇場の入館者が著しく増加しました。
8月	・宇宙劇場で夏休み期間中に放映したドーム映像番組が好評であったため、入館者が増加しました。
9月	・平成23年度が東日本大震災の影響により例年よりも9月の入館者が減少したため、平成24年度は平成23年度と比べ相対的に入館者が増加することとなりました。
2月 3月	・平成23年度はプラネタリウム機器のリニューアルのため2月・3月の期間宇宙劇場を休館にしたことにより例年よりも著しく入館者が減少したため、平成24年度は平成23年度と比べ相対的に入館者が増加することとなりました。 ・イブニングアワー特別版「アラスカからオーロラ生中継」が好評を博し例年より入館者が増加しました。

○減少理由

月	有料ゾーン減少の主な理由
7月	・平成23年度は開館10周年記念事業「『はやぶさがやってきた』～はやぶさ帰還カプセル特別展示～」を開催したことにより例年よりも7月の入館者が増加したため、平成24年度は平成23年度と比べ相対的に入館者が減少することとなりました。
10月	・平成23年度は開館10周年記念事業の「科学の祭典 in こおりやま」や「鉄道フェスティバル きかんしゃトーマスとなかまたち」を開催したことにより、例年よりも10月の入館者が増加したため、平成24年度は平成23年度と比べ相対的に入館者が減少することとなりました。
11月	・平成23年度は東日本大震災の影響により学校行事が例年よりも遅れて実施されたことにより、例年11月前に来館していた団体が11月に来館することとなり例年よりも11月の入館者が増加したため、平成24年度は平成23年度と比べ相対的に入館者が減少することとなりました。
12月 1月	・平成23年度は開館10周年記念事業「ドラえもん科学みらい展」を開催したことにより、例年よりも1月・2月の入館者が増加したため、平成24年度は平成23年度と比べ相対的に入館者が減少することとなりました。

2 施設別(宇宙劇場／展示ゾーン)入館者

☆宇宙劇場入館者数(前年度：56,689人)

○平成24年度：74,525人 ○前年度比：約31.5%増

☆展示ゾーン入館者数(前年度：89,070人)

○平成24年度：67,179人 ○前年度比：約24.6%減

平成24年度は開館10周年記念事業を開催したことにより、東日本大震災の影響があったにもかかわらず、展示ゾーンの来館者が著しく増加したため、今年度は平成23年度と比べ相対的に入館者が減少することとなりました。

3 来館形態別(個人／団体)入館者

☆個人利用者数(前年度：119,025人)

○平成24年度：112,367人 ○前年度比：約5.6%減

☆団体利用者数(前年度：26,734人)

○平成24年度：29,337人 ○前年度比：約9.7%増

☆来館形態比

○個人：約79.3%(前年度：約81.7%) ○団体：約20.7%(前年度：約18.3%)

☆利用傾向(平日／土・日・祝)

○平日：約44.9%(前年度：約44.3%) ○土・日・祝：約55.1%(前年度：約55.7%)

平成23年度は「原発事故」の影響により、市(県)外からの団体利用(学校等)者が大幅に減少しました。平成24年度は、県外からの団体利用者の状況は平成23年度とほぼ同じ状況ですが、活発な訪問営業活動により、県内団体の利用には回復の兆しが見られます。

4 区分別(幼児／小・中学生／高校・大学生／一般)入館者

☆宇宙劇場区分別入館者数(割合 ※総数：74,525人)

○幼児：8,875人(約11.9%) ○小・中学生：24,438人(約32.8%)

内訳＝個人：5,017人 団体：3,858人 内訳＝個人：14,343人 団体：10,095人

○高校・大学生：5,312人(約7.1%) ○一般(65歳未満)：28,030人(約37.6%)

内訳＝個人：4,470人 団体：842人 内訳＝個人：26,616人 団体：1,414人

○一般(65歳以上)：3,772人(約5.0%) ○その他(障がい者など)：4,098人(約5.5%)

内訳＝個人：2,905人 団体：867人 内訳＝個人：4,098人 団体：0人

☆展示ゾーン区分別入館者数(割合 ※総数：67,179人)

○小・中学生：28,274人(約42.1%) ○高校・大学生：1,252人(約1.9%)

内訳＝個人：17,307人 団体：10,967人 内訳＝個人：1,071人 団体：181人

○一般(65歳未満)：22,171人(約33.0%) ○その他(幼児、障がい者など)：15,482人(約23.0%)

内訳＝個人：21,058人 団体：1,113人 内訳＝個人：15,482人 団体：0人

有料ゾーン(宇宙劇場、展示ゾーン)の入館者を区分別に見た場合、例年どおり、個人利用では両施設とも「一般(65歳未満)」、団体利用では「小・中学生」の利用が最も多い結果となりました。

しかし、両施設の個人と団体を含めた全体では、「小中学生」が最も多く約37.2%、次いで「一般(65歳未満)」約35.4%と、例年どおり小中学生が2%程度多い結果となりました。

5 総括

東日本大震災による東京電力福島第一原子力発電所の事故の影響により、県外の団体や会津地方の団体の利用は震災前に比べて依然として低調ですが、プラネタリウム機器のリニューアル効果により、ゴールデンウィーク期間中の宇宙劇場が毎回満席になるなど、5月・6月は例年以上の入館者がありました。

一方7月は、平成23年7月に比べ入館者が著しく減少しましたが、これは、平成23年7月に「『はやぶさがやってきた』～はやぶさ帰還カプセル特別展示～」を開催したために、平成23年7月の入館者が例年に比べ著しく増加したことによるものです。

また、10月も平成23年10月に比べて入館者が著しく減少しましたが、これは、開館10周年記念事業「科学の祭典 in こおりやま」や「鉄道フェスティバル きかんしゃトーマスとなかまたち」を開催したことにより、この二つの事業だけで17,000人を超える入館者があり、平成23年10月の入館者が例年に比べ著しく増加したことによるものです。

12月と1月も平成23年12月と平成24年1月に比べて入館者が著しく減少しましたが、これは、開館10周年記念事業「ドラえもんの科学みらい展」を開催したために、この企画展だけで18,000人を超える入館者があり、平成23年12月と平成24年1月の入館者が例年に比べ著しく増加したことによるものです。

2月・3月は、イブニングアワー特別版「アラスカからオーロラ生中継」を放映したところ、放映回が毎回満席になり、追加放映をするなどしたことにより例年よりも入館者が増加し、平成19年度から継続している年間入館者14万人の記録を維持することができました。

平成25年度になり、会津地区の学校団体の利用も徐々に増えてきており、平成25年度は平成24年度にも増して、積極的な訪問営業活動と魅力ある事業の提供に努め、一日も早く東日本大震災前の入館者数へ回復するよう職員一丸となって努力をしてまいります。

Ⅶ その他

1 条例・規則

(1) 条例

○郡山市ふれあい科学館条例

平成13年3月23日

郡山市条例第33号

(設置)

第1条 地方自治法(昭和22年法律第67号。以下「法」という。)第244条第1項の規定に基づき、市民の科学に関する知識と教養の向上を図り、もって文化の発展に寄与するため、郡山市ふれあい科学館(以下「科学館」という。)を設置する。

(名称及び位置)

第2条 科学館の名称及び位置は、次のとおりとする。

名 称	位 置
郡山市ふれあい科学館	郡山市駅前二丁目11番1号

(管理)

第3条 科学館は、郡山市教育委員会(以下「教育委員会」という。)がこれを管理する。

(事業)

第4条 科学館は、次に掲げる事業を行う。

- (1) 科学技術に関する資料及び装置を展示し、並びに利用に供すること。
- (2) プラネタリウムその他の投影装置による天体運行等の投影を行うこと。
- (3) 科学技術及び天文等に関する講習会、講演会等を開催すること。
- (4) 科学技術に関する調査研究を行い、及び科学情報等を提供すること。
- (5) 前各号に掲げるもののほか、設置の目的を達成するために必要な事業

(開館時間)

第5条 科学館の開館時間は、午前10時から午後5時45分(入館は、午後5時)までとする。ただし、科学館の展望ロビーの開館時間は、午前10時から午後8時までとする。

2 前項の規定にかかわらず、教育委員会が必要と認めたときは、同項に規定する開館時間を臨時に変更することができる。

(休館日)

第6条 科学館の休館日は、次に掲げるとおりとする。ただし、展望ロビーは、教育委員会が特に支障がないと認めるときは、科学館の休館日に入館することができる。

- (1) 月曜日(その日が国民の祝日に関する法律(昭和23年法律第178号)に規定する休日にあたる場合は、その翌日とする。)
- (2) 1月1日から1月4日まで及び12月28日から12月31日までの日

2 前項の規定にかかわらず、教育委員会が必要と認めたときは、同項に規定する休館日を臨時に変更し、又は臨時に設けることができる。

(観覧料等)

第7条 科学館の常設展示室又は宇宙劇場に入場し、展示物又は天体運行等の映像を観覧しようとする者は、別表第1に定める観覧料を納入しなければならない。

2 科学館の附属設備等を使用しようとする者は、別表第2に定める使用料を納入しなければならない。

(観覧料の免除)

第8条 市長は、次の各号のいずれかに該当するときは、観覧料の全部又は一部を免除することができる。

- (1) 市(市の機関を含む。)が主催する事業の活動として観覧するとき。
- (2) その他市長が特に観覧料を免除する必要があると認めるとき。

(観覧料等の不返還)

第9条 既納の観覧料及び使用料(以下「観覧料等」という。)は、これを返還しない。ただし、次の各号のいずれかに該当するときは、その全部又は一部を返還することができる。

- (1) 観覧又は使用をしようとする者の責めによらない理由により観覧又は使用ができなくなったとき。
- (2) その他教育委員会が特別の理由があると認めたとき。

(利用の制限)

第10条 教育委員会(第12条の規定により指定管理者(法第244条の2第3項に規定する指定管理者をいう。以下同じ。))に管理を行わせる場合にあっては、指定管理者)は、科学館に入館しようとする者又は入館している者が次の各号のいずれかに該当すると認めたときは、入館を拒み、又は退館を命ずることができる。

- (1) 公益を害し、又は善良な風俗を乱すおそれがあるとき。
- (2) 科学館の施設、設備、資料等を汚損し、損傷し、若しくは滅失したとき又はこれらのおそれがあるとき。
- (3) この条例又はこれに基づく規則に違反したとき又はそのおそれがあるとき。
- (4) 前3号に掲げる場合のほか、管理運営上適当でない行為をしたとき又はそのおそれがあるとき。

(入館者の賠償責任)

第11条 科学館に入館した者は施設、設備、資料等を汚損し、損傷し、又は滅失したときは、その損害を賠償しなければならない。ただし、教育委員会がやむを得ない理由があると認めたときは、その額を減額し、又は免除することができる。

(管理の代行)

第12条 教育委員会は、科学館の管理について、次に掲げる業務を指定管理者に行わせることができる。

- (1) 第4条に規定する事業の実施に関する業務
- (2) 第10条に規定する利用の制限に関する業務
- (3) 第19条に規定する利用料金に関する業務
- (4) 施設、設備、資料等の維持管理に関する業務

(指定管理者の募集の公告等)

第13条 教育委員会は、前条の規定により指定管理者に科学館の管理を行わせようとするときは、あらかじめ規則で定める事項を公告するものとする。ただし、指名する法人その他の団体又は指名する複数の団体のうちから選定したものを指定管理者として指定しようとする場合は、この限りでない。

(指定管理者の申請)

第14条 指定管理者の指定を受けようとする団体は、規則で定めるところにより、申請書に科学館の管理の実施に関する計画書(以下「事業計画書」という。)等を添付して教育委員会に申請しなければならない。

2 指定管理者の指定を受けることができる団体は、次の各号に掲げる要件のいずれにも該当する

団体とする。ただし、法第244条の2第11項の規定により指定管理者の指定を取り消された団体にあつては、前条の規定による公告又は指名の日において、当該取消しの日の翌日から起算して2年を経過していなければならない。

- (1) 地方自治法施行令(昭和22年政令第16号)第167条の4に規定する者に該当しないこと。
- (2) 会社更生法(平成14年法律第154号)、民事再生法(平成11年法律第225号)等による更生手続又は再生手続を行っていないこと。
- (3) 郡山市税を滞納していないこと。
- (4) その他規則で定める要件

(指定管理者の選定)

第15条 教育委員会は、前条第1項の規定による申請があつたときは、事業計画書等の内容を次に掲げる基準により審査し、科学館の管理を行うことについて適当と認める団体を、指定管理者の候補となる団体に選定するものとする。

- (1) 科学館における市民の平等な利用を確保できるものであること。
- (2) 科学館の効用を最大限に発揮できるものであること。
- (3) 科学館の管理に係る経費の節減を図ることができるものであること。
- (4) 科学館の管理を安定して行うために必要な人的能力、物的能力その他の経営上の基盤を有していること。
- (5) 申請した団体が科学館の管理に伴い作成し、又は取得した個人情報の保護のための適切な措置を講じることができるものであること。
- (6) その他教育委員会が科学館の設置の目的を効果的に達成するために必要があると認めて定める基準

2 教育委員会は、前項の規定により選定をしたときは、速やかにその結果を前条第1項の規定により申請した団体に通知しなければならない。

(指定管理者の指定)

第16条 教育委員会は、前条第1項の規定により選定した指定管理者の候補となる団体について、議会の議決を経たときは、当該団体を指定管理者に指定するものとする。

2 教育委員会は、前項の規定により指定管理者を指定する場合において、科学館の管理運営上必要な条件を付することができる。

(協定の締結)

第17条 指定管理者は、指定管理者の指定の期間の開始前に、科学館の管理に関し、規則で定める事項について教育委員会と協定を締結しなければならない。

(事業報告書の提出)

第18条 法第244条の2第7項の規定による事業報告書の提出は、毎年度終了後60日(同条第11項の規定により指定管理者の指定を取り消された団体にあつては、その取り消された日の翌日から起算して60日)以内にしなければならない。

(利用料金)

第19条 観覧又は使用をしようとする者は、指定管理者に対し、科学館の利用に係る料金(以下「利用料金」という。)を納入しなければならない。この場合において、第7条の規定は適用しない。

- 2 利用料金は、指定管理者の収入として収受させる。
- 3 利用料金の額は、観覧料等の額の範囲内において、指定管理者があらかじめ教育委員会の承認を得てそれぞれ定める。
- 4 指定管理者は、前項の規定により観覧料の額の範囲内において利用料金の額を定めたときは、

第8条の規定、郡山市障害者の利用に係る公の施設の使用料の免除に関する条例(平成11年郡山市条例第24号)の規定及びこれらの規定に基づく規則の規定並びに第9条の規定及びこれに基づく規則の規定に準じて、当該利用料金の免除及び返還の業務を行わなければならない。この場合において、これらの規定中「観覧料」又は「観覧料及び使用料」とあるのは「利用料金」と、「市長」又は「教育委員会」とあるのは「指定管理者」と読み替えるものとする。

5 指定管理者は、第3項の規定により使用料の額の範囲内において利用料金の額を定めたときは、第9条の規定及びこれに基づく規則の規定に準じて、当該利用料金の返還の業務を行わなければならない。この場合において、これらの規定中「観覧料及び使用料」とあるのは「利用料金」と、「教育委員会」とあるのは「指定管理者」と読み替えるものとする。

6 指定管理者は、第3項の規定により利用料金の額を定めたときは、利用料金を当該指定管理者の収入として収受する旨及びその額又は算出方法等について科学館に入館する者の見やすい方法により公表しなければならない。

(指定等の公告)

第20条 教育委員会は、次に掲げるときは、その旨を公告しなければならない。

- (1) 第16条第1項の規定により指定管理者を指定したとき。
- (2) 前条第3項の規定により利用料金の額を承認したとき。
- (3) 法第244条の2第11項の規定により指定管理者の指定を取り消し、又は期間を定めて管理の業務の全部若しくは一部の停止を命じたとき。
- (4) 前3号の規定により公告した事項に変更があったとき。

(開館時間等の変更)

第21条 指定管理者は、必要があると認めるときは、あらかじめ教育委員会の承認を得て、第5条に規定する開館時間を臨時に変更し、又は第6条に規定する休館日を臨時に変更し、若しくは臨時に設けることができる。

(事業計画書等の内容の変更等)

第22条 指定管理者は、第14条第1項の規定により提出した事業計画書その他規則で定める書類の内容について変更しようとするときは、あらかじめ教育委員会の承認を受けなければならない。ただし、規則で定める軽微な事項を変更しようとするときは、この限りでない。

2 指定管理者は、前項ただし書に規定する軽微な事項を変更したときは、教育委員会にその旨を届け出なければならない。

(秘密保持義務)

第23条 指定管理者による管理の業務に従事している者又は従事していた者は、科学館の管理の業務に関して知り得た秘密をみだりに他人に知らせ、又は不当な目的に利用してはならない。

(指定管理者の原状回復義務)

第24条 指定管理者は、指定管理者の指定の期間が満了したとき又は法第244条の2第11項の規定により指定管理者の指定を取り消され、若しくは期間を定めて管理の業務の全部若しくは一部の停止を命じられたときは、直ちに施設、設備、資料等を原状に回復し、教育委員会に引き渡さなければならない。ただし、教育委員会の承認を得たときは、この限りでない。

(指定管理者の賠償責任)

第25条 指定管理者は、施設、設備、資料等を汚損し、損傷し、又は滅失したときは、その損害を賠償し、又はこれを原状に回復しなければならない。ただし、教育委員会が相当の理由があると認めたときは、その全部又は一部を免除することができる。

(委任)

第26条 この条例の施行について必要な事項は、教育委員会が規則で定める。

附 則

(施行期日)

- 1 この条例は、規則で定める日から施行する。
(平成13年6月1日教委規則第11号で平成13年10月1日から施行)
(郡山市障害者の利用に係る公の施設の使用料の免除に関する条例の一部改正)
- 2 郡山市障害者の利用に係る公の施設の使用料の免除に関する条例(平成11年郡山市条例第24号)の一部を次のように改正する。

〔次のよう〕略

附 則(平成15年郡山市条例第26号)

この条例は、平成15年4月1日から施行する。

附 則(平成17年郡山市条例第68号)

- 1 この条例は、公布の日から施行する。
- 2 この条例の施行の際現に改正前の第10条の規定により委託している郡山市ふれあい科学館の管理及び運営は、改正後の第16条第1項の規定により指定された指定管理者の指定の期間が開始する日までの間は、なお従前の例による。

*別表以下省略

(2) 規則

○郡山市ふれあい科学館条例施行規則

平成13年6月1日

郡山市教育委員会規則第12号

(趣旨)

第1条 この規則は、郡山市ふれあい科学館条例(平成13年郡山市条例第33号。以下「条例」という。)の施行について必要な事項を定めるものとする。

(観覧券の交付)

第2条 郡山市教育委員会(以下「教育委員会」という。条例第16条第1項の規定により指定された指定管理者の指定の期間中にあっては、指定管理者)は、条例第7条第1項の規定により観覧料(指定管理者の指定の期間中にあっては、条例第19条第1項に規定する利用料金)を納入した者に対して郡山市ふれあい科学館観覧券(第1号様式)を交付する。

(観覧料の免除)

第3条 条例第8条の規定により免除することができる観覧料の額は、次の各号に掲げる区分に応じ、当該各号に定めるとおりとする。

- (1) 条例第8条第1号に規定する場合 当該観覧料の全額
- (2) 条例第8条第2号に規定する場合 教育委員会が認める額

2 前項の規定により観覧料の免除を受けようとする者は、あらかじめ郡山市ふれあい科学館観覧料免除申請書(第2号様式)を教育委員会に提出しなければならない。

(観覧料等の返還)

第4条 条例第9条ただし書の規定により返還する観覧料等の額は、次の各号に掲げる区分に応じ、当該各号に定めるとおりとする。

- (1) 条例第9条第1号に規定する場合 当該観覧料等の全額
- (2) 条例第9条第2号に規定する場合 教育委員会が認める額

2 前項に規定する観覧料等の返還を受けようとする者は、郡山市ふれあい科学館観覧料等返還請求書(第3号様式)を、教育委員会に提出しなければならない。

(遵守事項)

第5条 郡山市ふれあい科学館(以下「科学館」という。)において、次に掲げる事項を遵守しなければならない。

- (1) 所定の場所以外で飲食し、喫煙し、又は火気を使用しないこと。
- (2) 他に危害又は迷惑を及ぼすおそれのある物品又は動物を持ち込まないこと。
- (3) 風紀及び秩序を乱さないこと。
- (4) その他職員の指示に従うこと。

(募集時の公告事項等)

第6条 条例第13条の規則で定める事項は、次に掲げるとおりとする。

- (1) 名称、所在地、構造、規模等の科学館の概要
- (2) 指定管理者が行う管理の基準及び業務の範囲
- (3) 指定管理者の指定の期間
- (4) 利用料金に関する事項
- (5) 指定管理者の指定を受けることができる団体の資格
- (6) 指定管理者に支出する委託費の額に関する事項
- (7) 次条第1項に規定する申請書等に関する事項
- (8) 指定管理者の申請を受け付ける期間
- (9) 指定管理者の選定の基準及び方法
- (10) その他教育委員会が必要と認める事項

2 条例第13条の規定による公告は、郡山市公告式条例(昭和40年郡山市条例第2号)第2条第2項の掲示場に掲示することにより行うものとする。

(申請書等)

第7条 条例第14条第1項の規定による申請は、指定申請書(第4号様式)に次に掲げる書類を添付して行うものとする。

- (1) 条例第14条第1項に規定する事業計画書
- (2) 科学館の管理の業務に関する収支予算書
- (3) 定款、寄附行為又はこれらに準じる規約を記載した書類
- (4) 法人にあっては、登記事項証明書
- (5) 法人でない団体にあっては、役員の氏名及び住所を記載した書類
- (6) 申請の日の属する事業年度の直近2事業年度における貸借対照表、損益計算書その他の団体の財務の状況を明らかにすることができる書類
- (7) 申請の日の属する事業年度の直近2事業年度における団体の事業の内容を明らかにすることができる書類
- (8) 納税証明書等郡山市税に係る団体の納税状況を証する書類その他これらに準じる書類
- (9) その他教育委員会が必要と認める書類

2 条例第14条第2項第4号の規則で定める要件は、次に掲げるとおりとする。

- (1) 申請した団体の取締役、執行役その他これらに準ずべき者のうちに次のいずれかに該当する者がいないこと。
 - ア 破産者で復権を得ないもの
 - イ 指定管理者の指定を取り消された団体において、当該取消しの日前30日以内にその取締役、執行役その他これらに準ずべき者であった者で、条例第13条の規定による公告又は指名の日(以下「公告等の日」という。)において、当該取消しの日から起算して2年を経過しないもの

ウ 禁錮以上の刑に処された者で、その執行を終わり、又はその執行を受けることがなくなった日から起算して、公告等の日において2年を経過しないもの

エ 暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律(平成3年法律第77号)第2条第6号に規定する暴力団員

(2) 本市の議会の議員又は市長が取締役、執行役その他これらに準ずべき者を務める団体(市長にあつては、市が資本金、基本金その他これらに準ずるものの2分の1以上を出資し、又は出えんしている法人を除く。)でないこと。

(3) 教育委員会が必要と認める資格を有する者を配置できること。

(選定通知)

第8条 条例第15条第2項の規定による通知は、選定結果通知書(第5号様式)によるものとする。

(指定通知)

第9条 条例第16条第1項の規定により指定をするときは、指定通知書(第6号様式)により申請した団体に通知するものとする。

(協定締結事項)

第10条 条例第17条の規則で定める事項は、次に掲げるとおりとする。

- (1) 条例第14条第1項に規定する事業計画書に記載された事項
- (2) 指定管理者に支出する委託費の額に関する事項
- (3) 科学館の管理に伴い取得し、又は作成した個人情報の保護及び情報の公開に関する事項
- (4) 事業報告に関する事項
- (5) 利用料金に関する事項
- (6) 指定管理者の指定の取消し及び管理の業務の停止に関する事項
- (7) その他教育委員会が必要と認める事項

(事業計画書等の変更)

第11条 条例第22条第1項ただし書の規則で定める軽微な事項は、次に掲げるとおりとする。

- (1) 指定管理者の本店、支店、事務所等の所在地の変更
- (2) 指定管理者の取締役、執行役その他これらに準ずべき者の変更
- (3) その他教育委員会が軽微であると認める事項

(委任)

第12条 この規則で定めるもののほか必要な事項は、教育長が別に定める。

附 則

この規則は、平成13年10月1日から施行する。

附 則(平成15年教委規則第11号)

この規則は、平成15年4月1日から施行する。

附 則(平成17年教委規則第9号)

この規則は、公布の日から施行する。

* 各種様式省略

2 利用案内

<普通観覧料>

区 分	常設展示	宇宙劇場
一 般	400円	400円
高校生・大学生等	300円	300円
小中学生	200円	200円
幼児・65歳以上	無料	100円
※宇宙劇場の幼児・・・座席を使用しない場合は無料 ※団体割引・・・20名以上の団体は20%OFF		

<定期観覧料(ワンイヤーパスポート)>

区 分	常設展示・宇宙劇場共用 (同一人が1年間観覧する場合)
一 般	4,000円
高校生・大学生等	3,000円
小中学生	2,000円

<宇宙劇場番組開始時間>

投映回数	平 日	土・日・祝日
1 回目	10:15	11:00
2 回目	11:30	12:30
3 回目	14:00	14:00
4 回目	15:30	15:30
5 回目		17:00
6 回目	19:00 ※金曜日のみ (祝日を除く)	
※番組開始時間は変更になる場合があります。		

<開館時間>

常設展示・・・10：00～17：45(入場は17：00まで)

宇宙劇場・・・10：00～17：45(入場は17：00まで)

※金曜日は10：00～19：45(入場は19：00まで)

<休館日>

毎週月曜日(その日が祝日の場合は、その翌日)、年末年始(12/28～1/4)

※機器点検等により臨時に休館となる場合有

<展望ロビー>

10：00～20：00

3 スペースパークボランティアの会会則

スペースパークボランティアの会会則

(名称・事務所)

第1条 本会は「スペースパークボランティアの会(略称S. P. Vという)」と称し、事務所を郡山市ふれあい科学館(以下「科学館」という)内に置く。

(目的)

第2条 本会は「市民の科学に関する知識と教養の向上を図り、もって文化の発展に寄与する。」という科学館の設置目的に基づき、科学館の協力者として、また生涯学習者として、自主性をもって活動することにより、会員の資質向上と会員相互の交流を図ることを目的とする。

(活動・種別)

第3条 会員は本会の目的を達成するために、次の活動を行う。

- (1) 施設案内や展示の解説・来館者の観覧支援
- (2) 本会及び科学館主催事業の支援
- (3) 会員の研鑽及び親睦を図る活動
- (4) その他必要な活動

2 活動は科学館と協議の上、実施する。

3 活動項目は、随時拡充していくものとする。

4 活動内容により、次の活動グループを置く。

- (1) 案内サービスボランティア
- (2) 鉄道ジオラマボランティア
- (3) 科学ボランティア
- (4) 天文ボランティア

(会員)

第4条 本会の会員は、スペースパークボランティアの会の登録者をもって構成する。

2 会員に会長名で登録証を発行する。

3 会員の資格は、1年とする。ただし、登録の更新は妨げない。

(研修)

第5条 会員は、活動に必要な所定の研修を受講しなければならない。

- (1) 一般研修 活動を適正かつ円滑に行うための基本研修
- (2) 専門研修 活動に必要な専門知識を習得するための研修
- (3) その他会員の資質向上を図るための研修

(役員)

第6条 本会に次の役員を置く。

- (1) 会 長 1名
- (2) 副 会 長 3名
- (3) 運営委員 13名以内

2 運営委員は、自薦および会員の推薦で選出する。

3 会長及び副会長は、運営委員の互選により選出し、総会の承認を得る。

4 役員は本会の運営や活動に関し必要な事において、科学館職員の助言を得ることができる。

5 役員の任期は1年とし、再任は妨げない。

(職務)

第7条 会長は本会を代表し、会務を統括する。

2 副会長は会長を補佐し、会長に事故あるとき又は欠けたときはその職務を代行する。

3 役員は会議に出席し、会務の重要事項の審議とその執行にあたる。

(会議)

第8条 本会の会議は、総会および役員会とし、会長が召集する。

- (1) 総会は原則として年1回開催し、活動報告・計画立案、役員の選出などを協議する。
- (2) 役員会は、必要に応じ開催することができる。
- (3) 総会は、過半数の出席(委任状を含む)により成立する。

2 本会に次の部会を置く。

- (1) 総務部会
- (2) 企画部会
- (3) 広報部会

(登録資格の失効)

第9条 会員が次に該当した場合は、登録資格を失う。

- (1) 退会届の提出をした場合
- (2) 特別の理由がなく、6ヶ月以上定められた活動を行わない場合
- (3) 心身の健康上の理由から活動の継続が不可能である場合
- (4) 来館者等への接遇が適切でなく、トラブルを起こした場合
- (5) 政治活動や宗教活動を行った場合
- (6) 本会及び科学館の名誉を傷つけたり、他の会員に著しく迷惑を及ぼした場合
- (7) 営利を目的とした行為を行った場合
- (8) その他、科学館の運営及びボランティア活動に不適切であると認められる場合

(年度)

第10条 この会の事業年度は、毎年4月1日に始まり、翌年の3月31日に終わる。

(委任)

第11条 この会則に定めるもののほかに、本会の運営や活動に関し必要な事項は、役員会の総意を得て、別に定める。

(改廃)

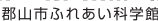
第12条 この会則は、総会の承認を得なければ改廃できない。

附 則

この会則は、平成16年2月15日から施行する。

この会則は、平成17年3月13日から施行する。

この会則は、平成18年3月5日から施行する。

[illegible]

〈アクセスマップ〉



郡山市ふれあい科学館 スペースパーク

〒963-8002 福島県郡山市駅前二丁目11番1号 (ビッグアイ20~24階)

Tel 024-936-0201 Fax 024-936-0089

ホームページ <http://www.space-park.jp>

(携帯電話からもアクセスできます)

e-mail info@space-park.jp



©松本零士／郡山市

エンゼルナ & ミーニャン



この印刷物は、FSC®認証紙と環境にやさしい植物油インキを使用しています。
紙へリサイクル可。